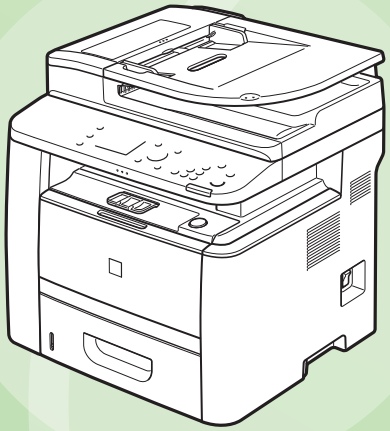
Canon

ミニコピア®
DIC995

ご愛用の手引き



こんなことができます P. ii

1 設置方法 P.1-1

2 お使いになる前に P.2-1

3 原稿と用紙の取り扱い P.3-1

4 コピーする P.4-1

5 日常のメンテナンス P.5-1

6 困ったときには P.6-1

7 各種機能の登録／設定 P.7-1

8 付録 P.8-1

ご使用前に必ず本書をお読みください。
将来いつでも使用できるように大切に
保管してください。

はじめに

このたびはキヤノンの複写機をお買い上げいただき誠にありがとうございました。
本機はトナーや感光ドラムを一体化したキヤノン独自のカートリッジの採用により、高画質とともに定期点検不要のイージーメンテナンスとなっております。

このご愛用の手引きには、本機の機能と操作方法および使用上の注意について記載してあります。
本機の機能を十分にご理解いただき、より効果的にご利用いただくために、本機をご使用する前にこのご愛用の手引きをよくお読みください。

このご愛用の手引きの中で、⚠と表記されている事項は安全にご使用いただくための注意です。
ご愛用の手引きの指示を必ずお守りください。

おことわり

機械の改良・変更等により、仕様面において本書の記載事項とお客様の機械とが一部異なる場合がありますのでご了承ください。
本書の内容は万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点や誤り、または記載洩れなどお気づきのことがありましたら、ご連絡ください。

こんなことができます

さまざまなコピー機能が本書の以降のページをお読みになることで利用できます。コピーを拡大／縮小したり、一枚の用紙に複数の原稿をコピーすることができます。さらに、コピーする前に原稿の背景を消したり、濃度や画質を調整することができます。
以下は、日常的に利用することのできる、おもな機能の概略です。

原稿に応じて画質を調整する

●画質調整（→ P.4-6）

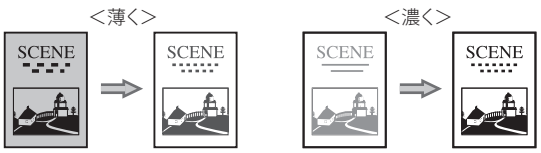
原稿の種類に応じて、画質を調整できます。
適切な種類を選択することで、原稿の再現性が向上します。

●シャープネス（→ P.4-15）

原稿の画像のエッジをくっきりさせる、またはコントラストを弱めることができます。

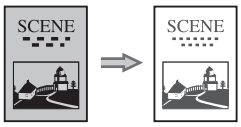
●濃度調整（→ P.4-5）

原稿に応じて、コピーの濃度を調整できます。



●背景調整（→ P.4-5）

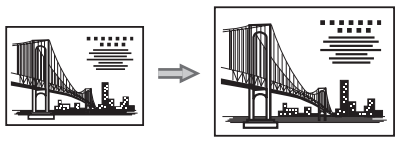
原稿の下地の色を除去してコピーできます。
色ごとに調整することもできます。



さまざまなコピー機能

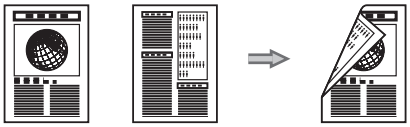
●拡大／縮小コピー（→ P.4-10）

定形サイズの原稿から定形サイズの用紙に自動的に拡大／縮小したり、%で倍率を指定することができます。



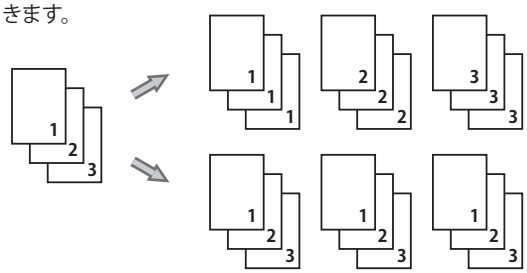
●両面コピー（→ P.4-7）

原稿を両面の用紙にコピーできます。



●ソート（→ P.4-13）

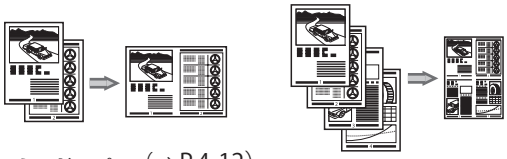
コピーされた用紙を排紙するとき、ページ順に一部ずつ排出できます。



●縮小レイアウト（→ P.4-11）

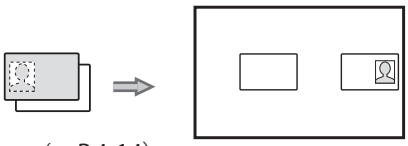
複数枚の原稿を縮小し、1枚の用紙におさめてコピーできます。

2 in 1　　**4 in 1**



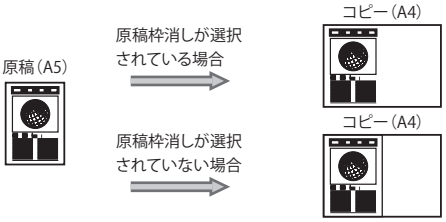
●IDカードコピー（→ P.4-12）

カードの両面を用紙の片面にコピーできます。



●枠消しコピー（→ P.4-14）

原稿がコピーする用紙サイズより小さいとき、コピーする用紙の周囲にできる影や枠線を消してコピーできます。



目次

はじめに i
おことわり i
こんなことができます ii
目次 iii
本書の読みかた v
安全にお使いいただくために vi
設置条件と取り扱いについて ix
資源再利用について xi
規制について xi

設置方法 1-1

同梱品を確認する 1-2
トナーカートリッジについて 1-2
設置場所を決める 1-2
設置場所に運び、梱包材を取り外す 1-3
トナーカートリッジを準備する 1-4
用紙をセットする 1-5
電源コードを接続する 1-6
電源を入れて、初期設定する 1-6
用紙のサイズと種類を設定する 1-7

お使いになる前に 2-1

本体の各部の名称と働き 2-2
- 本体前面 2-2
- 本体背面 2-3
- 本体内部 2-3
- 操作パネル 2-4

メニューの操作方法 2-5
- メニュー画面を表示する 2-5
- 画面をスクロールして項目を表示する 2-5
- メニューの項目を選択する 2-5
- メニューの項目を設定する 2-5
- 待受画面に戻る 2-6

トナーカートリッジ 2-6
- 消耗品のご購入相談窓口 2-6
- トナーカートリッジの取り扱い 2-6
- トナーを節約する 2-7

タイマー設定 2-8
- オートスリープタイムを設定する 2-8
- オートクリアタイムを設定する 2-9
- 日付と時刻を設定する 2-10

原稿と用紙の取り扱い 3-1

使用できる原稿について 3-2
読み取り範囲 3-2
原稿をセットする 3-3
- 原稿台ガラスにセットする 3-3
- フィーダーにセットする 3-3

使用できる用紙について 3-5
- 用紙サイズ 3-5
- 用紙の種類 3-6

プリント範囲 3-7
用紙をセットする 3-8
- 給紙カセットにセットする 3-8
- 手差しトレイにセットする 3-9
- 用紙をセットするときのご注意 3-11
- 用紙のセット可能枚数 3-11
- 用紙のセット向き 3-12
  - レターヘッドやロゴ付きの用紙（プレプリント紙）などにプリントする場合 3-12
  - はがきにコピーする場合 3-13
  - 封筒にコピーする場合 3-13

用紙のサイズと種類を設定する 3-14
- 給紙カセットの用紙設定をする 3-14
- 手差しトレイの用紙設定をする 3-14
- 手差しトレイのデフォルト用紙設定を登録する 3-15
- ユーザー設定用紙を設定する 3-16

プリント面を選択する 3-17
- 本項目を＜スピード優先＞に設定した場合（工場出荷時の設定） 3-17
- 本項目を＜プリント面優先＞に設定した場合 3-17

コピーする 4-1

基本的なコピー方法 4-2
- ジョブを確認／中止する 4-3
  - [⊗]（ストップ）で中止する 4-3
  - [◯]（状況確認 / 中止）で確認／中止する 4-3
- コピージョブの履歴を確認する 4-3
- プリントジョブの履歴を確認する 4-4

濃度を調整してコピーする 4-5
- 濃度調整 4-5
- 背景調整 4-5

原稿の種類を選んでコピーする 4-6
両面にコピーする 4-7
- 片面の原稿から両面にコピーする 4-7
- 両面の原稿から両面にコピーする 4-8
- 両面の原稿から片面にコピーする 4-9

拡大／縮小コピーする 4-10
複数枚の原稿を 1 枚の用紙にコピーする（ページ集約） 4-11
2 in 1/4 in 1 4-11
ID カードコピー 4-12
ページ順にならべてコピーする（ソート） 4-13
原稿の影や枠線を消してコピーする（枠消し） 4-14
画像のエッジをくっきりさせる（シャープネス） 4-15
コピー設定の組合せを登録して利用する（モードメモリー） 4-16
設定の組合せについて 4-16
モードメモリーを登録 / 編集する 4-16
モードメモリーを削除する 4-17
モードメモリーを呼び出してコピーする 4-17
コピーのデフォルト値を変更する 4-18
コピーの設定を確認する 4-19

日常のメンテナンス 5-1

日常のお手入れ 5-2
本体のお手入れ 5-2
定着器のお手入れ 5-2
原稿台ガラスのお手入れ 5-3
フィーダーのお手入れ 5-3
フィーダーを自動的にクリーニングする 5-4
日常のお手入れをするときのご注意 5-4
トナーカートリッジの交換 5-5
メッセージが表示されたときは 5-5
プリント結果に白いすじ（線）が入ったり、かすれやムラが出る 5-5
トナーカートリッジを交換する前に 5-6
トナーカートリッジを交換する 5-6
トナーカートリッジを交換するときのご注意 5-7
調整する 5-9
コピー画像の補正をする 5-9
プリント濃度を調整する 5-10
本製品を移動するとき 5-11
移転や引っ越しなどで本製品を輸送するとき 5-11
本製品を移動するときのご注意 5-11

困ったときには 6-1

用紙や原稿がつまったら 6-2
フィーダーにつまった原稿を取り除く 6-3
排紙部につまった用紙を取り除く 6-4
手差しトレイにつまった用紙を取り除く 6-4
給紙カセット（カセット 1、2）につまった用紙を取り除く 6-5
後ろカバー、両面ユニットにつまった用紙を取り除く 6-5
前カバーにつまった用紙を取り除く 6-6
両面搬送ガイドにつまった用紙を取り除く 6-7
トラブル解決マップ 6-8
エラーメッセージ一覧 6-12
メッセージが表示されたら 6-12
エラーコード 6-13
＜用紙と設定サイズが不一致＞と表示された場合 6-14
セットされている用紙サイズに合わせて、＜用紙設定＞メニューを変更する 6-14
＜用紙設定＞メニューに設定されているサイズの用紙をセットする 6-14
プリント結果が良くない 6-15
用紙がカールする 6-15
用紙がしわになる 6-15
すじ状の汚れが付く 6-16
文字やパターンのまわりにトナーが飛び散ったような跡が付く 6-16
その他のトラブル 6-17
本製品の排紙部周辺から湯気が出る 6-17
操作パネルの裏面や排紙部に水滴がつく 6-17
設定が有効にならない 6-17
電力供給が止まったときは 6-17
トラブルが解決しない場合 6-18

各種機能の登録／設定 7-1

各種機能を登録 / 設定する 7-2
ユーザーデータリストをプリントする 7-2
設定メニュー一覧 7-3
環境設定 7-3
音量調整 7-3
表示設定 7-3
タイマー設定 7-3
日付 / 時刻の設定 7-3
オートスリープタイム 7-4
オートクリアタイム 7-4
共通設定 7-4
カセットオート選択の ON ／ OFF 7-4
給紙方法切替 7-4
コピー設定 7-4
デフォルト設定の変更 7-4
調整 / メンテナンス 7-4
コピー画像補正 7-4
プリンター濃度 7-4
トナーセーブモード 7-4
特殊処理 7-5
定着器のクリーニング 7-6
フィーダーのクリーニング 7-6
システム管理設定 7-6
ジョブ履歴表示の ON/OFF 7-6
ファームウェア更新 7-6
システム管理設定の初期化 7-6
メニューの初期化 7-6
メニュールートマップ 7-7

付録 8-1

おもな仕様 8-2
本体仕様 8-2
索引 8-3

本書の読みかた

マークについて

警告 取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。

注意 取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。

重要 操作上、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。誤った操作によるトラブルや故障、物的損害を防ぐために、必ずお読みください。

メモ 操作の参考となることや補足説明が書かれています。お読みになることをおすすめします。

製品の取り扱いにおいて、その行為を禁止することを示しています。指示内容をよく読み、禁止されている事項は絶対に行わないでください。

キーについて

本マニュアルでは、操作するキー、ディスプレーに表示されるメッセージ、コンピューター画面上のボタンや項目を以下のように表記しています。

- **操作パネル上のキー：［キーアイコン］＋（キー名称）**

  例：［▽］（ストップ）
- **ディスプレー：＜宛先を指定してください＞**
- **コンピューター画面上のボタンおよび選択項目：［詳細設定］**

略称について

本マニュアルでは、郵便事業株式会社製のはがきを郵便はがきと記載しています。

安全にお使いいただくために

本製品をお使いになる前に、「安全にお使いいただくために」をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
ここに書かれている警告や注意、重要事項は、お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容ですので、必ずお守りください。
また、本書に記載されていること以外は行わないでください。

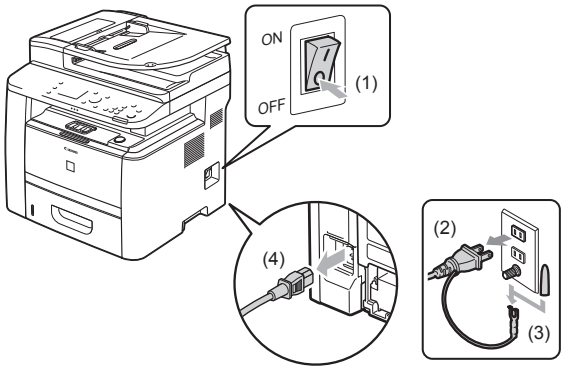
設置について

⚠ 警告

- アルコール、シンナーなどの引火性溶剤の近くに設置しないでください。引火性溶剤が製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。
- 製品の上に次のような物を置かないでください。
  - アクセサリーなどの金属物
  - コップや花瓶、植木鉢などの水や液体が入った容器

  これらが製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。

  製品内部に入った場合は、直ちに本製品の電源をオフにし（1)、電源プラグを抜いて（2)、アース線を取り外し（3)、お買い求めの販売店にご連絡ください。



⚠ 注意

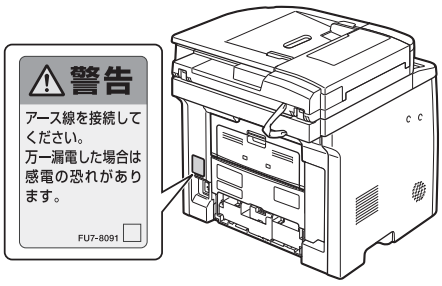
- ぐらついた台の上や傾いた所などの不安定な場所、振動の多い場所に設置しないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因になることがあります。
- 製品には通気口がありますので、壁や物でふさがないように設置してください。またベッドやソファー、毛足の長いじゅうたんなどの上に設置しないでください。通気口をふさがれると製品内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。
- 製品を次のような場所に設置しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
  - 湿気やホコリの多い場所
  - 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所
  - 雨や雪が降りかかるような場所
  - 水道の蛇口付近などの水気のある場所
  - 直射日光のあたる場所
  - 高温になる場所
  - 火気に近い場所
- 製品を設置する場合は、製品と床面、製品と製品の間に手などを挟まないように、ゆっくりと慎重に行ってください。手などを挟むと、けがの原因になることがあります。
- 製品を持ち運ぶ場合は、本書の指示にしたがって正しく持ってください。製品を落としたりして、けがの原因になることがあります。
  「本製品を移動するとき」（→ P.5-11）
- ハードディスクを搭載している製品は、高地（海抜3,000 m以上）で使用すると、正常に動作できない場合があります。

電源について

⚠ 警告

- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものを置いたり、引っぱったり、無理に曲げたりしないでください。傷ついた部分から漏電して、火災や感電の原因になります。
- 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災や感電の原因になります。
- 電源コードが引っ張られた状態にしないでください。電源プラグが緩んで接続が不完全になると発熱し、火災の原因になることがあります。
- 電源コードを踏みつけたり、ステイプルなどで固定したり、重いものをのせたりしないでください。コードがいたみ、そのままご使用を続けると、火災や感電などの事故の原因になります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。
- タコ足配線はしないでください。火災や感電の原因になります。
- 電源コードを束ねたり、結んだりしないでください。火災や感電の原因になります。
- 電源プラグは電源コンセントの奥までしっかりと差し込んでください。しっかりと差し込まないと、火災や感電の原因になります。
- 電源コネクタが接続される製品の差込口にストレスが強くかかると、製品の内部で断線や接触不良が発生し、故障の原因になります。また、火災の原因になる場合もあります。以下のような取り扱いは避けてください。
  - 電源コネクタを頻繁に抜き差しする
  - 電源コードに足を引っ掛ける
  - 電源コードが電源コネクタ付近で曲げられ、製品の差込口に継続的なストレスがかかっている
  - 電源コネクタに強い衝撃を加える
- 付属の電源コード以外は使用しないでください。火災や感電の原因になります。

• アース線を接続してください。万一漏電した場合は感電の恐れがあります。



• アース線を接続するときは、以下の点にご注意ください。
［アース線を接続してもよいもの］
- 電源コンセントのアース線端子
- 接地工事（D 種）が行われているアース線端子
［アース線を接続してはいけないもの］
- 水道管 ･･･ 配管の途中でプラスティックになっている場合があり、その場合にはアースの役目を果たしません。ただし、水道局がアース対象物として許可した水道管にはアース線を接続できます。
- ガス管 ･･･ ガス爆発や火災の原因になります。
- 電話線のアースや避雷針 ･･･ 落雷のときに大きな電流が流れ、火災や感電の原因になります。

• 原則的に延長コードは使用しないでください。また、延長コードの多重配線はしないでください。火災や感電の原因になります。
• アース線を接続する場合は、必ず電源プラグを電源コンセントに接続する前に行ってください。また、アース線を取り外す場合は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いて行ってください。
• 近くに雷が発生したときは、電源プラグをコンセントから抜いてご使用をお控えください。雷によっては火災・感電・故障の原因になります。

⚠ 注意

• 表示された以外の電源電圧で使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
• 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱると、電源コードの芯線の露出、断線など電源コードが傷つき、その部分から漏電して、火災や感電の原因になることがあります。
• いつでも電源プラグが抜けるように、電源プラグの周りには物を置かないでください。非常時に電源プラグが抜けなくなります。

取り扱いについて

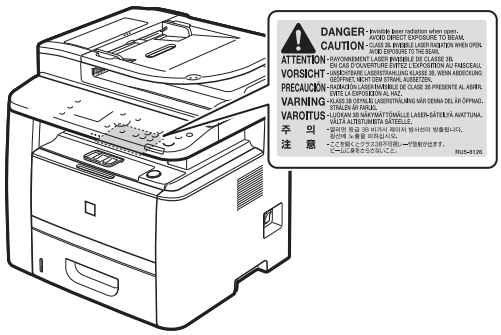
⚠ 警告

• 製品を分解したり、改造したりしないでください。内部には高圧・高温の部分があり、火災や感電の原因になります。
• 電気部品は誤って取り扱うと思わぬけがをして危険です。電源コード、製品内部のギアや電気部品に子供が触れないように注意してください。
• 異常な音がしたり、煙が出たり、熱が出たり、変なにおいがした場合は、直ちに本製品の電源をオフにしてください。そのあと、電源プラグを抜いて、アース線を取り外し、お買い求めの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
• 製品の近くでは可燃性のスプレーなどは使用しないでください。スプレーのガスなどが製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。
• 製品を移動させる場合は、必ず本製品の電源をオフにし、電源プラグを抜いてください。そのまま移動すると、電源コードが傷つき、火災や感電の原因になります。
• 製品を移動させたあとは、電源プラグや電源コネクタが奥までしっかり差し込まれているか確認してください。緩んだ状態で使用すると発熱し、火災の原因になります。
• 製品内部にクリップやステイプル針などの金属片を落とさないでください。また、水、液体や引火性溶剤（アルコール、ベンジン、シンナーなど）をこぼさないでください。これらが製品内部の電気部分に接触すると、火災や感電の原因になります。これらが製品内部に入った場合は、直ちに本製品の電源をオフにしてください。そのあと、電源プラグを抜いて、アース線を取り外し、お買い求めの販売店にご連絡ください。

⚠ 注意

• 製品の上に重いものを置かないでください。置いたものが倒れたり、落ちてけがの原因になることがあります。
• 夜間などで長時間ご使用にならない場合は、安全のため電源をオフにしてください。また、連休などで長時間ご使用にならない場合は、安全のため電源をオフにし、電源プラグを抜いてください。
• カバーやカセットなどの開閉を行うときは、ゆっくりと慎重に行ってください。指などを挟むと、けがの原因になることがあります。
• 排紙部のローラーには衣服や手などを近づけないでください。プリント中でなくてもローラーが急に回転し、衣服や手などが巻き込まれて、けがの原因になることがあります。
• 製品の使用中や使用直後は、排紙口が高温になります。排紙口周辺に触れないように気を付けてください。やけどの原因になることがあります。
• 排紙直後の用紙は、熱くなっている場合があります。特に連続プリントした場合は、用紙を取り除くときや、取り除いた用紙を揃えるときに注意してください。やけどの原因になることがあります。
• 原稿台ガラスに厚い本などをセットしてコピーするときは、フィーダーを強く押さないでください。原稿台ガラスが破損してけがの原因になることがあります。
• 原稿台ガラスに辞書などの重いものを落とさないように十分注意してください。原稿台ガラスが破損して、けがの原因になることがあります。
• フィーダーは、手を挟まないように静かに閉じてください。けがの原因になることがあります。
• レーザー光は、人体に有害となる恐れがあります。そのため本製品では、レーザー光はレーザースキャナーユニット内にカバーで密閉されており、お客様が通常の操作をする場合にはレーザー光が漏れる心配はまったくありません。安全のために以下の注意事項を必ずお守りください。

- 本書で指示された以外のカバーは、絶対に開けないでください。
- レーザースキャナーユニットのカバーに貼ってある注意ラベルをはがさないでください。



- 万一レーザー光が漏れて目に入った場合、目に障害が起こる原因になることがあります。

- **本書で規定された、制御、調整および操作手順以外のご利用は、危険な放射線の露出を引き起こす可能性があります。**
- **この製品はIEC60825-1:2007においてクラス1レーザー製品であることを確認しています。**

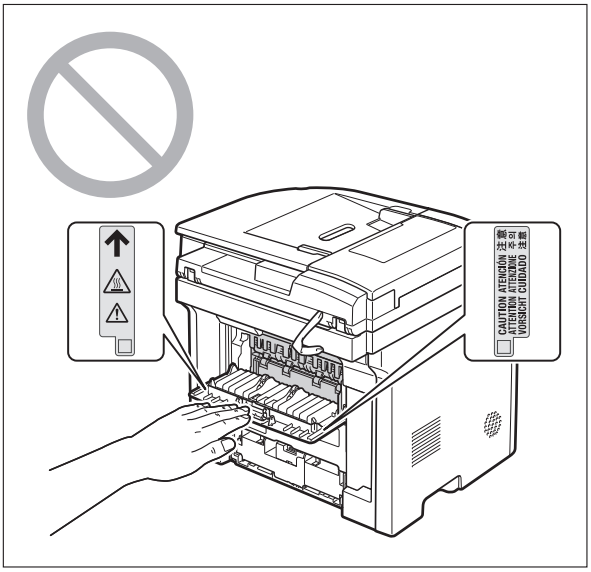
保守／点検について

⚠ 警告

- **清掃のときは、本製品とコンピューターの電源をオフにし、電源プラグを抜いてください。火災や感電の原因になります。**
- **電源プラグを定期的に抜き、その周辺およびコンセントにたまったホコリや汚れを、乾いた布でふき取ってください。ホコリ、湿気、油煙の多いところで、電源プラグを長期間差したままにすると、その周囲にたまったホコリが湿気を吸って絶縁不良となり、火災の原因になります。**
- **清掃のときは、必ず水または水で薄めた中性洗剤を含ませて固く絞った布を使用してください。アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。引火性溶剤が製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。**
- **製品内部には高圧になる部分があります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、ネックレス、ブレスレットなどの金属物が製品内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になります。**
- **使用済みのトナーカートリッジを火中に投じないでください。トナーカートリッジ内に残ったトナーに引火して、やけどや火災の原因になります。**
- **トナーをこぼした場合は、トナー粉塵を吸いこまないよう、掃き集めるか濡れた雑巾等で拭き取ってください。掃除機を使用する場合は、粉塵爆発に対する安全対策がとられていない一般の掃除機は使用しないでください。掃除機の故障や静電気による粉塵爆発の原因になる可能性があります。**
- **清掃のあとは、電源プラグや電源コネクタが奥までしっかり差し込まれているか確認してください。緩んだ状態で使用すると発熱し、火災の原因になることがあります。**
- **電源コード・電源プラグを定期的に点検してください。以下の状態がある場合は、火災の原因になりますので、お買い求めの販売店または弊社お客様相談センターにご連絡ください。**
  - 電源プラグに焦げ跡がある
  - 電源プラグの刃が変形している
  - 電源コードを曲げると、電源が切れたり入ったりする
  - 電源コードの被覆に傷、亀裂、へこみがある
  - 電源コードの一部が熱くなる
- **電源コード、電源プラグが以下のように取り扱われていないか、定期的に点検してください。火災や感電の原因になります。**
  - 電源コネクタが緩んでいる
  - 電源コードが重い物の下敷きになっていたりステイプルで固定されるなど、ストレスを与えられている
  - 電源プラグが緩んでいる
  - 電源コードが束ねられている
  - 電源コードが通路にはみ出している
  - 電源コードが暖房器具の前にある

⚠ 注意

- **製品内部の定着器周辺は、使用中に高温になります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、定着器周辺に触れないように点検してください。やけどの原因になることがあります。**



- **紙づまり処理など内部を点検するとき、定着器周辺に直接触れなくても、定着器周辺の熱に長時間さらされないように注意してください。低温やけどの原因になることがあります。**
- **紙づまり時には、画面に表示されているメッセージにしたがって、つまっている用紙を機械内部に紙片が残らないように取り除いてください。また、表示以外の箇所には無理に手を入れないでください。けがややけどの原因になることがあります。**
- **紙づまり処理やトナーカートリッジを交換するときは、トナーで衣服や手を汚さないように注意してください。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。**
- **紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上にのっているトナーが飛び散らないように、丁寧に取り除いてください。トナーが目や口などに入ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師に相談してください。**

- 用紙を補給するとき、原稿づまりや紙づまりを取り除くときは、原稿や用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。
- トナーカートリッジを取り出すときは、トナーが飛び散って目や口などにトナーが入らないように、丁寧に取り出してください。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師に相談してください。
- トナーカートリッジは分解しないでください。トナーが飛び散って目や口などに入ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師に相談してください。
- トナーカートリッジからトナーが漏れたときは、吸い込んだり直接皮膚につけたりしないように注意してください。皮膚についた場合は、石鹸を使い水で洗い流し、刺激が残る場合や吸い込んだ場合には直ちに医師に相談してください。

消耗品について

⚠ 警告

- トナーカートリッジを火中に投じないでください。トナーに引火して、やけどや火災の原因になります。
- トナーカートリッジ、用紙は火気のある場所に保管しないでください。トナーや用紙に引火して、やけどや火災の原因になります。
- トナーカートリッジを廃棄する場合は、トナーカートリッジを袋に入れてトナーが飛び散らないようにし、自治体の指示にしたがって処理してください。
- トナーをこぼした場合は、トナー粉塵を吸いこまないよう、掃き集めるか濡れた雑巾等で拭き取ってください。掃除機を使用する場合は、粉塵爆発に対する安全対策がとられていない一般の掃除機は使用しないでください。掃除機の故障や静電気による粉塵爆発の原因になる可能性があります。

⚠ 注意

- トナーカートリッジなどの消耗品は幼児の手が届かないところへ保管してください。もしトナーカートリッジ内のトナーを飲んだ場合は、直ちに医師に相談してください。
- トナーカートリッジは分解しないでください。トナーが飛び散って目や口などに入ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師に相談してください。
- トナーカートリッジからトナーが漏れたときは、吸い込んだり直接皮膚につけたりしないように注意してください。皮膚についた場合は、石鹸を使い水で洗い流し、刺激が残る場合や吸い込んだ場合には直ちに医師に相談してください。
- シーリングテープを勢いよく引き抜いたり、途中で止めたりするとトナーが飛び散ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。

その他

⚠ 警告

- 心臓ペースメーカーをご使用の方へ
  本製品から微弱な磁気が出ています。心臓ペースメーカーをご使用の方は、異常を感じたら本製品から離れてください。そして、医師にご相談ください。

● 設置条件と取り扱いについて

本製品を安全かつ快適にご使用いただくために、次の条件を満たした場所に設置してください。また、注意事項についてもよくお読みください。

温度／湿度条件

- 温度範囲：10 ～ 30 ℃
- 湿度範囲：20 ～ 80 %RH（相対湿度・結露しないこと）

重要

本製品の結露の防止

- 次のようなときは 2 時間以上放置して、周囲の温度や湿度に慣らしてからご使用ください。
  - 部屋を急に暖めた
  - 温度や湿度が低い場所から高い場所へ移動させた
- 本製品内部に水滴（結露）が生じると、紙づまりや印字不良の原因になることがあります。

超音波加湿器を使用するとき

超音波加湿器をご使用の際には、純水など不純物を含まない水のご使用をおすすめします。
水道水や井戸水をご使用になりますと、水中の不純物が大気中に放出され、製品の内部に付着して画像不良の原因になります。

電源条件

- AC 100 V ± 10 %、15 A 以上
- 50/60 Hz ± 2 Hz

重要

電源を接続するときの注意

- 電源コードを無停電電源に接続しないでください。
- 本製品専用の電源コンセントを使用してください。同一電源コンセントの他の差し込み口は、使用しないでください。
- コンピューター本体の補助コンセントに電源を接続しないでください。
  次のような機器と同じコンセントに接続しないでください。
  - 複写機
  - エアコン
  - シュレッダー
  - 消費電力の大きな機器
  - 電気的ノイズを発生する機器

- 屋内漏電ブレーカを介して配線されている電源コンセントの使用を推奨します。
  本製品のアース線を接続すると、感電のみならず、特異な条件が重なることにより発生する火災を防止することができます。
- 電源コードを抜いたときは差しなおすまでに 5 秒以上間隔をおいてください。

その他の注意事項

- 本製品の最大消費電力は、1,000W 以下です。
- 電気的なノイズ、許容範囲を超える電源電圧の降下は、本製品やコンピューターの誤動作、あるいはデータ消失の原因になることがあります。
- お使いの電源についてご不明な点は、電力会社またはお近くの電気店などにご相談ください。

設置条件

- 十分なスペースが確保できる場所
- 風通しがよい場所
- 平坦で水平な場所
- 本製品の質量に耐えられる十分な強度のある場所

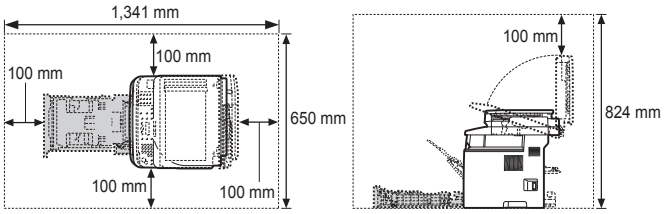
重要

故障の原因になる可能性がある場所には設置しない

- 急激な温度変化や湿度変化がある場所
- 結露の発生する場所
- 風通しの悪い場所
  （使用中の製品からは、オゾンなどが発生しますが、その量は人体に影響を及ぼさない程度です。ただし、換気の悪い場所で長時間使用する場合や、大量にプリントする場合には、快適な作業環境を保つため、部屋の換気をするようにしてください。）
- 磁気や電磁波を発生する機器に近い場所
- 実験室など、化学反応を起こすような場所
- 空気中に、腐食性または毒性のガスを含んでいるような場所
- 機器の質量でゆがみや沈みが起きる可能性のある場所（じゅうたん／畳の上など）

設置スペース

周囲に必要なスペース



取り扱いと保守／点検について

重要

- 本製品に貼ってある注意ラベルの指示にしたがってください。
- 本製品に強い衝撃や振動を与えないでください。
- 紙づまりを防ぐために、プリント中は電源のオフ / オン、操作パネルやカバーの開閉、用紙の出し入れをしないでください。
- 移転や引っ越しなどで本製品を輸送するときは、トナーカートリッジを必ず本体から取り外してください。
- トナーカートリッジは、光にさらさないように、購入時に収められていた保護袋に入れるか、厚手の布でくるんでください。
- 定期的に本製品を清掃してください。ホコリなどがたまると正しく動作しないことがあります。
- 本製品の補修用性能部品およびトナーカートリッジの最低保有期間は、本製品製造打ち切り後 7 年間です。

カスタマーサポート

本製品は、メンテナンスフリーで安心してお使いいただけるように作られています。操作上問題が発生したときは、「困ったときには」(→ P.6-1) を参照してください。それでも解決しない場合や点検が必要と考えられる場合には、お買い求めの販売店またはキヤノンお客様相談センターにご連絡ください。

● 資源再利用について

キヤノンでは環境保全ならびに資源の有効活用のため、リサイクルの推進に努めております。回収窓口が製品により異なりますので、以下の内容をお読みいただき、ご理解とご協力をお願いします。

使用済み複写機の受け入れ場所について

使用済みとなった複写機につきましては、次のように回収を行っています。お問い合わせ先に注意してご連絡願います。

Canon	キヤノンでは、環境保全と資源の有効活用のため、回収されたオフィス用、使用済み複写機のリサイクルを推進しています。 使用済みの複写機の回収については、お買い求めの販売店、または弊社お客様相談センターもしくは担当の営業にお問い合わせください。 なお、事情により回収にご協力いただけない場合には、廃棄物処理法に従い処分してください。

使用済みトナーカートリッジなどの回収について

使用済みとなったトナーカートリッジなどにつきましては、次のように回収を行っています。お問い合わせ先に注意してご連絡願います。

Canon	キヤノンでは、環境保全と資源の有効活用のため、使用済みトナーカートリッジの回収とリサイクルを推進しています。 使用済みトナーカートリッジの回収については、担当のサービス店、または弊社お客様相談センターにお問い合わせください。 なお、事情により回収にご協力いただけない場合には、トナーがこぼれないようにビニール袋などに入れて、地域の条例に従い処分してください。

● 規制について

電波障害規制について

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書にしたがって正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

高調波の抑制について

本機器は JIS C 61000-3-2 高調波電流発生限度値に適合しています。

国際エネルギースタープログラムについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。国際エネルギースタープログラムは、コンピューターをはじめとしてオフィス機器の省エネルギー化推進のための、国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により、参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピューター、ディスプレー、プリンター、ファクシミリおよび複写機などのオフィス機器で、それぞれの基準並びにマーク（ロゴ）は、参加各国の間で統一されています。

物質エミッションの放散に関する認定基準について

粉塵、オゾン、スチレン、ベンゼンおよび TVOC の放散については、エコマーク No117「複写機 Version2」の物質エミッションの放散速度に関する認定基準を満たしています。（トナーは本製品用に推奨しております Cartridge 420 を使用し、複写を行った場合について、試験方法：RAL-UZ 122: 2006 の付録 2 に基づき試験を実施しました。）

コピー禁止事項

以下を原稿として読み込むか、あるいは複製したり、加工したりすると、法律により罰せられる場合がありますのでご注意ください。

- **著作物など**

  他人の著作物を権利者に無断で複製などすることは、個人的または家庭内その他これに準ずる限られた範囲においての使用を目的とする場合を除き違法となります。また、人物の写真などを複製する場合には肖像権が問題となることがあります。

- **通貨、有価証券など**

  以下のものを本物と偽って使用する目的で複製すること、またはその本物と紛らわしいものを作成することは法律により罰せられます。

  - 紙幣、貨幣、銀行券（外国のものを含む）
  - 国債証券、地方債証券
  - 郵便為替証書
  - 郵便切手、印紙
  - 株券、社債券
  - 手形、小切手
  - 定期券、回数券、乗車券
  - その他の有価証券

- **公文書など**

  以下のものを本物と偽って使用する目的で偽造することは法律により罰せられます。

  - 公務員または役所が作成した免許証、登記簿謄本その他の証明書や文書
  - 私人が作成した契約書その他権利義務や事実証明に関する文書
  - 役所または公務員の印影、署名または記号
  - 私人の印影または署名

［関係法律］

- 刑法
- 著作権法
- 通貨及証券模造取締法
- 外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券
- 証券偽造変造及模造ニ関スル法律
- 郵便法
- 郵便切手類模造等取締法
- 印紙犯罪処罰法
- 印紙等模造取締法

商標について

Canon、Canon ロゴ、ファミリーコピア、およびミニコピアはキヤノン株式会社の商標です。

著作権について

Copyright CANON INC. 2013
キヤノン株式会社の事前の書面による承諾を得ることなしに、いかなる形式または手段（電子的、機械的、磁気的、光学的、化学的、手動、またはその他の形式／手段を含む）をもっても、本書の全部または一部を、複製、転用、複写、検索システムへの記録、任意の言語やコンピューター言語への変換などをすることはできません。

第三者のソフトウェアについて

お客様がご購入のキヤノン製品（以下、「本製品」）には、第三者のソフトウェア・モジュール（その更新されたものを含み以下、「第三者ソフトウェア」）が含まれており、かかる「第三者ソフトウェア」には、以下 1 ～ 8 の条件が適用されます。

1. お客様が「第三者ソフトウェア」の含まれる「本製品」を、輸出または海外に持ち出す場合は、日本国及び関連する諸外国の規制に基づく関連法規を遵守してください。
2. 「第三者ソフトウェア」に係るいかなる知的財産権、権原および所有権は、お客様に譲渡されるものではなく、「第三者ソフトウェア」の権利者に帰属します。
3. お客様は、「第三者ソフトウェア」を、「本製品」に組み込まれた状態でのみ使用することができます。
4. お客様は、権利者の事前の書面による許可無く、「第三者ソフトウェア」を開示、再使用許諾、販売、リース、譲渡してはなりません。
5. 上記にかかわらず、お客様は、以下の条件に従う場合のみ、「第三者ソフトウェア」を譲渡することができます。
   - お客様が「本製品」に関するすべての権利、および「第三者ソフトウェア」に関するすべての権利および義務を譲渡すること
   - お客様から譲渡を受ける者が、「本製品」に附帯する条件に同意していること
6. お客様は、「第三者ソフトウェア」の全部または一部を修正、改変、逆アセンブル、逆コンパイル、その他リバースエンジニアリング等することはできません。
7. お客様は、「本製品」に含まれる「第三者ソフトウェア」を除去したり、「第三者ソフトウェア」を複製してはなりません。
8. 「第三者ソフトウェア」中のソースコードについては、お客様にいかなるライセンスも許諾されません。

上記 1 ～ 8 の条件にかかわらず、別途固有の許諾条件が用意されている第三者のソフトウェアについては、別途の許諾条件が適用されるものとします。

別途固有の許諾条件が用意されている第三者のソフトウェアについて

詳細およびライセンス条件につきましては、下記「ソフトウェア一覧表」および対応するライセンス文をご参照ください。

ソフトウェア	ライセンス →ライセンス全文（許諾条件）参照先
NET-SNMP	The BSD License → xiii ページ

Various copyrights apply to this package, listed in various separate parts below. Please make sure that you read all the parts. Up until 2001, the project was based at UC Davis, and the first part covers all code written during this time. From 2001 onwards, the project has been based at SourceForge, and Networks Associates Technology, Inc hold the copyright on behalf of the wider Net-SNMP community, covering all derivative work done since then. An additional copyright section has been added as Part 3 below also under a BSD license for the work contributed by Cambridge Broadband Ltd. to the project since 2001. An additional copyright section has been added as Part 4 below also under a BSD license for the work contributed by Sun Microsystems, Inc. to the project since 2003.

Code has been contributed to this project by many people over the years it has been in development, and a full list of contributors can be found in the README file under the THANKS section.

---- Part 1: CMU/UCD copyright notice: (BSD like) -----

Copyright 1989, 1991, 1992 by Carnegie Mellon University

Derivative Work - 1996, 1998-2000
Copyright 1996, 1998-2000 The Regents of the University of California
All Rights Reserved

Permission to use, copy, modify and distribute this software and its documentation for any purpose and without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice appears in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation, and that the name of CMU and The Regents of the University of California not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the software without specific written permission.

CMU AND THE REGENTS OF THE UNIVERSITY OF CALIFORNIA DISCLAIM ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE, INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS. IN NO EVENT SHALL CMU OR THE REGENTS OF THE UNIVERSITY OF CALIFORNIA BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM THE LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

---- Part 2: Networks Associates Technology, Inc copyright notice (BSD) -----

Copyright (c) 2001-2003, Networks Associates Technology, Inc
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

*Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

*Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

*Neither the name of the Networks Associates Technology, Inc nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDERS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

---- Part 3: Cambridge Broadband Ltd. copyright notice (BSD) -----

Portions of this code are copyright (c) 2001-2003, Cambridge Broadband Ltd.
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

*Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

*Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

*The name of Cambridge Broadband Ltd. may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDER ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

---- Part 4: Sun Microsystems, Inc. copyright notice (BSD) -----

Copyright © 2003 Sun Microsystems, Inc., 4150 Network Circle, Santa Clara,
California 95054, U.S.A. All rights reserved.

Use is subject to license terms below.

This distribution may include materials developed by third parties.

Sun, Sun Microsystems, the Sun logo and Solaris are trademarks or registered trademarks of Sun Microsystems, Inc. in the U.S. and other countries.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

*Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

*Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

*Neither the name of the Sun Microsystems, Inc. nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDERS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

---- Part 5: Sparta, Inc copyright notice (BSD) -----

Copyright (c) 2003-2005, Sparta, Inc
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

*Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

*Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

*Neither the name of Sparta, Inc nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDERS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

---- Part 6: Cisco/BUPTNIC copyright notice (BSD) -----

Copyright (c) 2004, Cisco, Inc and Information Network
Center of Beijing University of Posts and Telecommunications.
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

*Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

*Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

*Neither the name of Cisco, Inc, Beijing University of Posts and Telecommunications, nor the names of their contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDERS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

---- Part 7: Fabasoft R&D Software GmbH & Co KG copyright notice (BSD) -----

Copyright (c) Fabasoft R&D Software GmbH & Co KG, 2003
oss@fabasoft.com
Author: Bernhard Penz <bernhard.penz@fabasoft.com>

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

*Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

*Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

*The name of Fabasoft R&D Software GmbH & Co KG or any of its subsidiaries, brand or product names may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDER ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

免責事項

本書の内容は予告なく変更することがありますのでご了承ください。
キヤノン株式会社は、ここに定める場合を除き、市場性、商品性、特定使用目的の適合性、または特許権の非侵害性に対する保証を含め、明示的または暗示的にかかわらず本書に関していかなる種類の保証を負うものではありません。キヤノン株式会社は、直接的、間接的、または結果的に生じたいかなる自然の損害、あるいは本書をご利用になったことにより生じたいかなる損害または費用についても、責任を負うものではありません。

Chapter 1

設置方法

ここでは、本製品の開梱から設置、また使用できるまでの準備や設定方法を説明します。

同梱品を確認する 1-2

トナーカートリッジについて 1-2

設置場所を決める 1-2

設置場所に運び、梱包材を取り外す 1-3

トナーカートリッジを準備する 1-4

用紙をセットする 1-5

電源コードを接続する 1-6

電源を入れて、初期設定する 1-6

用紙のサイズと種類を設定する 1-7

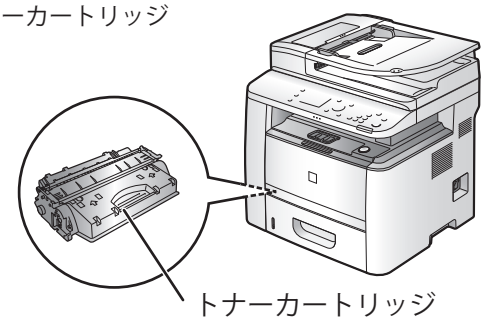
● 同梱品を確認する

同梱品が揃っているかどうかを確認します。
不足しているものや破損しているものがあったときは、お買い求めの販売店までご連絡ください。

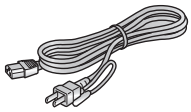
● **本体**

次のものが取り付けられています。

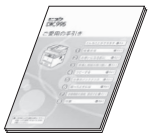
・トナーカートリッジ



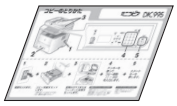
● **電源コード**



● **ご愛用の手引き（本書）**



● **コピーのとりかた**



● **保証書**

● トナーカートリッジについて

本製品に付属のキヤノン純正スタートトナーカートリッジ（同梱用）と、交換用のキヤノン純正トナーカートリッジの印字可能枚数は、それぞれ以下のようになっています。
トナー消費量は、コピー濃度や使用環境（温度、湿度）、原稿の余白の量などによって変わります。余白部分が少ない原稿のコピーをたくさんとった場合や、原稿台ガラスを開けたままコピーをとった場合は、トナー消費量が多くなるので、トナーカートリッジの印字可能枚数が少なくなります。反対に小さい原稿、余白部分が多い原稿のコピーをたくさんとった場合は、トナーカートリッジの印字可能枚数が多くなりますが、コピー面に黒いスジなどが出ることがあります。
最適な印刷品位のため、交換用トナーカートリッジは、キヤノン純正トナーカートリッジのご使用をおすすめします。

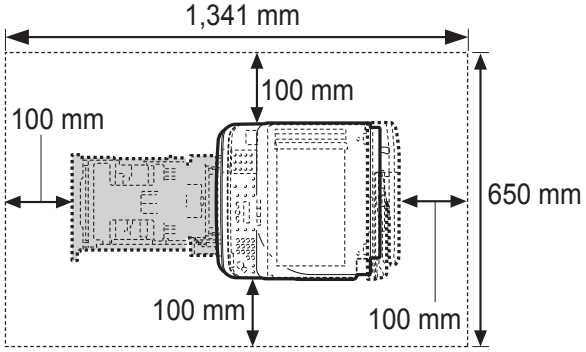
機種名	同梱用 / 交換用	対応するキヤノン純正トナーカートリッジ	印字可能枚数
DPC995	同梱品	Canon Cartridge 420 Starter （キヤノン　カートリッジ　４２０　スターター）	6%標準原稿で、約 1,900 ページ
	交換品	Canon Cartridge 420 （キヤノン　カートリッジ　４２０）	6%標準原稿で、約 4,200 ページ

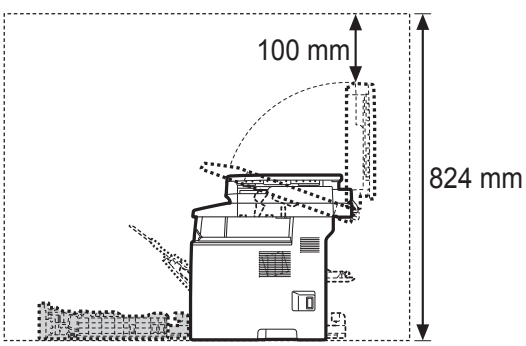
* 6%標準原稿とは、A4 サイズを 100% とした場合に、文字や図、表、グラフなどトナーの載る部分が 6%に相当する原稿のことをいいます。

トナーカートリッジの取り扱いやトナーの節約の設定方法などについては、以下を参照してください。
→ 「トナーカートリッジ」（→ P.2-6）
→ 「トナーカートリッジを交換するときのご注意」（→ P.5-7）

● 設置場所を決める

「設置条件と取り扱いについて」（▶ P.ix）に従って、設置場所を決めてください。



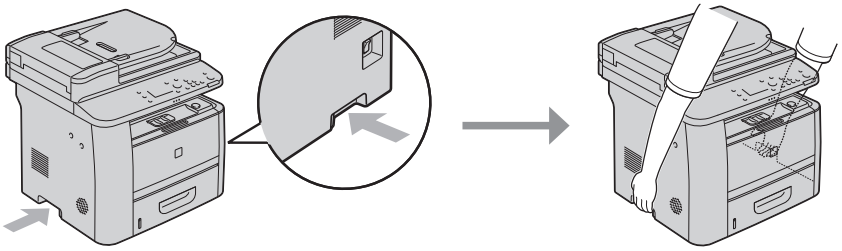


● 設置場所に運び、梱包材を取り外す

本製品を設置場所に運び、梱包材を取り外します。

1 本製品をビニール袋から取り出し、設置場所へ運びます。

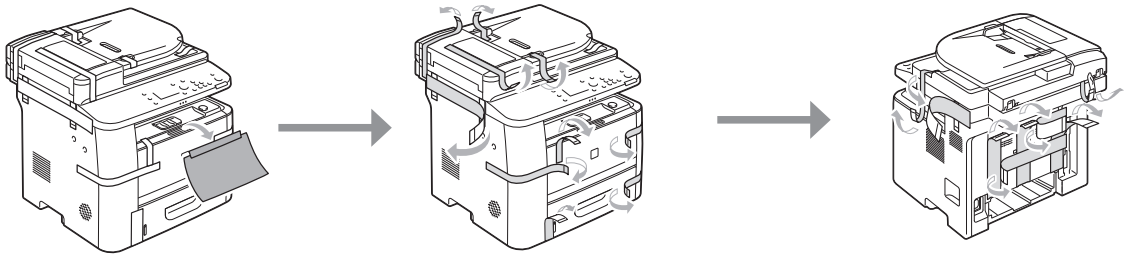
①取っ手を持つ　　**②運ぶ**



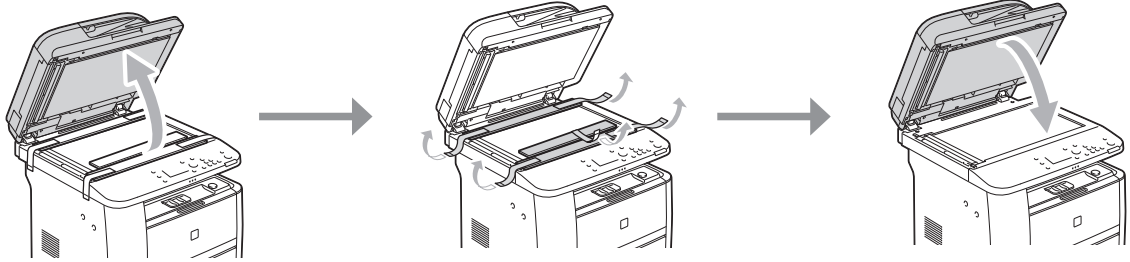
2 梱包材を取り外します。

* 梱包材は予告なく位置・形状が変更されたり、追加や削除されることがあります。

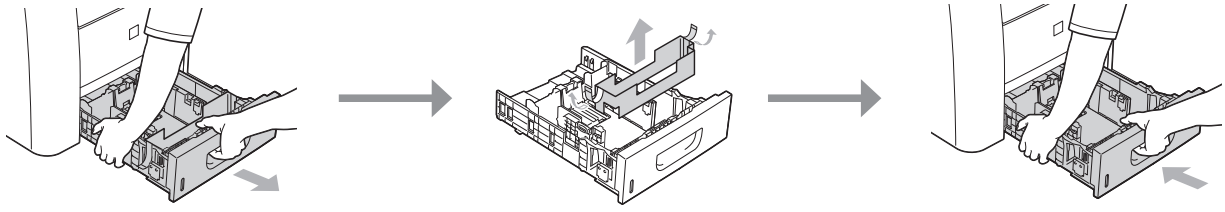
①取り外す　　**②取り外す**　　**③取り外す**



④開ける　　**⑤取り外す**　　**⑥閉じる**



⑦引き出す　　**⑧取り外す**　　**⑨押し込む**

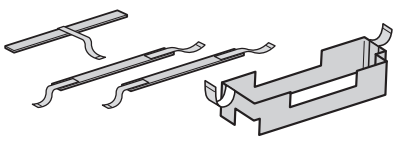


メモ

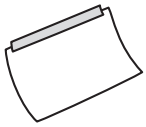
梱包材はすべて取り外したことを確認してください。

- テープ X 18

- テープ付き梱包材 X 4



- 梱包材取り外し説明書× 1

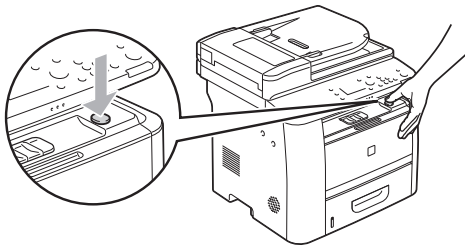


トナーカートリッジを準備する

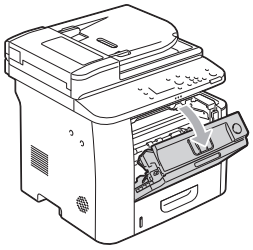
同梱されているトナーカートリッジを本体に取り付け、トナーカートリッジを使用できる状態にします。

1 前カバーを開けます。

①押す

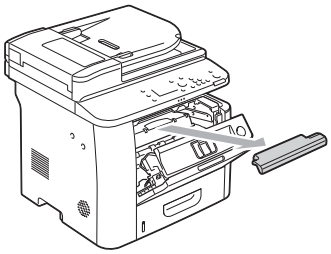


②開ける

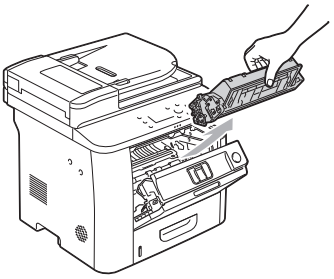


2 トナーカートリッジの梱包材を取り外し、トナーカートリッジを本製品に取り付けます。

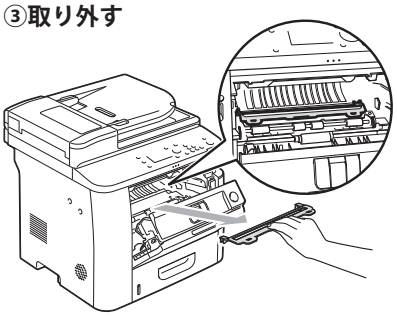
①取り外す



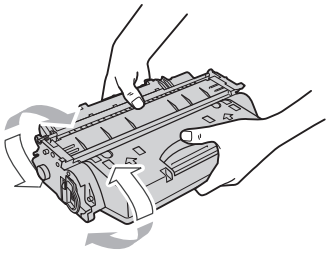
②取り出す



③取り外す

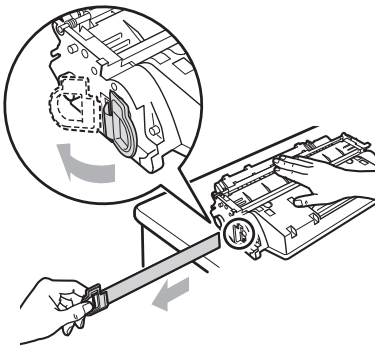


④ 5 ～ 6 回振る



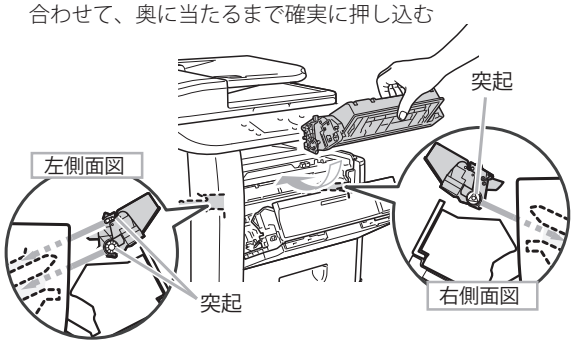
⑤ トナーカートリッジを平らなところに置き、オレンジ色のタブを取り外してから、シーリングテープをゆっくりと完全に引き抜く

シーリングテープの長さは、約 50 cm です。



⑥取り付ける

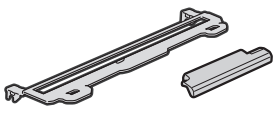
左右の突起をトナーカートリッジガイドに合わせて、奥に当たるまで確実に押し込む



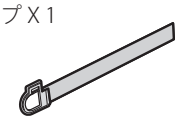
メモ

梱包材はすべて取り外しましたか？

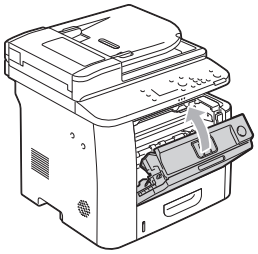
- 梱包材 X 2



- シーリングテープ X 1



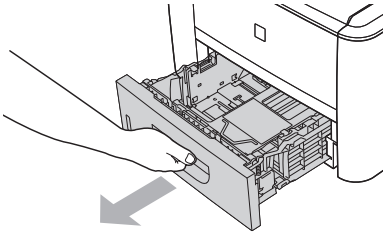
3 前カバーを閉めます。



● 用紙をセットする

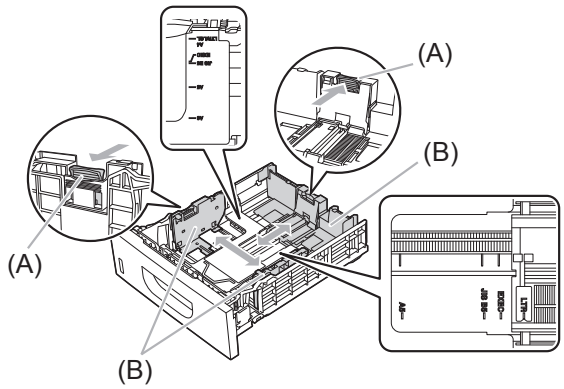
用紙をカセットにセットします。

1 給紙カセットを引き出します。

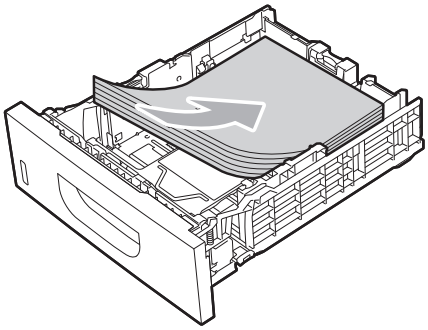


2 用紙ガイドを移動し、用紙をセットします。

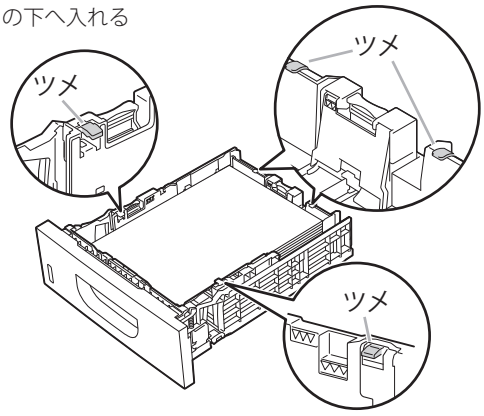
①レバー（A) をつまんで移動する
用紙ガイド（B)をセットする用紙サイズに合わせる



②用紙をセットする
後端の用紙ガイドに合わせてセットする



③用紙をツメの下に入れる
用紙を下へ押さえて、用紙ガイドのツメの下へ入れる



● セットする用紙サイズを変更する場合

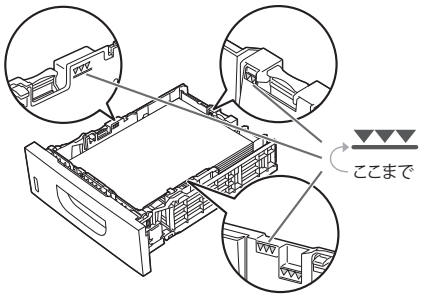
必ず用紙の登録を行ってください。

工場出荷時、用紙サイズは A4、用紙種類は普通紙に設定されています。

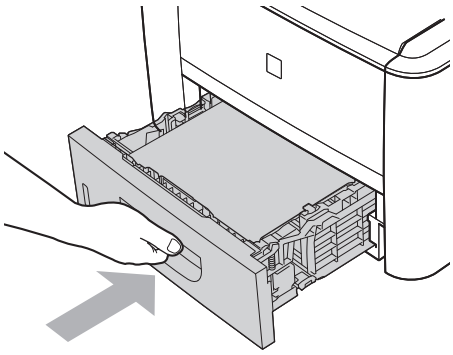
「用紙のサイズと種類を設定する」（→ P.1-7）

メモ

積載制限マークの線を越えないようにセットしてください。



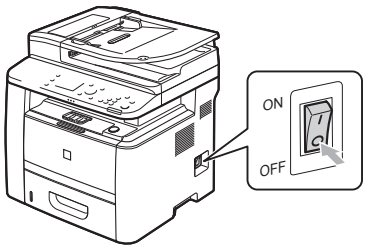
3 給紙カセットを押し込みます。

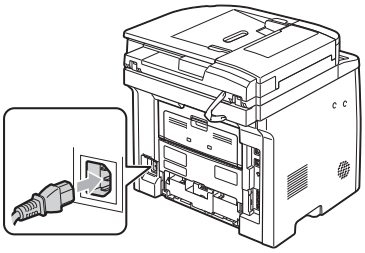


電源コードを接続する

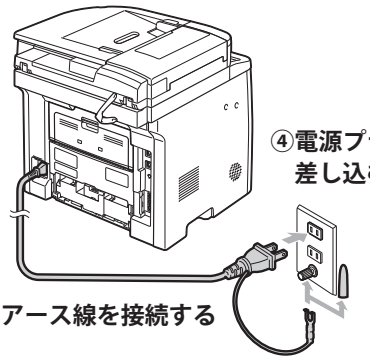
以下の手順で、電源コードを接続してください。

①電源が入っていないことを確認する





②差し込む



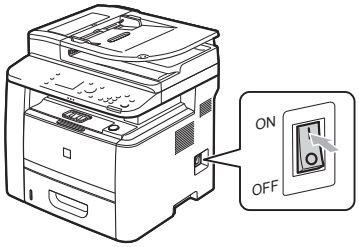
③アース線を接続する

④電源プラグを差し込む

電源を入れて、初期設定する

以下の手順で電源を入れ、初期設定を行います。

1 電源を入れます。

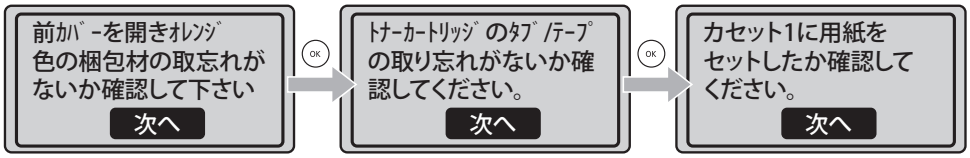


メモ

- 本製品を設置後に初めて電源を入れるとき、白紙が 1 枚排紙されることがありますが、異常ではありません。
- 一定時間何も操作をしないと、自動的に節電状態に移行します（スリープモード）。スリープモードを解除するには、操作パネルの［(節電)］（節電）を押してください。

2 初期設定を行います。

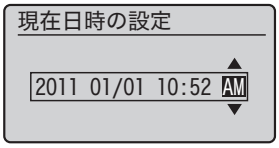
①確認して、［OK］を押す



②［▲］［▼］でタイムゾーンを選択して、［OK］を押す

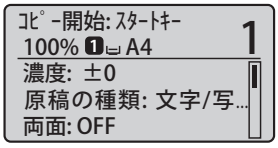
※タイムゾーンはグリニッジ標準時からの時差を選択します。
グリニッジ標準時とは、経度 0 度を基準として決められた世界各国の標準時（タイムゾーン）のことです。

③日時を入力して、［OK］を押す



- ［◀］［▶］でカーソルを移動します。
- ［▲］［▼］で、数字または< AM >と< PM >を切り替えます。

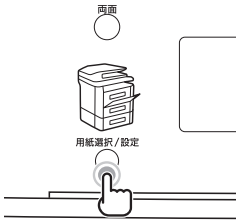
④初期画面が表示され、初期設定が終了します。



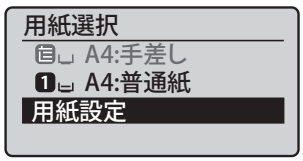
用紙のサイズと種類を設定する

使用する用紙のサイズと種類を設定します。
給紙カセットまたは手差しトレイに用紙をセットした場合、セットした用紙のサイズと種類に合わせて登録内容を変更してください。

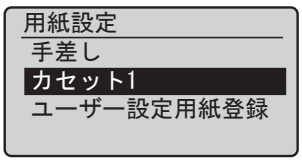
①［○］（用紙選択 / 設定）を押す



②［▲］［▼］で選択して、［OK］を押す

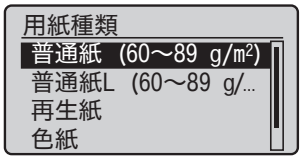


③［▲］［▼］で選択して、［OK］を押す



④［▲］［▼］で選択して、［OK］を押す

⑤［▲］［▼］で選択して、［OK］を押す



⑥［○］（用紙選択 / 設定）を押して、＜用紙選択＞画面を閉じる

Chapter 2

お使いになる前に

本製品をお使いになる前に知っておいてほしいことを説明しています。

本体の各部の名称と働き 2-2

本体前面 2-2
本体背面 2-3
本体内部 2-3
操作パネル 2-4

メニューの操作方法 2-5

メニュー画面を表示する 2-5
画面をスクロールして項目を表示する 2-5
メニューの項目を選択する 2-5
メニューの項目を設定する 2-5
待受画面に戻る 2-6

トナーカートリッジ 2-6

消耗品のご購入相談窓口 2-6
トナーカートリッジの取り扱い 2-6
トナーを節約する 2-7

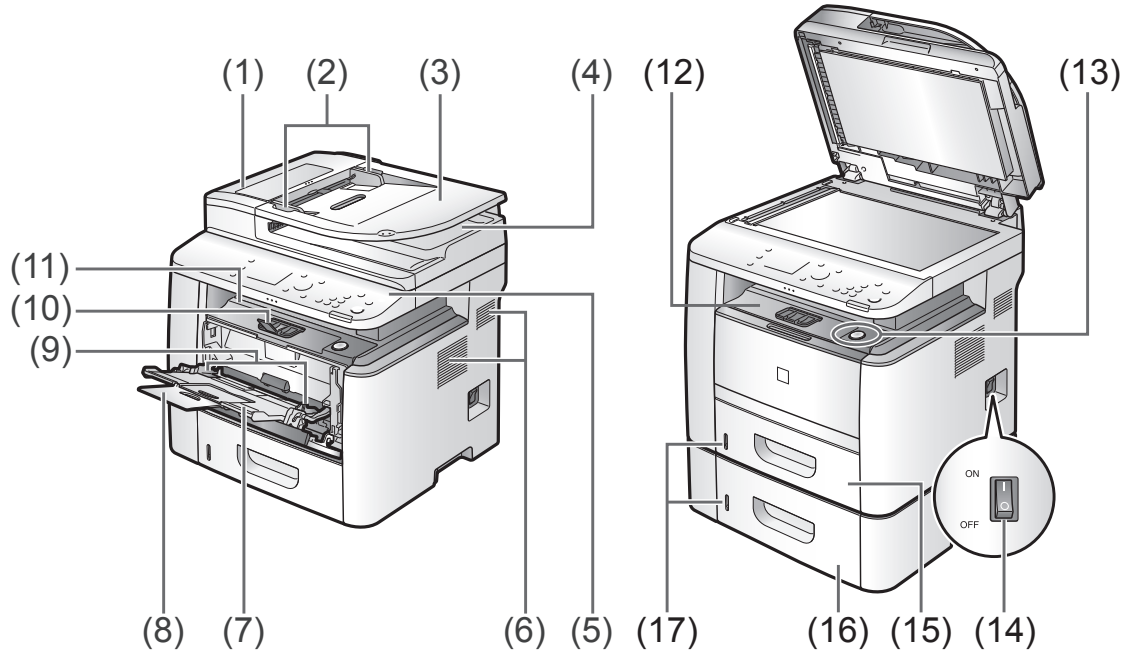
タイマー設定 2-8

オートスリープタイムを設定する 2-8
オートクリアタイムを設定する 2-9
日付と時刻を設定する 2-10

本体の各部の名称と働き

各部の名称とはたらきを説明します。

本体前面



(1) フィーダー
自動的に原稿の連続読み込みを行うことができます。

(2) 原稿ガイド
原稿の幅に合わせて調節します。

(3) 原稿給紙トレイ
原稿をセットします。

(4) 原稿排紙トレイ
原稿が排出されます。

(5) 操作パネル
本製品を操作します。
「操作パネル」(→ P.2-4)

(6) 通気口
本製品の内部を冷却するための通気口です。
熱を十分に逃せるよう、通気口の周囲を広く開けてください。

(7) 手差しトレイ
手差しで用紙がセットできます。郵便はがきや封筒はここにセットします。

(8) 補助トレイ（手差しトレイ）
引き出して用紙をセットします。

(9) 用紙ガイド（手差しトレイ）
用紙の幅に合わせて調節します。

(10) 排紙ストッパー
排紙トレイから出力紙が落ちるのを防ぎます。

(11) 排紙トレイ
出力紙を排出します。

(12) 前カバー
トナーカートリッジの交換や、つまった用紙を取り除くときに開きます。

(13) オープンボタン
前カバーを開けるときに押します。

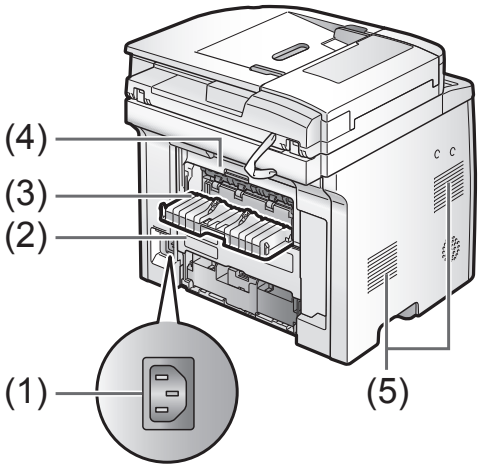
(14) 電源スイッチ
電源を入れたり、切ったりします。

(15) 給紙カセット
用紙をセットします。

(16) 1 段カセットユニット・U1（カセット 2）
オプションの給紙カセットです。

(17) 用紙残量表示
カセット内の用紙残量を知ることができます。
用紙が減ると残量表示が下がります。

本体背面



(1) 電源ソケット
電源コードを接続します。

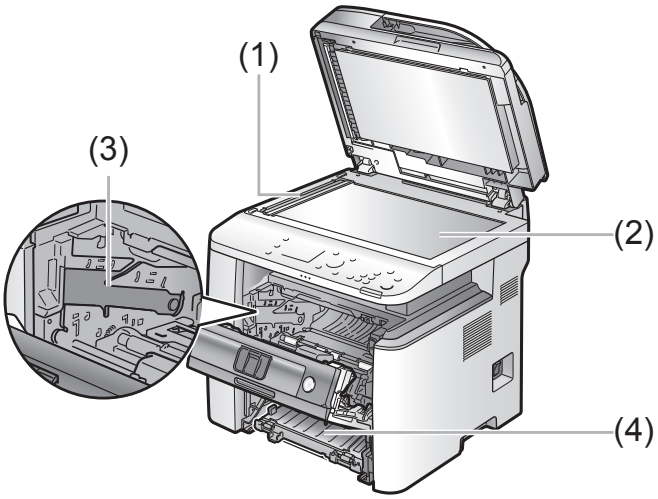
(2) 後ろ下カバー
つまった用紙を取り除くときに開きます。

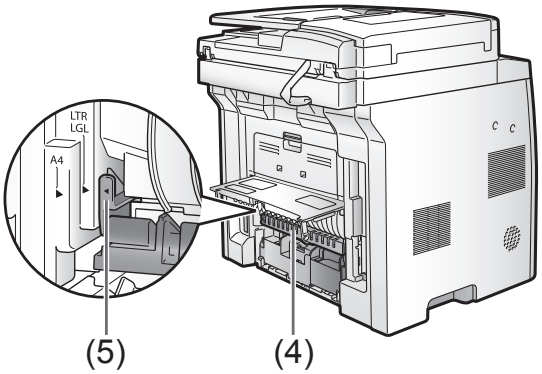
(3) サブ排紙トレイ
プリントした面が上向きで排紙されます。用紙はページ順とは逆に積み重なります。用紙がまっすぐに排紙されるので、カールしやすい OHP フィルムやラベル用紙、封筒などにプリントするときに適しています。

(4) 後ろカバー
つまった用紙を取り除くときに開きます。

(5) 通気口
本製品の内部を冷却するための通気口です。熱を十分に逃せるよう、通気口の周囲を広く開けてください。

本体内部





(1) フィーダー読み取りエリア
フィーダーにセットされた原稿を読み取ります。

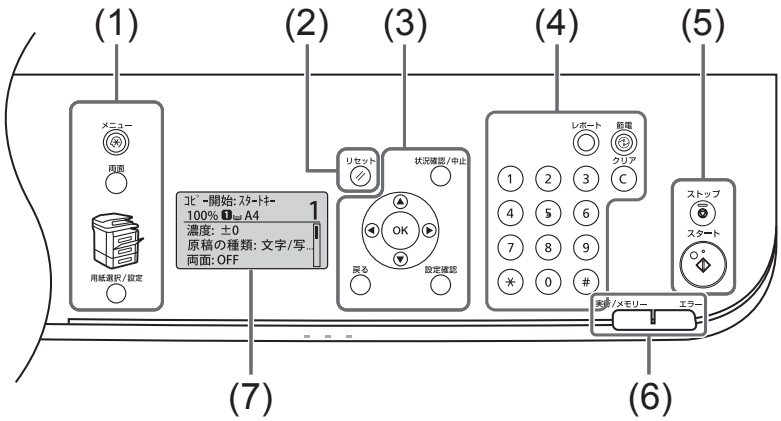
(2) 原稿台ガラス
原稿をセットします。

(3) トナーカートリッジガイド
トナーカートリッジをセットするときは、左右の突起をこのガイドに合わせて押し込みます。

(4) 両面ユニット
両面コピーするときに使用します。

(5) 用紙サイズ切り替えレバー
両面コピーするときに使用します。

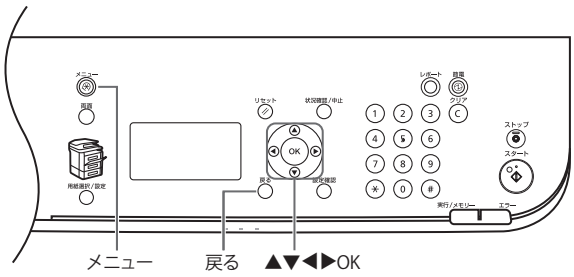
操作パネル



(1)	［メニュー］キー	各種の設定や登録をします。
	［両面］キー	両面設定をします。
	［用紙選択］ランプ	選択されている給紙元のランプが点灯します。
	［用紙選択 / 設定］キー	給紙カセットと手差しトレイにセットする用紙のサイズや種類を登録します。
(2)	［リセット］キー	設定をリセット（デフォルトに戻す）します。
(3)	［状況確認 / 中止］キー	ジョブの確認や中止を行います。また、ネットワークや本製品の状態の確認も行うことができます。
	［▲］キー	上の設定項目を選択、または設定値を増やします。
	［▼］キー	下の設定項目を選択、または設定値を減らします。
	［◀］キー	1 階層前の画面に戻る、またはカーソルを移動します。
	［▶］キー	1 階層次の画面に進む、またはカーソルを移動します。
	［OK］キー	設定、登録した内容を確定します。
	［戻る］キー	1 階層前の画面に戻ります。
	［設定確認］キー	設定確認をします。
(4)	テンキー（［0］～［9］）	数字を入力します。
	［レポート］キー	各種リストをプリントします。
	［節電］キー	手動で節電状態に設定／解除します。節電状態のときはグリーンに点灯します。
	［クリア］キー	数字を削除します。
(5)	［ストップ］キー	ジョブを中止します。
	［スタート］キー	コピー操作を開始します。
(6)	［実行 / メモリー］ランプ	コピー中に点滅、待機中のジョブがあるときに点灯します。
	［エラー］ランプ	エラーが発生したときに点滅します。
(7)	ディスプレイ	メッセージや動作状況を表示します。 メニュー操作中は、メニュー項目、選択事項などを表示します。 通常は下記の待ち受け画面を表示します。

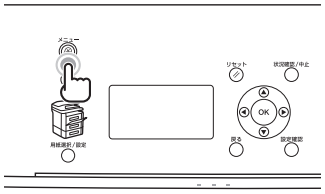
メニューの操作方法

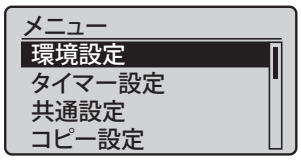
次のキーを使用して、メニュー画面を操作します。



メニュー画面を表示する

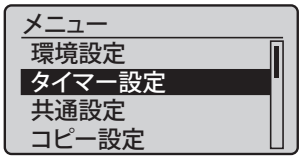
［㊙］（メニュー）を押してメニュー画面を表示します。





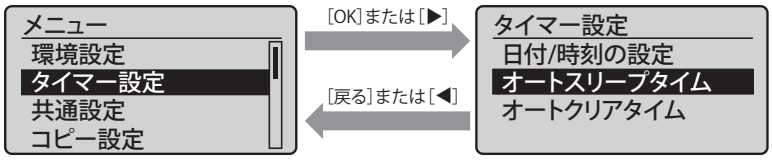
画面をスクロールして項目を表示する

画面右側のスクロールバーは、画面に表示されていない項目があることを示しています。
表示されていない項目を選択したい場合は、［▲］［▼］で画面をスクロールしてください。
現在選択されている項目は、反転して表示されます。



メニューの項目を選択する

［OK］を押して、反転している項目を選択します。
サブメニューがある場合は、［▶］を押して、次の画面へ進むことができます。
［◯］（戻る）や［◀］を押すと前の画面に戻ることができます。



メニューの項目を設定する

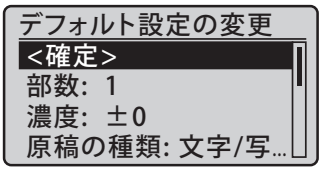
設定方法

状況	画面例	手順
濃度の調節など、画面に表示されている目盛りを左右に動かすとき	濃度 -□□□□■□□□□+ 背景調整: 変更なし	［◀］［▶］で調整します。
タイマー設定など、数値を選択するとき	テンキー オートスリープタイム ▲ 5 分 (3～240)	［▲］［▼］で数値を選択します。 **メモ** **入力できる数値について** 入力欄の下にある（ ）内の数値を入力することができます。 **画面にテンキーアイコンが表示されているとき** テンキーで入力することができます。

入力内容を確定する

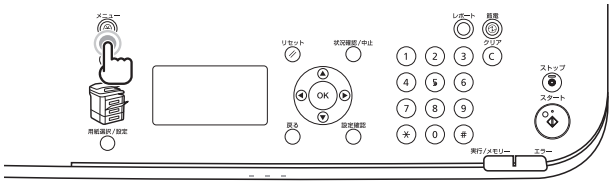
入力内容を確定するには、次の操作を行います。

- ［OK］を押します。
- ＜確定＞が画面に表示されているときは、［▲］［▼］で＜確定＞を選択してから、［OK］を押します。



待受画面に戻る

［㊀］（メニュー）を押すとメニュー画面が閉じて、待受画面に戻ります。



メモ

［OK］を押す前に［㊀］（メニュー）を押した場合

設定内容は保存されません。

トナーカートリッジ

本製品に付属のキヤノン純正スタートトナーカートリッジ（同梱用）と、交換用のキヤノン純正トナーカートリッジの印字可能枚数は、それぞれ以下のようになっています。
トナー消費量は、コピー濃度や使用環境（温度、湿度）、原稿の余白の量などによって変わります。余白部分が少ない原稿のコピーをたくさんとった場合や、原稿台ガラスを開けたままコピーをとった場合は、トナー消費量が多くなるので、トナーカートリッジの印字可能枚数が少なくなります。反対に小さい原稿、余白部分が多い原稿のコピーをたくさんとった場合は、トナーカートリッジの印字可能枚数が多くなりますが、コピー面に黒いスジなどが出ることがあります。
最適な印刷品位のため、交換用トナーカートリッジは、キヤノン純正トナーカートリッジのご使用をおすすめします。

機種名	同梱用 / 交換用	対応するキヤノン純正トナーカートリッジ	印字可能枚数
DPC995	同梱品	Canon Cartridge 420 Starter （キヤノン　カートリッジ　４２０　スターター）	6%標準原稿で、約 1,900 ページ
	交換品	Canon Cartridge 420 （キヤノン　カートリッジ　４２０）	6%標準原稿で、約 4,200 ページ

*　6%標準原稿とは、A4 サイズを 100% とした場合に、文字や図、表、グラフなどトナーの載る部分が 6%に相当する原稿のことをいいます。

消耗品のご購入相談窓口

お買い求めの販売店またはお近くのキヤノン販売店にてお買い求めください。
ご不明な場合は、「キヤノンお客様相談センター」までお問い合わせください。

トナーカートリッジの取り扱い

トナーカートリッジのお取り扱いには、以下の点にご注意ください。

⚠ 警告

トナーをこぼした場合の対処

トナーをこぼした場合は、トナー粉塵を吸いこまないよう、掃き集めるか濡れた雑巾等で拭き取ってください。掃除機を使用する場合は、粉塵爆発に対する安全対策がとられていない一般の掃除機は使用しないでください。掃除機の故障や静電気による粉塵爆発の原因になる可能性があります。

⚠ 注意

トナーカートリッジを火の中に投げ入れない

トナーが発火してやけどの原因になることがあります。

トナーカートリッジからトナーが漏れたとき

吸い込んだり直接皮膚につけたりしないように注意してください。皮膚についた場合は、石鹸を使い水で洗い流し、刺激が残る場合や吸い込んだ場合には直ちに医師に相談してください。

トナーカートリッジを本体から取り外すとき

トナーが飛び散って目や口などにトナーが入らないように、丁寧に取り出してください。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。

トナーなどの消耗品は幼児の手が届かないところへ保管してください

もしトナーを飲んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

トナーカートリッジは分解しないでください

トナーが飛び散って目や口などに入ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。

重要

トナーカートリッジの取り扱い

- トナーカートリッジをコンピューター画面やディスクドライブ、フロッピーディスクなどに近づけないでください。トナーカートリッジ内部のマグネットによって破損する恐れがあります。
- トナーカートリッジは、高温多湿や急激に温度が変化するような場所および火気のある場所に保管しないでください。
- トナーカートリッジを、直射日光や電灯の光に 5 分以上さらさないでください。
- トナーカートリッジは保護袋に入れて保管し、本製品に取り付けるまで保護袋から取り出さないでください。
- トナーカートリッジの保護袋は保管しておいてください。本製品を移動するときなどに必要になります。
- トナーカートリッジを、塩分を含んだ空気や、エアゾールスプレーなどから出る腐食性ガスが充満している場所に保管しないでください。
- 必要なとき以外は、トナーカートリッジを取り外さないでください。
- ドラム表面を光にさらしたり、傷つけたりすると、プリント品質が低下する恐れがあります。
- トナーカートリッジを取り扱う際は、ドラムに触れないように必ず取っ手を持ってください。
- トナーカートリッジを立てて置いたり、逆さにしたりしないでください。トナーカートリッジ内部でトナーが固まってしまい、振っても元に戻らなくなることがあります。
- 使用済みトナーカートリッジを廃棄する場合は、トナーカートリッジを保護袋に入れてトナーが飛び散らないようにし、自治体の指示にしたがって処理してください。

トナーカートリッジの偽造品に関するご注意

トナーカートリッジの「偽造品」が流通していることが確認されています。

「偽造品」はキヤノン株式会社の商標権を侵害するものです。また誤って「偽造品」を使用されますと、印字品位の低下など、機械本体の本来の性能が十分に発揮されない場合があります。

「偽造品」に起因する故障や事故につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。

詳しくは下記ホームページをご覧ください。

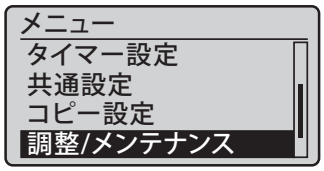
http://www.canon.com/counterfeit

トナーを節約する

コピー時に、トナーの消費量を節約するかどうかを設定します。

1 [☆]（メニュー）を押します。

2 [▲] [▼] で＜調整／メンテナンス＞を選択して、[OK] を押します。



3 [▲] [▼] で＜トナーセーブモード＞を選択して、[OK] を押します。

4 [▲] [▼] で＜ OFF ＞または＜ ON ＞を選択して、[OK] を押します。

＜ OFF ＞	トナーセーブモードを使用しません。
＜ ON ＞	トナーセーブモードを使用します。

メモ

＜トナーセーブモード＞を＜ ON ＞に設定したとき

- トナーの消費量は節約できますが、プリント結果が薄くなり、細い線や濃度の薄いプリントが不鮮明になることがあります。

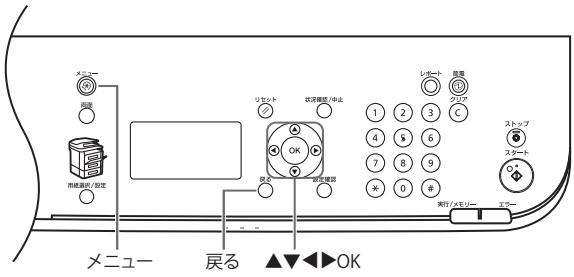
5 [☆]（メニュー）を押してメニュー画面を閉じます。

タイマー設定

オートスリープタイムを設定する

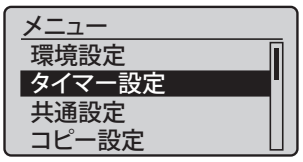
本製品はある一定時間何も操作をしないと、自動的に節電状態に移行します（スリープモード）。

この操作で使用するキー

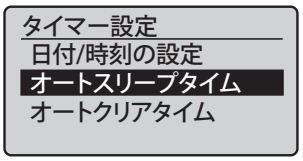


1 ［㊙］（メニュー）を押します

2 ［▲］［▼］で＜タイマー設定＞を選択して、［OK］を押します。



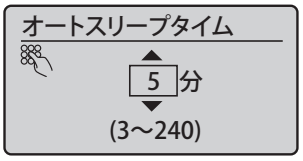
3 ［▲］［▼］で＜オートスリープタイム＞を選択して、［OK］を押します



4 ［▲］［▼］で時間を設定して、［OK］を押します。

※　テンキーを使って数値を入力することもできます。

※　本項目は、工場出荷時の設定でお使いになることをおすすめします。



メモ

スリープモードの移行時間の設定について

スリープモードの移行時間は、＜3＞分から＜240＞分の範囲で1分刻みで設定できます。また、工場出荷時は＜5＞分に設定されています。

5 ［㊙］（メニュー）を押してメニュー画面を閉じます。

メモ

スリープモードに移行すると

［㊊］（節電）がグリーンに点灯します。

手動でスリープモードにするには

［㊊］（節電）を押してください。

スリープモードに移行しない状態

- 本製品が操作中の場合
- 実行／メモリーランプが点灯または点滅している場合
- エラーメッセージがディスプレーに表示され、エラーランプが点滅している場合（ただし、＜排紙トレイフル＞、ジョブが存在しないときに＜用紙なし＞ が表示されている場合を除く）
- 調整中やクリーニング中など、本製品が動作中の場合
- 本体内で紙づまりが発生している場合

スリープモードから復帰するとき

- ［㊊］（節電）が押されたとき

オートクリアタイムを設定する

コピー操作の終了後や、一定の時間キー操作をしなかった場合に、設定を解除するまでの時間を設定します。
オートクリア後は、待ち受け画面に戻ります。

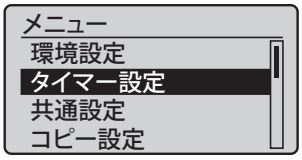
メモ

オートクリアタイム経過後でも設定が解除されない状態

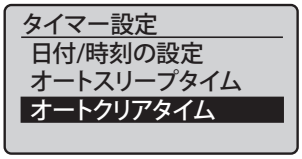
- メニュー画面の表示中
- 実行中のジョブがある場合
- エラーメッセージがディスプレーに表示され、エラーランプが点滅している場合（ただし、エラーメッセージが表示されていても、継続可能なジョブの場合は除く）

1 [㊞]（メニュー）を押します。

2 [▲] [▼] で＜タイマー設定＞を選択して、[OK] を押します。

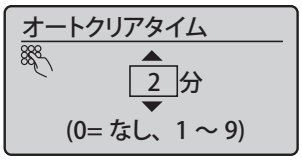


3 [▲] [▼] で＜オートクリアタイム＞を選択して、[OK] を押します。



4 [▲] [▼] で時間を設定して、[OK] を押します。
＜0分＞に設定すると、オートクリアを行いません。

※　テンキーを使って数値を入力することもできます。

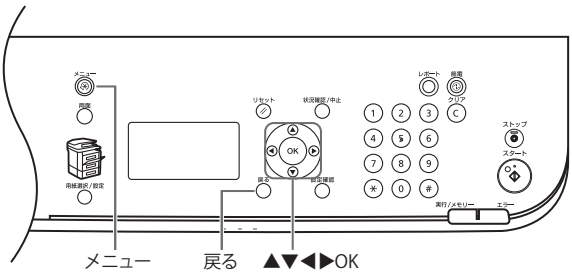


5 [㊞]（メニュー）を押してメニュー画面を閉じます。

日付と時刻を設定する

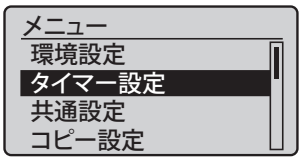
日付時刻の表示方法と現在の日付と時刻を設定します。
ここで設定した日付と時刻は、各種レポートで使用されます。

この操作で使用するキー

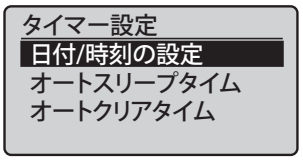


1 [㊟]（メニュー）を押します。

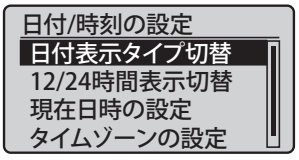
2 [▲][▼]で<タイマー設定>を選択して、[OK]を押します。



3 [▲][▼]で<日付／時刻の設定>を選択して、[OK]を押します



4 [▲][▼]で設定項目を選択して、[OK]を押します。



設定項目	概要	操作
<日付表示タイプ切替>	日付の表示形式を設定します。	[▲][▼]で表示形式を選択して、[OK]を押します。表示形式は次の3つから選択できます。 • 年/月/日 • 月/日/年 • 日/月 年
<12／24時間表示切替>	時刻の表示形式を設定します。	[▲][▼]で表示形式を選択して、[OK]を押します。表示形式は次の2つから選択できます。 • 12時間表示（AM/PM） • 24時間表示
<現在日時の設定> *	現在の日付と時刻を設定します。	時刻、日付の入力や< AM >と< PM >の切り替えは、[▲][▼]で行います。カーソルは、[▲][▼]で移動します。 現在日時の設定 2011 01/01 10:52 AM
<タイムゾーンの設定>	タイムゾーンを設定します。	[▲][▼]でタイムゾーン*1を選択して、[OK]を押します。 *1 日本国内で使用される場合は、日本の標準時はGMT*2（± 0時）より9時間先行しているため、[GMT+9:00]を設定します。 *2 イギリスのグリニッジ天文台の時刻（グリニッジ標準時）をGMT（Greenwich Mean Time）と呼びます。

* <タイムゾーンの設定>を設定してから、本項目の設定を変更してください。（<タイムゾーンの設定>を変更すると、<現在日時の設定>も変更されます。）

5 [㊟]（メニュー）を押してメニュー画面を閉じます。

Chapter 3

原稿と用紙の取り扱い

ここでは、本製品で使用できる原稿や用紙の説明や取り扱いかたを説明しています。

使用できる原稿について 3-2

読み取り範囲 3-2

原稿をセットする 3-3

原稿台ガラスにセットする 3-3
フィーダーにセットする 3-3

使用できる用紙について 3-5

用紙サイズ 3-5
用紙の種類 3-6

プリント範囲 3-7

用紙をセットする 3-8

給紙カセットにセットする 3-8
手差しトレイにセットする 3-9
用紙をセットするときのご注意 3-11
用紙のセット可能枚数 3-11
用紙のセット向き 3-12
レターヘッドやロゴ付きの用紙（プレプリント紙）などにプリントする場合 3-12
はがきにコピーする場合 3-13
封筒にコピーする場合 3-13

用紙のサイズと種類を設定する 3-14

給紙カセットの用紙設定をする 3-14
手差しトレイの用紙設定をする 3-14
手差しトレイのデフォルト用紙設定を登録する 3-15
ユーザー設定用紙を設定する 3-16

プリント面を選択する 3-17

本項目を<スピード優先>に設定した場合（工場出荷時の設定） 3-17
本項目を<プリント面優先>に設定した場合 3-17

● 使用できる原稿について

	原稿台ガラス	フィーダー
原稿の種類	• 普通紙 • 厚紙 • 写真 • 小型原稿（名刺サイズなど） • 特殊紙（トレーシングペーパー、OHP フィルムなど）*1 • 本（厚さ 20 mm までのもの）	普通紙 （同じサイズ、厚さ、重量の複数枚の原稿、または 1 枚の原稿）
サイズ （幅×長さ）	最大 216 mm × 356 mm	最大 215.9 mm × 355.6 mm 最小 139.7 mm × 128 mm
質量／坪量	最大 2 kg	• 片面原稿：50 ～ 105 g/m^2 • 両面原稿：64 ～ 105 g/m^2
積載枚数	1 枚	• 最大 50 枚 *2

*1 トレーシングペーパーや OHP フィルムなどの透過原稿をコピーする場合は、原稿台ガラスに原稿を下向きにしてセットし、白紙を原稿の上に重ねて置いてください。
*2 80 g/m^2 の用紙

重要

原稿をセットするときは

のり、インク、修正液が完全に乾いてから、原稿をセットしてください。

フィーダー内で原稿がつまるのを防ぐために

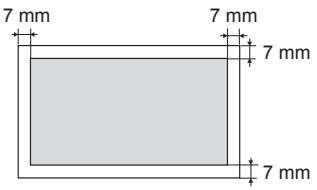
以下のものは使用しないでください。

- しわや折り目のある原稿
- カーボン紙やカーボンバック紙
- カールした、または巻いた紙
- コート紙
- 破れた原稿
- 薄質半透明紙や薄紙
- ステイプルの針またはクリップが付いた紙
- 熱転写プリンターでプリントされた紙
- OHP フィルム

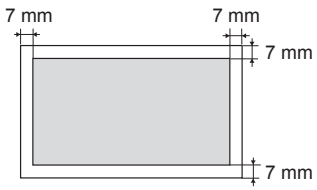
● 読み取り範囲

原稿の文字や画像が、以下の図に示す範囲に収まっていることを確認してください。
※ 下記の余白は目安であり、実際とは異なる場合があります。
※ 原稿の置く向きは以下の通りです。
• 原稿台ガラス：原稿を伏せて置いた状態
• フィーダー：原稿給紙トレイに置いた状態

原稿台ガラス



フィーダー



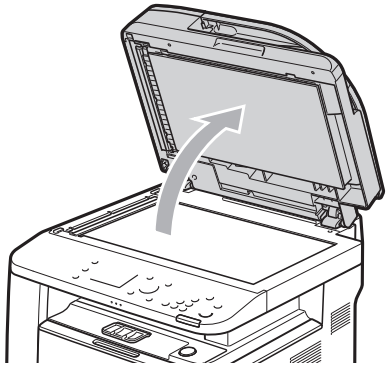
※ 実際にプリントできる範囲については、「プリント範囲」（→ P.3-7）を参照してください。

原稿をセットする

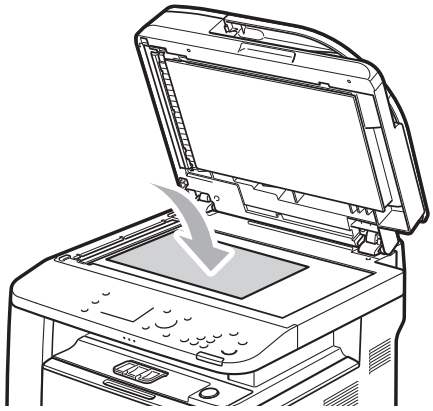
原稿台ガラスやフィーダーに原稿をセットする方法について説明します。

原稿台ガラスにセットする

1 フィーダーを開けます。

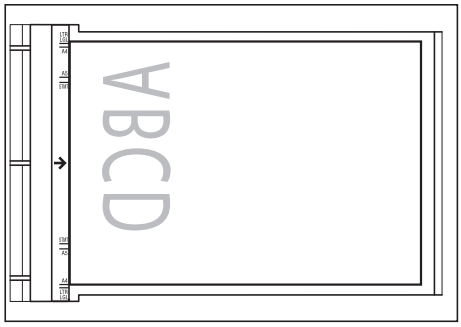


2 読み取る面を下にして、原稿を置きます。



3 原稿を用紙サイズマークに合わせます。

原稿が用紙サイズマークに合わないときは、原稿の中心を矢印（→）に合わせてください。



4 フィーダーを静かに閉めます。

原稿を読み込む準備ができました。

読み込みが完了したら、原稿台ガラスから原稿を取り出してください。

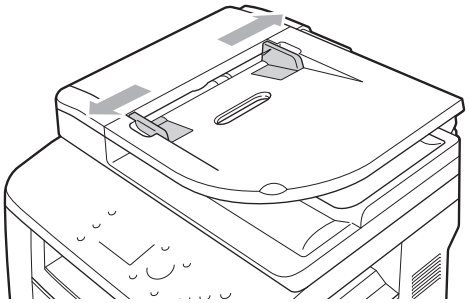
⚠ 注意

フィーダーを閉めるときの注意

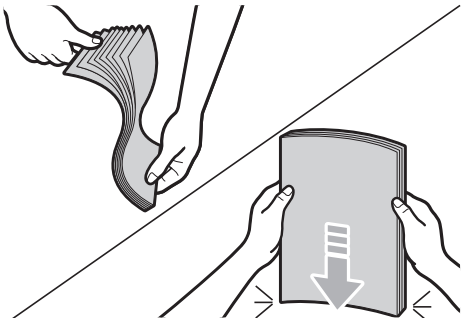
- **指を挟まないよう注意してください。けがをする恐れがあります。**
- **無理に閉めないでください。原稿台ガラスが破損してけがをする恐れがあります。**

フィーダーにセットする

1 原稿ガイドの幅を原稿の幅より少し広めにセットします。



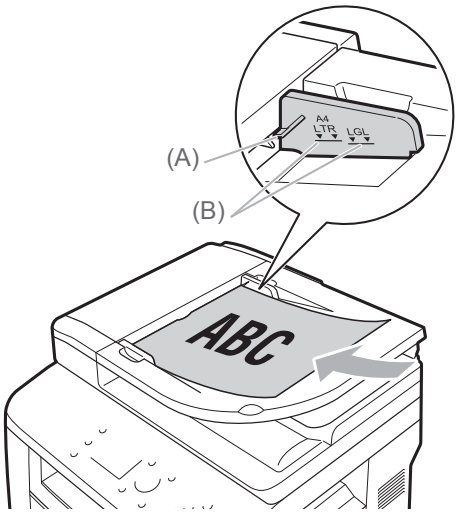
2 原稿をさばいてから、平らな場所で原稿の端を揃えます。



3 読み取る面を上にして、原稿をセットします。

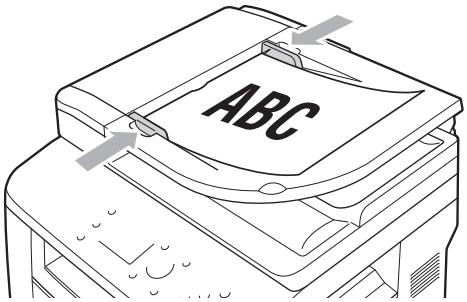
積載制限ガイド（A）の下を通します。

積載制限マーク（B）を超えていないことを確認してください。



4 原稿ガイドを原稿の幅に合わせます。

原稿を読み込む準備ができました。



重要

原稿は 50 枚までセットできます

51 枚を超える原稿をセットすると、紙づまりが発生したり、原稿が読み込まれない場合があります。

原稿を読み込んでいるとき

原稿を追加したり、抜いたりしないでください。

原稿を読み込み終わったら

紙づまりを防ぐために原稿排紙トレイから原稿を取り出してください。

同じ原稿を 30 回以上読み込まない

繰り返し読み込まれた原稿は、折りたたまれたり破れたりして、紙づまりを起こすことがあります。

必ず原稿ガイドを原稿の幅に合わせる

ゆるすぎたりきつすぎたりすると、用紙が正しく送られなかったり、紙づまりの原因になります。

使用できる用紙について

用紙サイズ

使用できる用紙サイズは以下のとおりです。

○：給紙可能　—：給紙不可

用紙サイズ	給紙部	
	給紙カセット *1	手差しトレイ
A4（210mm × 297mm）*2*3	○	○
B5（182mm × 257mm）	○	○
A5（148mm × 210mm）	○	○
リーガル（LGL）（215.9mm × 355.6mm）*2	○	○
レター（LTR）（215.9mm × 279.4 mm）*2*3	○	○
ステートメント（STMT）（139.7mm × 215.9mm）	—	○
エグゼクティブ（EXEC）（184mm × 266.7mm）	○	○
オフィシオ（215.9mm × 317.5mm）	○	○
ブラジルーオフィシオ（216mm × 355mm）	○	○
メキシコーオフィシオ（215.9mm × 341mm）	○	○
ガヴァメントーレター（203.2mm × 266.7mm）	○	○
ガヴァメントーリーガル（203.2mm × 330.2mm）	○	○
FOOLSCAP（215.9mm × 330.2mm）	○	○
Australian-FOOLSCAP（205.7mm × 337.8mm）	○	○
はがき（100mm × 148mm）	—	○
往復はがき（148mm × 200mm）	—	○
4 面はがき（200mm × 296mm）	—	○
封筒長形 3 号（120mm × 235mm）*4	—	○
封筒洋形長 3 号（120mm × 235mm）*4	—	○
ユーザー設定用紙	—	○ *5

*1 オプションの給紙カセット（カセット 2）にもセットすることが可能です。
*2 自動両面コピーが可能です。
*3 リストのプリントが可能です。
*4 封筒はふたを閉じて使用してください。
*5 幅 76.0 ～ 216.0 mm、長さ 127.0 ～ 356.0 mm のサイズのユーザー設定用紙をセットすることができます。
用紙サイズは、縦長（[高さ] ≧ [幅]）かつ、定義可能な範囲内で指定してください。

メモ

用紙サイズの初期値

初期値は、A4 です。別の用紙サイズを使用する場合、用紙サイズの設定を変更してください。

「用紙のサイズと種類を設定する」（→ P.3-14）

用紙の種類

使用できる用紙の種類は以下のとおりです。

用紙の種類		＜用紙種類＞の設定	給紙部	
			積載枚数（給紙カセット）*1	積載枚数（手差しトレイ）
普通紙 *2	60 ～ 89 g/m^2	［普通紙］ ［普通紙 L］*4	500 枚	50 枚
厚紙 *3	90 ～ 128 g/m^2	［厚紙 1］	320 枚	40 枚
	129 ～ 163 g/m^2	［厚紙 2］	—	25 枚
再生紙 *2	60 ～ 89 g/m^2	［再生紙］	500 枚	50 枚
色紙 *2	60 ～ 89 g/m^2	［色紙］	500 枚	50 枚
OHP フィルム *5		［OHP フィルム］	—	15 枚
ラベル用紙		［ラベル用紙］	—	20 枚
はがき、往復はがき、4 面はがき *6		［はがき］	—	25 枚
封筒		［封筒］	—	5 枚

*1 オプションの給紙カセット（カセット 2）にもセットすることが可能です。
*2 自動両面コピーが可能です。
*3 128 g/m^2 までの厚紙は自動両面コピーが可能です。
*4 ［普通紙］に設定してコピーした結果、排紙された用紙がカールする（用紙が反る）場合は、［普通紙 L］に設定してください。ただし、［普通紙 L］に設定した場合、定着性が低下する場合があります。
*5 OHP フィルムは、レーザープリンター用のものを使用してください。
*6 インクジェット用の郵便はがき、郵便往復はがきを使用することはできません。

紙づまりを防ぐため、以下の用紙は使用しないでください。

- **しわや折り目のある紙**
- **カールした、または巻いた紙**
- **破れた紙**
- **湿った紙**
- **非常に薄い紙**
- **熱転写プリンターでプリントされた紙（裏面にコピーしないでください。）**

以下の用紙ではプリントが不鮮明になります。

- **目の粗い紙**
- **つるつるした紙**
- **光沢紙**

用紙にホコリ、糸くず、油のしみが付かないようにしてください。

用紙を大量に購入する際は、事前に用紙を試してください。

用紙は包装紙で包み、平らな場所で保管してください。開封した用紙は元の包装紙で包みなおし、涼しい乾燥した場所で保管してください。

用紙は室温 18 ～ 24 ° C、相対湿度 40 ～ 60 %の場所で保管してください。

⚠ 注意

吸湿している用紙にプリントすると

以下のようなことが起こる場合があります。

- **本製品の排紙部周辺から湯気が出る**
- **操作パネルの裏面や排紙部に水滴がつく**

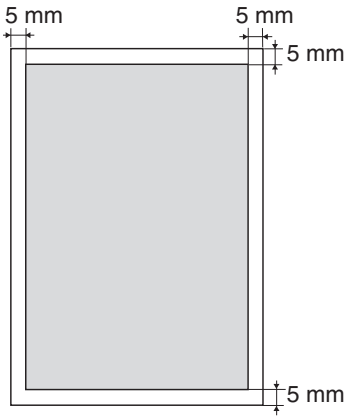
これは、トナーを定着するときの熱によって用紙に含まれる水分が蒸発しているためですので、異常ではありません（特に、室温が低い場合に発生しやすくなります）。

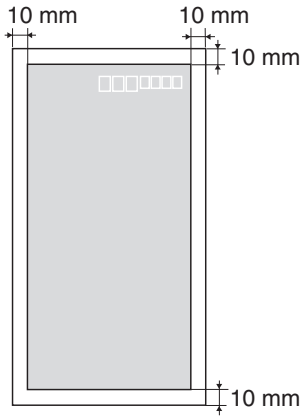
ただし、焦げ臭いにおいがした場合は、直ちに本製品の電源をオフにし、電源プラグを抜いて、お買い求めの販売店またはキヤノンお客様相談センターにご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

プリント範囲

淡色部分は、プリント範囲の目安です。下記の余白は目安であり、実際とは異なる場合があります。

* 封筒の場合はプリント範囲が上下左右 10mm になります。





● 用紙をセットする

給紙カセットや手差しトレイに用紙をセットする方法について説明します。

メモ

別の用紙サイズや種類を使用する場合

工場出荷時では、用紙のサイズと種類は＜ A4 ＞と＜普通紙＞に設定されています。別の用紙サイズや種類を使用する場合は、用紙の設定を変更してください。

「用紙のサイズと種類を設定する」（→ P.3-14）

給紙カセットにセットする

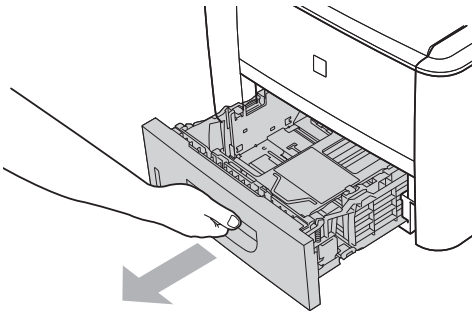
給紙カセットにセットする前に、「用紙をセットするときのご注意」（→ P.3-11）をご覧ください。

メモ

オプションの給紙カセット（カセット 2）への用紙のセット方法

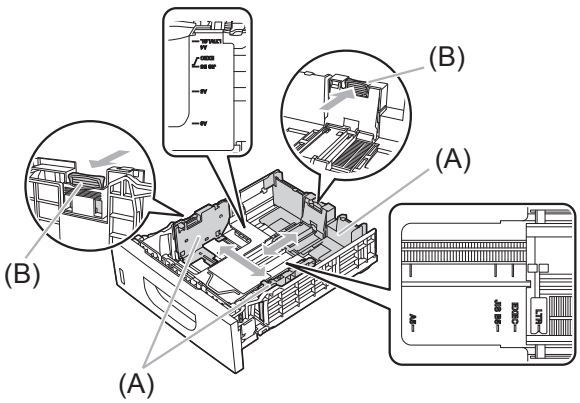
カセット 1 と同じです。

1 給紙カセットを引き出します。



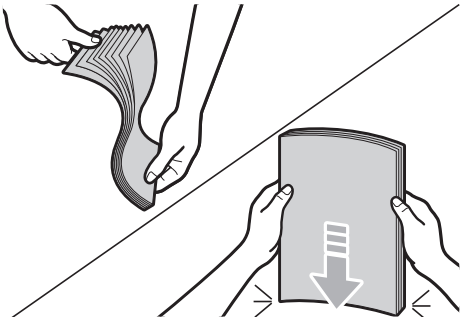
2 セットする用紙サイズの位置に合わせて用紙ガイド（A）を移動します。

ロック解除レバー（B）をつまみながら調整します。



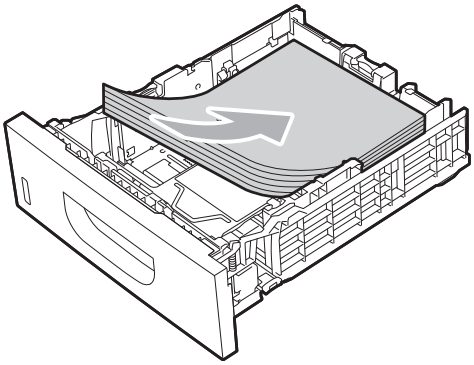
※ セットする用紙サイズを変更する場合は、必ず「用紙のサイズと種類を設定する」(→P.3-14)で用紙の登録を行ってください。

3 原稿をさばいてから、平らな場所で原稿の端を揃えます。



4 プリント面を下にして、用紙を後端の用紙ガイドに合わせてセットします。

用紙は必ず縦置きにセットしてください。

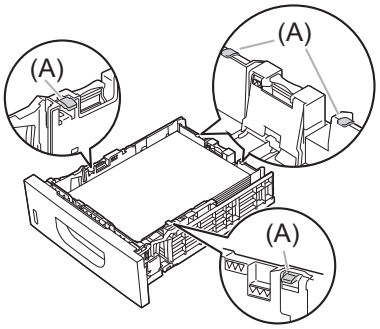


メモ

レターヘッドやロゴ付きの用紙などをセットするとき

「用紙のセット向き」(→P.3-12)を参照して、正しい向きでセットしてください

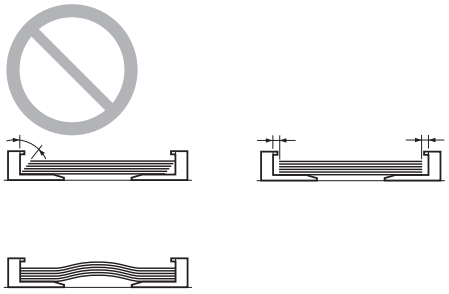
5 用紙を下へ押さえて、用紙ガイドに付いているツメ（A）の下に用紙を入れます。



重要

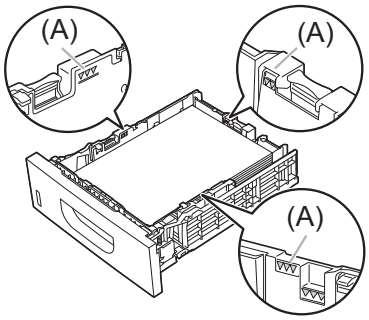
用紙ガイドを用紙の幅に隙間なく合わせる

ゆるすぎたりきつすぎたりすると、用紙が正しく送られなかったり、紙づまりの原因になります。



6 積載制限マークの線（A）を超えていないことを確認します。

※ 絶対に積載制限マークの線を超えない範囲でセットしてください。積載制限マークの線を超す量の用紙をセットすると、給紙不良の原因になります。



7 給紙カセットを本体にセットします。

8 セットした用紙のサイズと種類を設定します。

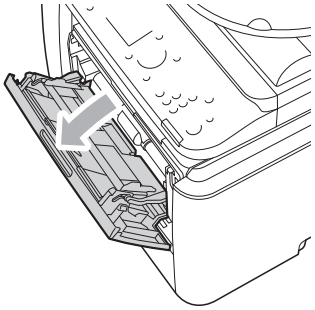
「用紙のサイズと種類を設定する」（→ P.3-14）

手差しトレイにセットする

手差しトレイにセットする前に、「用紙をセットするときのご注意」（→ P.3-11）をご覧ください。

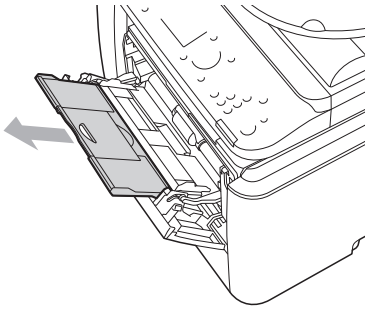
給紙カセットにセットされている用紙と、種類やサイズが異なる用紙にコピーする場合は、手差しトレイを使います。

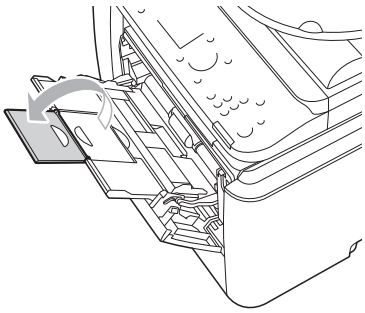
1 手差しトレイを開けて、補助トレイを引き出します。



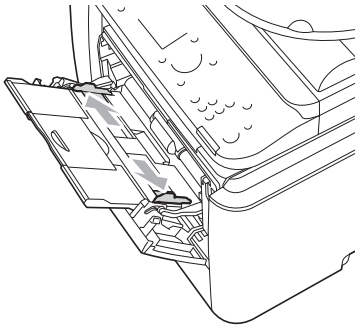
長いサイズの用紙をセットするとき

延長トレイも開けてください。



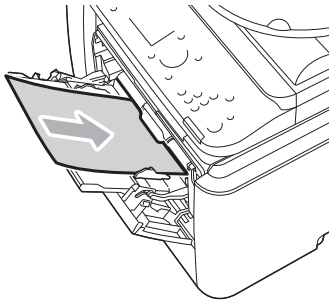


2 用紙ガイドの幅を紙幅より少し広めにセットします。



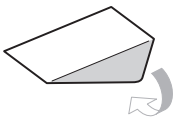
3 プリントしたい面を上にして、奥にあたるまでゆっくりと差し込みます。

「用紙のセット可能枚数」（→ P.3-11）
「用紙のセット向き」（→ P.3-12）

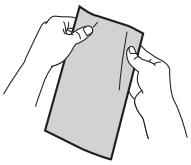


封筒をセットする場合

（1） 封筒のふたを閉じます。

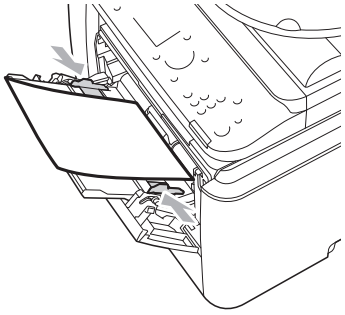


（2） 封筒の四隅の固い部分を図のように取り除き、カールをなおします。



（3） プリントしたい面を上にして手差しトレイにまっすぐに差し込みます。

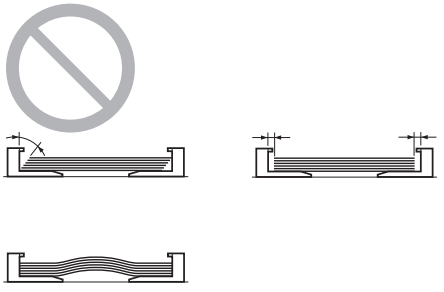
4 用紙ガイドを用紙の幅に隙間なく合わせます。



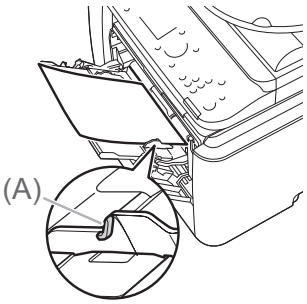
重要

用紙ガイドを用紙の幅に隙間なく合わせる

ゆるすぎたりきつすぎたりすると、用紙が正しく送られなかったり、紙づまりの原因になります。



5 用紙束が積載制限ガイド（A）の下を通っていることを確認します。



6 セットした用紙のサイズと種類を設定します。

「用紙のサイズと種類を設定する」（→ P.3-14）

用紙をセットするときのご注意

注意

用紙の取り扱いに注意する

用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

給紙カセットをセットするときの注意

指を挟まないようにしてください。

重要

用紙ガイドを用紙の幅に隙間なく合わせる

ゆるすぎたりきつすぎたりすると、用紙が正しく送られなかったり、紙づまりの原因になります。

裁断状態が悪い用紙を使用するとき

裁断状態が悪い用紙を使用すると、重なって送られることがあります。そのようなときは、用紙の束をよくさばき、用紙を平らな場所でよく揃えてからセットしてください。

積載制限マークの線を超す量の用紙をセットしない

絶対に積載制限マークの線を超えない範囲でセットしてください。積載制限マークの線を超す量の用紙をセットすると、給紙不良の原因になります。

封筒にプリントするとき

封筒は、表面（貼り合わせのない面）を上にしてセットしてください。裏面にはプリントできません。また、必ずふたを閉じてからセットしてください。

はがきがカールしているとき

逆向きに曲げて反りをなおしてからセットしてください。

メモ

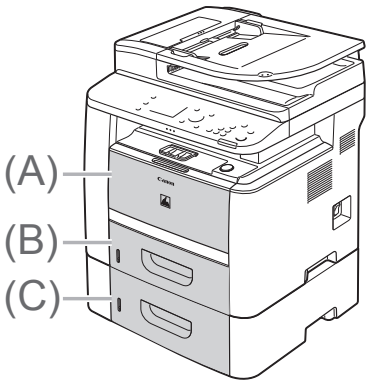
使用できる用紙の詳細

「使用できる用紙について」（→ P.3-5）

給紙カセットの用紙ガイドのサイズ表記

用紙サイズ	用紙ガイド
リーガル	LGL
レター	LTR
エグゼクティブ	EXEC

用紙のセット可能枚数



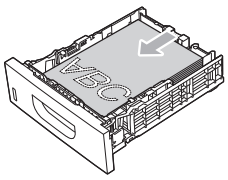
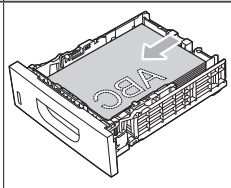
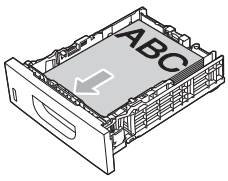
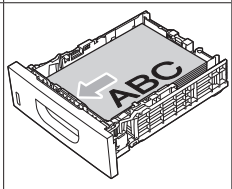
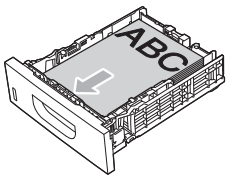
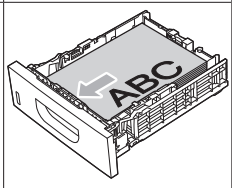
用紙の種類	給紙部		
	(A) 手差しトレイ	(B) カセット 1	(C) カセット 2 （オプション）
普通紙（60 ～ 89 g/m^2）	約 50 枚	500 枚	500 枚
厚紙（90 ～ 128 g/m^2）	約 40 枚	320 枚	320 枚
厚紙（129 ～ 163 g/m^2）	約 25 枚	—	—
再生紙（60 ～ 89 g/m^2）	約 50 枚	500 枚	500 枚
色紙（60 ～ 89 g/m^2）	約 50 枚	500 枚	500 枚
OHP フィルム	約 15 枚	—	—
ラベル用紙	約 20 枚	—	—
はがき	約 25 枚	—	—
往復はがき	約 25 枚	—	—
4 面はがき	約 25 枚	—	—
封筒	約 5 枚	—	—

用紙のセット向き

レターヘッドやロゴ付きの用紙（プレプリント紙）などにプリントする場合

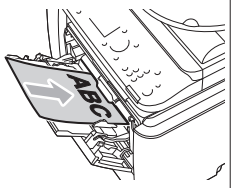
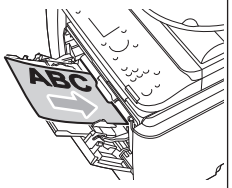
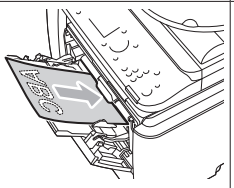
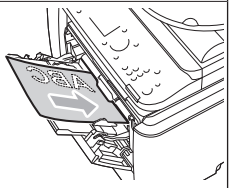
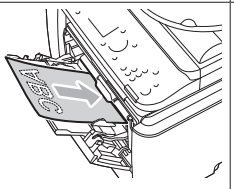
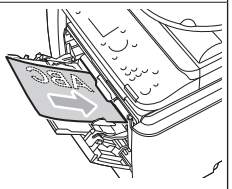
次のように正しい向きに用紙をセットしてください。
（➡：給紙方向）

給紙カセット

	縦レイアウト	横レイアウト
片面プリント *1	 （プリント面を下に）	 （プリント面を下に）
片面プリント *2	 （プリント面を上に）	 （プリント面を上に）
自動両面プリント	 （表面を上に）	 （表面を上に）

*1 <給紙方法切替>が<スピード優先>に設定されている場合（工場出荷時の設定）
*2 <給紙方法切替>が<プリント面優先>に設定されている場合
「プリント面を選択する」（→ P.3-17）

手差しトレイ

	縦レイアウト	横レイアウト
片面プリント *1	 （プリント面を上に）	 （プリント面を上に）
片面プリント *2	 （プリント面を下に）	 （プリント面を下に）
自動両面プリント	 （表面を下に）	 （表面を下に）

*1 <給紙方法切替>が<スピード優先>に設定されている場合（工場出荷時の設定）
*2 <給紙方法切替>が<プリント面優先>に設定されている場合
「プリント面を選択する」（→ P.3-17）

はがきにコピーする場合

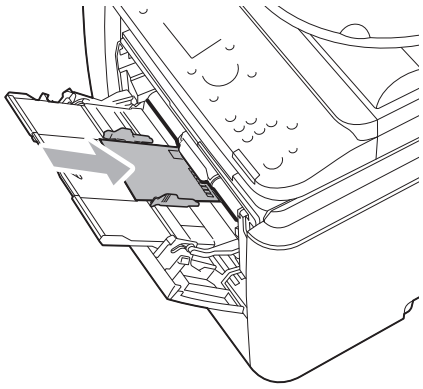
プリント面を上にして、次のように手差しトレイにセットします。

（➡：給紙方向）

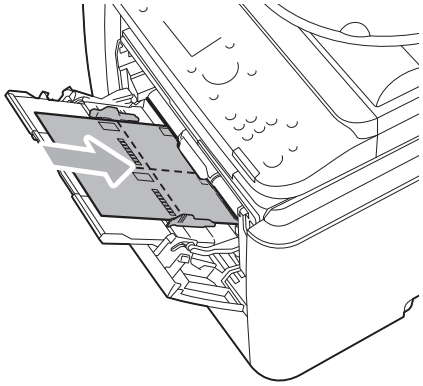
はがき／4 面はがき

はがきの上端が本製品を前面から見て奥側になるようにセットします。

はがき

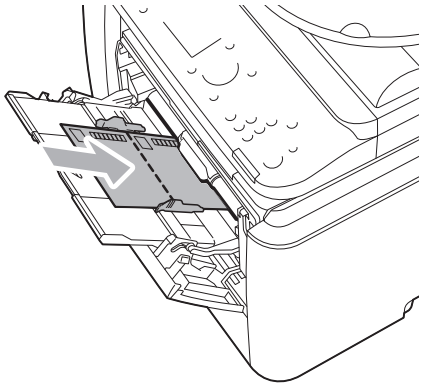


4 面はがき



往復はがき

はがきの上端が本製品を前面から見て左側になるようにセットします。



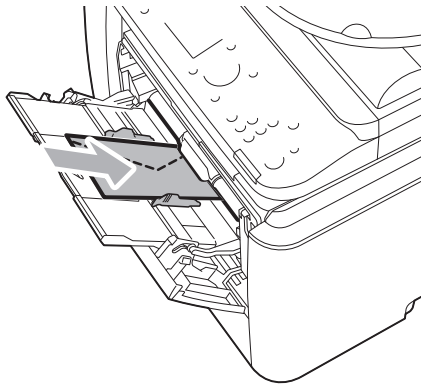
封筒にコピーする場合

表面（貼り合わせのない面）を上にして、次のように手差しトレイにセットします。

（➡：給紙方向）

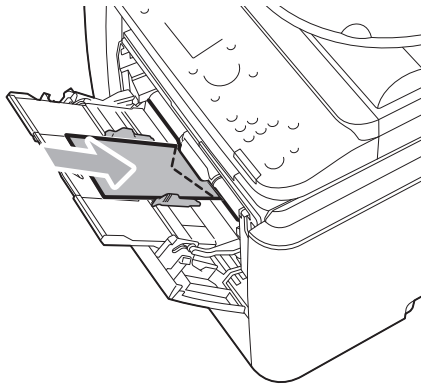
洋形長 3 号

ふたが本製品を前面から見て左側になるようにセットします。



長形 3 号

ふたが本製品を前面から見て奥側になるようにセットします。



用紙のサイズと種類を設定する

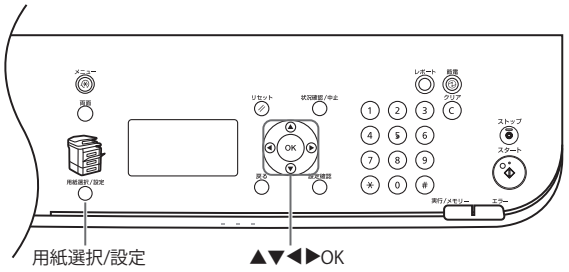
給紙カセットまたは手差しトレイに用紙をセットした場合、セットした用紙のサイズと種類に合わせて用紙設定メニューの登録内容を変更してください。

重要

セットした用紙サイズと設定が一致していないと

エラーメッセージが表示されたり、正しくプリントされません。

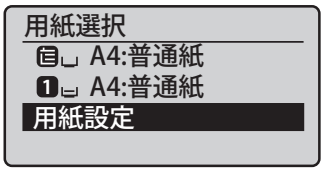
この操作で使用するキー



給紙カセットの用紙設定をする

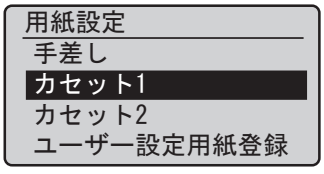
1 ［◯］（用紙選択 / 設定）を押します。

2 ［▲］［▼］で＜用紙設定＞を選択して、［OK］を押します。



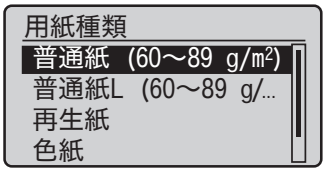
3 ［▲］［▼］で＜カセット 1 ＞または＜カセット 2 ＞を選択して、［OK］を押します。

＜カセット 2 ＞はオプションの給紙カセット（カセット 2）を装着している場合のみ表示されます。



4 ［▲］［▼］で用紙サイズを選択して、［OK］を押します。

5 ［▲］［▼］で用紙種類を選択して、［OK］を押します。



6 ［◯］（用紙選択 / 設定）を押して、＜用紙選択＞画面を閉じます。

手差しトレイの用紙設定をする

メモ

いつも決まった用紙をセットするときは

手差しトレイにいつも決まった用紙をセットするときは、＜デフォルト設定登録＞でデフォルト用紙を登録します。

「手差しトレイのデフォルト用紙設定を登録する」(→P.3-15)

デフォルト用紙を登録すると

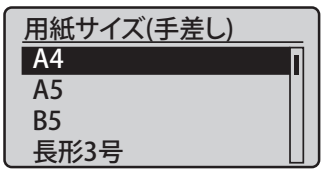
手差しトレイに用紙をセットしたとき、用紙設定画面が表示されなくなります。

1 手差しトレイに用紙をセットします。

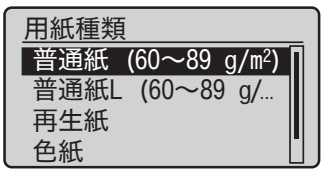
用紙設定画面が表示されます。

「手差しトレイにセットする」(→ P.3-9)

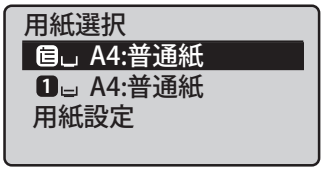
2 ［▲］［▼］で用紙サイズを選択して、［OK］を押します。



3 ［▲］［▼］で用紙種類を選択して、［OK］を押します。



4 設定を確認して、［OK］を押します。



手差しトレイのデフォルト用紙設定を登録する

手差しトレイにいつも決まった用紙をセットするときは、以下の手順でデフォルト用紙を登録します。

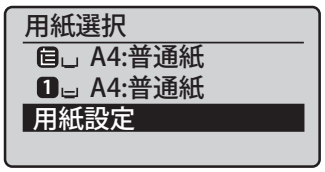
メモ

デフォルト用紙を登録すると

手差しトレイに用紙をセットしたとき、用紙設定画面が表示されなくなります。

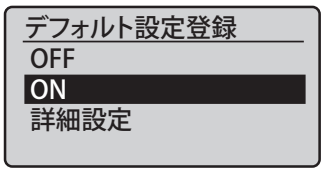
1 [◯]（用紙選択 / 設定）を押します。

2 [▲][▼]で＜用紙設定＞を選択して、[OK]を押します。

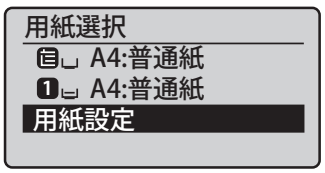


3 [▲][▼]で＜手差し＞を選択して、[OK]を押します。

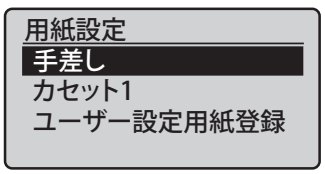
4 [▲][▼]で＜ ON ＞を選択して、[OK]を押します。



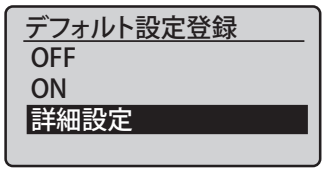
5 [▲][▼]で＜用紙設定＞を選択して、[OK]を押します。



6 [▲][▼]で＜手差し＞を選択して、[OK]を押します。



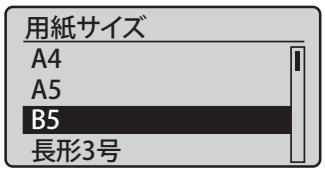
7 [▲][▼]で＜詳細設定＞を選択して、[OK]を押します。



8 [▲][▼]で用紙サイズを選択して、[OK]を押します。

※ ユーザー設定用紙を登録する場合は、「ユーザー設定用紙を設定する」を参照してください。

※ 登録したユーザー設定用紙は、一番上に表示されるので、[▲]で選択します。

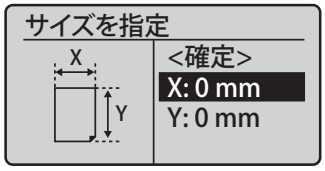


＜ユーザー設定（カスタム）＞を選択した場合

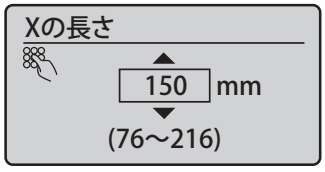
ユーザー設定用紙の＜ X ＞方向と＜ Y ＞方向のサイズを設定します。

※ 用紙サイズは、縦長（＜ Y ＞≧＜ X ＞）かつ、定義可能な範囲内で指定してください。

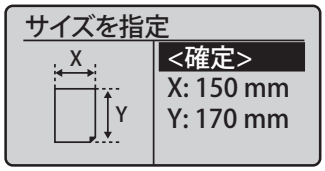
(1) [▲][▼]で方向を選択して、[OK]を押します。



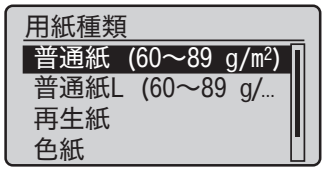
(2) [▲][▼]でサイズを設定して、[OK]を押します。テンキーを使って数値を入力することもできます。



(3) [▲][▼]で＜確定＞を選択して、[OK]を押します。



9 [▲][▼]で用紙種類を選択して、[OK]を押します。

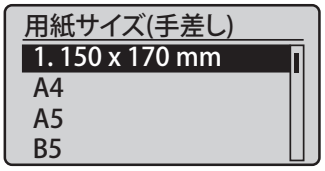


10 [◯]（用紙選択 / 設定）を押して、＜用紙選択＞画面を閉じます。

ユーザー設定用紙を設定する

よく使うユーザー設定用紙のサイズと種類を登録します。登録した用紙は、用紙サイズ設定画面の一番上に表示されます。

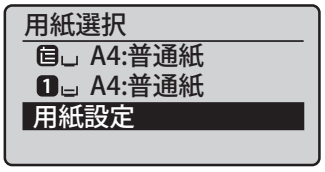
- ＜デフォルト用紙設定＞が＜ OFF ＞のときに、手差しトレイに用紙をセットしたときに表示される用紙サイズ設定画面



- ＜デフォルト用紙設定＞が＜ ON ＞のときに表示される用紙サイズ設定画面

1 ［◯］（用紙選択 / 設定）を押します。

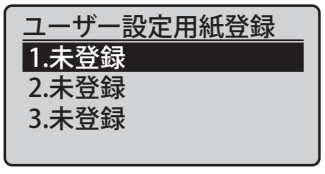
2 ［▲］［▼］で＜用紙設定＞を選択して、［OK］を押します。



3 ［▲］［▼］で＜ユーザー設定用紙登録＞を選択して、［OK］を押します

4 ［▲］［▼］で＜未登録＞を選択して、［OK］を押します。

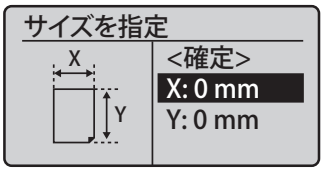
すでに登録されているユーザー設定用紙を選択すると、編集と削除ができます。



5 ＜ X ＞方向と＜ Y ＞方向のサイズを設定します。

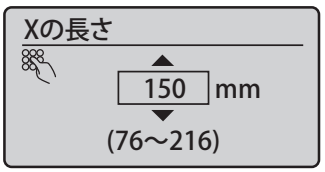
※ 用紙サイズは、縦長（＜ Y ＞≧＜ X ＞）かつ、定義可能な範囲内で指定してください。

(1) ［▲］［▼］で方向を選択して、［OK］を押します。

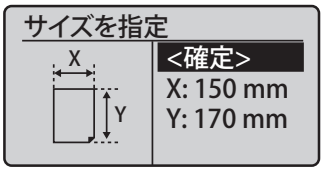


(2) ［▲］［▼］でサイズを設定して、［OK］を押します。

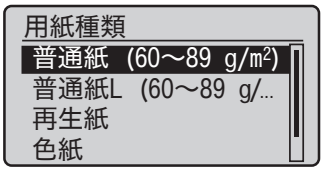
テンキーを使って数値を入力することもできます。



(3) ［▲］［▼］で＜確定＞を選択して、［OK］を押します。



6 ［▲］［▼］で用紙の種類を選択して、［OK］を押します。



7 ［◯］（用紙選択 / 設定）を押して、＜用紙選択＞画面を閉じます。

プリント面を選択する

両面コピー時と片面コピー時でプリント面を揃えるかどうかを設定します。
本項目の設定によって、プリントされる面が変わります。プレプリント紙（あらかじめプリントしている紙）を使用するときは、「用紙のセット向き」(→P.3-12)をよくお読みになり、正しい向きに用紙をセットしてください。

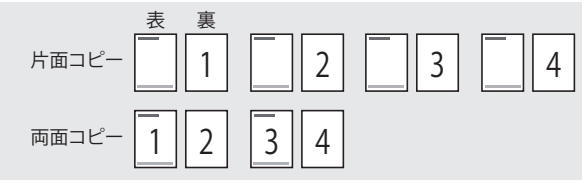
重要

用紙サイズと用紙種類について

両面コピーできない用紙サイズおよび用紙種類が選択されている場合、本項目の設定は無効になります。

本項目を＜スピード優先＞に設定した場合（工場出荷時の設定）

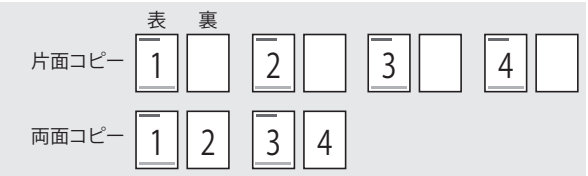
両面コピー時と片面コピー時では、プリントされる面が変わるので、プリント面が揃いません。
※プレプリント紙を使用するときは、両面コピー時と片面コピー時で、セットした用紙の表裏を入れ替える必要があります。



次のようなときに設定します。
- プレプリント紙を使用しないとき
- プレプリント紙に片面コピーのみを行うとき

本項目を＜プリント面優先＞に設定した場合

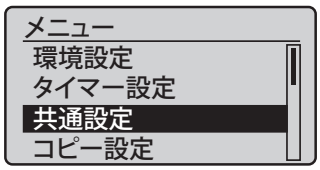
両面コピー時と片面コピー時のプリント面が揃います。
※プレプリント紙を使用するときでも、両面コピー時と片面コピー時で、セットした用紙の表裏を入れ替える必要はありません。



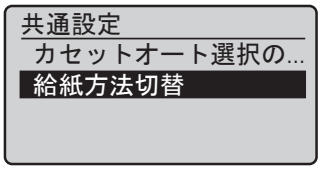
次のようなときに設定します。
- プレプリント紙に両面コピーと片面コピーを行うとき

1 ［㊞］（メニュー）を押します。

2 ［▲］［▼］で＜共通設定＞を選択して、［OK］を押します。



3 ［▲］［▼］で＜給紙方法切替＞を選択して、［OK］を押します。

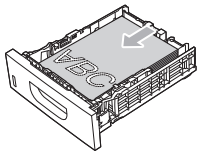
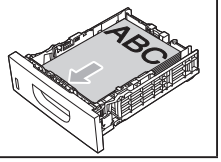


4 ［▲］［▼］で設定する給紙段を選択して、［OK］を押します。

5 ［▲］［▼］で＜スピード優先＞または＜プリント面優先＞を選択して、［OK］を押します。

＜スピード優先＞

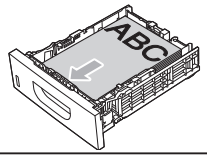
＜スピード優先＞に設定した場合、以下のように用紙をセットしてください。
（➡：給紙方向）
※手差しトレイを使用する場合や横レイアウトのページをプリントする場合のセット方法は、「用紙のセット向き」(→P.3-12)を参照してください。

片面コピー時	両面コピー時
プリント面を下にしてセットします。	表面（1ページ目）を上にしてセットします。
	

＜プリント面優先＞

＜プリント面優先＞に設定した場合、以下のように用紙をセットしてください。
（➡：給紙方向）
※手差しトレイを使用する場合や横レイアウトのページをプリントする場合のセット方法は、「用紙のセット向き」(→P.3-12)を参照してください。

用紙のセット方法は、片面コピー時と両面コピー時で同じです。
- 片面コピー時は、プリント面を上にしてセットします。
- 両面コピー時は、表面（1ページ目）を上にしてセットします。



6 ［㊞］（メニュー）を押してメニュー画面を閉じます。

Chapter 4

コピーする

コピーの使いかたについて説明しています。

基本的なコピー方法 4-2
- ジョブを確認／中止する 4-3
  - ［⊗］（ストップ）で中止する 4-3
  - ［◯］（状況確認 / 中止）で確認／中止する 4-3
- コピージョブの履歴を確認する 4-3
- プリントジョブの履歴を確認する 4-4

濃度を調整してコピーする 4-5
- 濃度調整 4-5
- 背景調整 4-5

原稿の種類を選んでコピーする 4-6

両面にコピーする 4-7
- 片面の原稿から両面にコピーする 4-7
- 両面の原稿から両面にコピーする 4-8
- 両面の原稿から片面にコピーする 4-9

拡大／縮小コピーする 4-10

複数枚の原稿を 1 枚の用紙にコピーする（ページ集約） 4-11
- 2 in 1/4 in 1 4-11
- ID カードコピー 4-12

ページ順にならべてコピーする（ソート） 4-13

原稿の影や枠線を消してコピーする（枠消し） 4-14

画像のエッジをくっきりさせる（シャープネス） 4-15

コピー設定の組合せを登録して利用する（モードメモリー） 4-16
- 設定の組合せについて 4-16
- モードメモリーを登録 / 編集する 4-16
- モードメモリーを削除する 4-17
- モードメモリーを呼び出してコピーする 4-17

コピーのデフォルト値を変更する 4-18

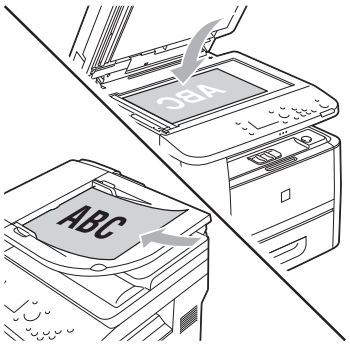
コピーの設定を確認する 4-19

基本的なコピー方法

コピーの基本的な操作の流れを説明します。

1 原稿をセットします。

「原稿をセットする」（→ P.3-3）
「使用できる用紙について」（→ P.3-5）



※　フィーダーにセットできる原稿は 50 枚までです。

2 必要に応じて、コピーの設定を行います。

1 濃度（→ P.4-5）　2 画質（→ P.4-6）
3 両面（→ P.4-7）　4 倍率（→ P.4-10）
5 ページ集約（→ P.4-11）　6 ソート（→ P.4-13）
7 枠消し（→ P.4-14）　8 シャープネス（→ P.4-15）

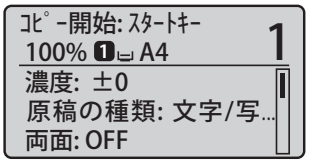
メモ

コピーの設定について

- 複数の設定を組合せて利用することができます。ただし、設定の組合せには制限があります。
  「設定の組合せについて」（→ P.4-16）
- ここで行う設定は、現在行っているコピー操作のみに有効です。すべてのコピー操作に有効な設定をするには「コピーのデフォルト値を変更する」（→P.4-18）をご覧ください。
- よく使う設定は、モードメモリーに登録しておくと便利です。「コピー設定の組合せを登録して利用する（モードメモリー）」（→ P.4-16）をご覧ください。

3 テンキーを使って、必要なコピー部数（1 ～ 99）を入力します。

コピー部数を修正するときは、[ⓒ]（クリア）を押します。



4 [⊙]（スタート）を押します。

コピーが開始されます。

ディスプレーに＜用紙と設定サイズが不一致＞と表示されたとき

「＜用紙と設定サイズが不一致＞と表示された場合」（→ P.6-14）

ディスプレーに＜メモリーがいっぱいのため読み込みを中止します プリントしますか？＞と表示されたとき

読み込まれたページまでプリントするか、ジョブをキャンセルするか選択してください。

重要

用紙いっぱいに画像がある原稿をコピーした場合

コピー画像の周囲が欠けることがあります。欠ける幅の大きさは仕様の画像欠け幅を参照してください。

「読み取り範囲」（→ P.3-2）

ジョブを確認／中止する

ジョブの詳細情報を確認することができます。また、コピーを途中で中止することもできます。

メモ

操作パネルの実行／メモリーランプ

点灯／点滅している場合	コピーを実行しています。
消灯している場合	コピー中のジョブはありません。

[◇]（ストップ）で中止する

1 [◇]（ストップ）を押します。

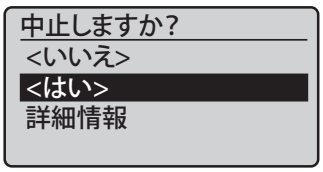
※ ジョブが 1 つだけの場合は、[◇]（ストップ）を 2 回連続して押すとジョブを中止することができます。

2 複数のジョブが実行中の場合、[▲][▼]で中止するジョブを選択して、[OK] を押します。

3 <中止しますか？>と表示されたら、[▲][▼]で<はい>を選択して、[OK] を押します。

[◇]（ストップ）を押しても中止できます。

コピーが中止されます。

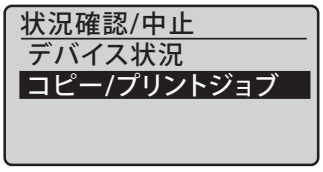


※ [▲][▼]で<詳細情報>を選択して、[OK] を押すと、ジョブを確認して中止することができます。

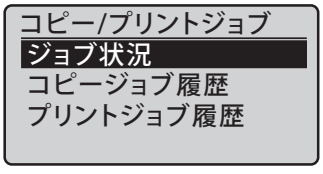
[◯]（状況確認 / 中止）で確認／中止する

1 [◯]（状況確認 / 中止）を押します。

2 [▲][▼]で<コピー / プリントジョブ>を選択して、[OK] を押します。



3 [▲][▼]で<ジョブ状況>を選択して、[OK] を押します。



4 [▲][▼]でジョブを選択して、[OK] を押します。

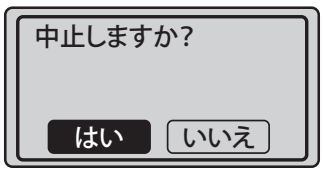
詳細情報が表示されます。

中止する場合

(1) [▲][▼]で<中止>を選択して、[OK] を押します。

(2) [◀]で<はい>を選択して、[OK] を押します。

コピーが中止されます。



(3) [◯]（状況確認 / 中止）を押して画面を閉じます。

確認のみの場合

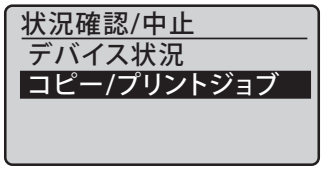
[◯]（状況確認 / 中止）を押して画面を閉じます。

コピージョブの履歴を確認する

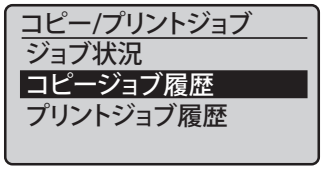
すでにコピーが終了したジョブを確認することができます。

1 [◯]（状況確認 / 中止）を押します。

2 [▲][▼]で<コピー / プリントジョブ>を選択して、[OK] を押します。



3 [▲][▼]で<コピージョブ履歴>を選択して、[OK] を押します。



4 [▲] [▼] で確認したいジョブを選択して、[OK] を押します。

5 [▲] [▼] で確認したい項目を項目して、[OK] を押します。

6 内容を確認します。

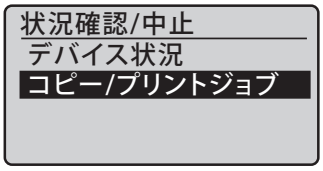
7 [◯] (状況確認 / 中止) を押して状況確認 / 中止画面を閉じます。

プリントジョブの履歴を確認する

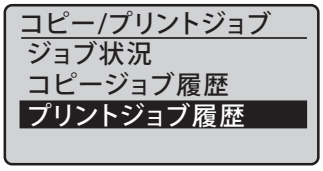
すでにプリントが終了したジョブを確認することができます。

1 [◯] (状況確認 / 中止) を押します。

2 [▲] [▼] で<コピー / プリントジョブ>を選択して、[OK] を押します。



3 [▲] [▼] で<プリントジョブ履歴>を選択して、[OK] を押します。



4 [▲] [▼] で確認したいジョブを選択して、[OK] を押します。

5 [▲] [▼] で確認したい項目を選択して、[OK] を押します。

6 内容を確認します。

7 [◯] (状況確認 / 中止) を押して状況確認 / 中止画面を閉じます。

濃度を調整してコピーする

原稿に最適な濃度や背景に調整することができます。
濃度調整には次の２つがあります。

- 「濃度調整」
- 「背景調整」

メモ

「濃度調整」を行ってもお好みの濃度にならない場合は、プリンター濃度の調整を行ってください。

「プリント濃度を調整する」（→ P.5-10）

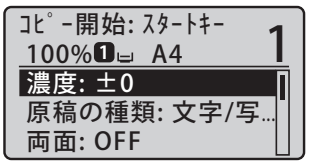
濃度調整

出力時の濃度を調整することができます。

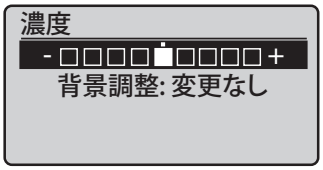
1 原稿をセットします。

「原稿をセットする」（→ P.3-3）
「使用できる原稿について」（→ P.3-2）

2 ［▲］［▼］で＜濃度＞を選択して、［OK］を押します。



3 ［▲］［▼］で濃度を調整して、［OK］を押します。



［▲］	コピー濃度を薄くします。
［▼］	コピー濃度を濃くします。

4 ［⊙］（スタート）を押します。

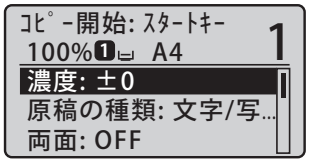
背景調整

原稿の背景の濃度を調整することができます。

1 原稿をセットします。

「原稿をセットする」（→ P.3-3）
「使用できる原稿について」（→ P.3-2）

2 ［▲］［▼］で＜濃度＞を選択して、［OK］を押します。



3 ［▲］［▼］で＜背景調整＞を選択して、［OK］を押します。

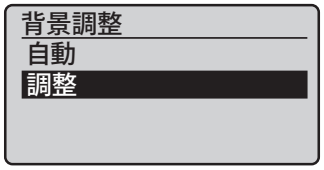
4 背景色の除去の度合いを調整します。

調整を自動で行う場合

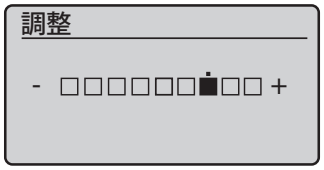
(1) ［▲］［▼］で＜自動＞を選択して、［OK］を押します。

調整を手動で行う場合

(1) ［▲］［▼］で＜調整＞を選択して、［OK］を押します。



(2) ［◀］［▶］で背景色を調整して、［OK］を押します。



［◀］	背景の濃度を薄くします。
［▶］	背景の濃度を濃くします。

5 ［⊙］（スタート）を押します。

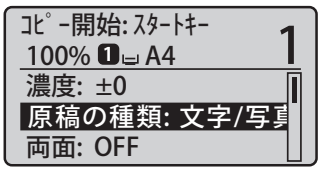
● 原稿の種類を選んでコピーする

原稿の種類に応じて、コピーの画質を調整できます。適切な種類を選択することで、原稿の再現性が向上します。

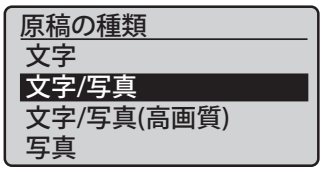
1 原稿をセットします。

「原稿をセットする」（→ P.3-3）
「使用できる原稿について」（→ P.3-2）

2 ［▲］［▼］で＜原稿の種類＞を選択して、［OK］を押します。



3 ［▲］［▼］で原稿に適した設定を選択して、［OK］を押します。

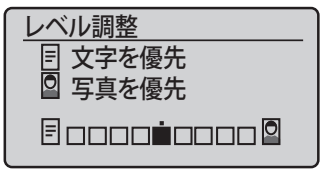


＜文字＞	文字のみの原稿に適しています。
＜文字 / 写真＞	細かい文字と写真が混在している原稿に適しています。
＜文字 / 写真 (高画質) ＞	細かい文字と写真が混在している原稿に適しています。文字と写真のどちらを優先するかを設定できます。
＜写真＞	雑誌にプリントされている写真などの原稿に適しています。

＜文字 / 写真 (高画質) ＞を選択した場合

続いて以下の操作を行います

(1) ［▲］［▼］で優先度を調整して、［OK］を押します。



［◀］	文字の見やすさを優先します。
［▶］	写真などの図版の見やすさを優先します。

4 ［⊛］（スタート）を押します。

両面にコピーする

「片面の原稿から両面にコピーする」（→ P.4-7）
「両面の原稿から両面にコピーする」（→ P.4-8）
「両面の原稿から片面にコピーする」（→ P.4-9）

片面の原稿から両面にコピーする

片面の原稿を用紙の両面にコピーすることができます。

重要

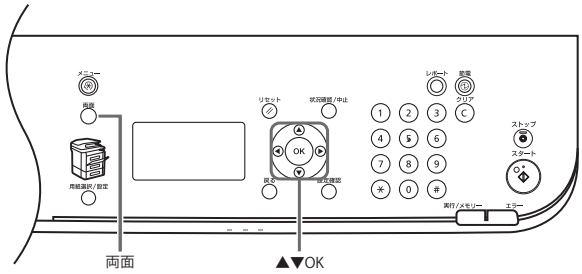
両面コピーするときの注意

- 両面コピー中は完全に排紙されるまで用紙に触れないでください。表面をコピーしたあと一度途中まで排紙され、裏面をコピーするために再度給紙されます。
- 両面コピーするときは必ずサブ排紙トレイを閉めてから行ってください。

一度コピーした用紙の裏面にコピーする（手動で両面にコピーする）

本製品では、両面コピーできない用紙でも、一度コピーした用紙の裏面 * に手差しトレイを使用して、手動で両面にコピーすることが可能です。
一度コピーした用紙の裏面にコピーするときは、端を伸ばしてカールをなおしてから、1 枚ずつ手差しトレイにセットしてください。
* 本製品でコピーした用紙のみです。また、一度コピーした同一面に再度コピーすることはできません。

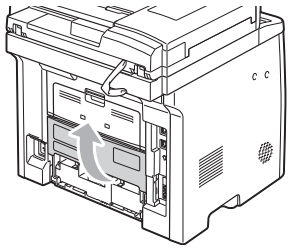
この操作で使用するキー



1 両面コピーする用紙サイズに合わせて、用紙サイズ切り替えレバーを正しくセットします。

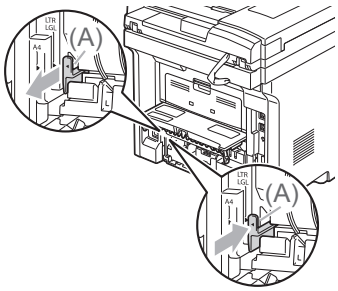
正しくセットされていないと、用紙が正しく送られなかったり、紙づまりの原因になることがあります。

1. 後ろ下カバーを開けます。



2. 青色の用紙サイズ切り替えレバー（A）を正しくセットします。

- A4：　　手前に引く
- レター、リーガル：奥に押し込む



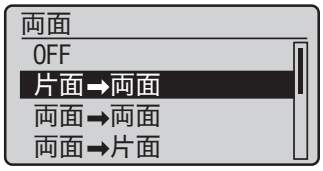
3. 後ろ下カバーを閉めます。

2 原稿をセットします。

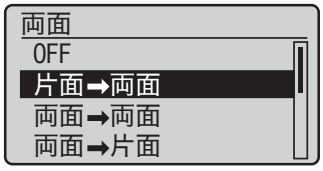
「原稿をセットする」（→ P.3-3）
「使用できる原稿について」（→ P.3-2）

3 [◯] (両面) を押します。

待受画面で＜両面＞を選択しても、設定画面を表示できます。

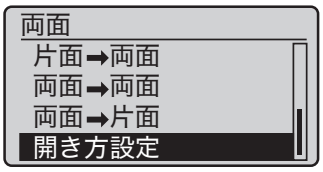


4 [▲] [▼] で＜片面→両面＞を選択して、[OK] を押します。

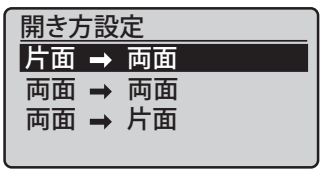


コピーの開き方を設定したい場合

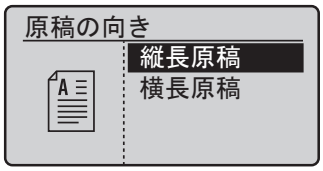
(1) [▲] [▼] で＜開き方設定＞を選択して、[OK] を押します。



(2) [▲] [▼] で＜片面→両面＞を選択して、[OK] を押します。



(3) [▲] [▼] で原稿の向きを選択して、[OK] を押します。



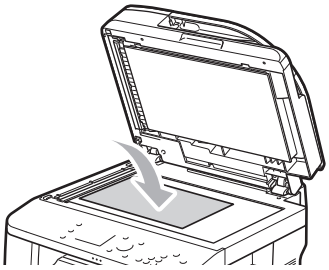
(4) [▲] [▼] で仕上がりの開き方を選択して、[OK] を押します。

5 [◇] (スタート) を押します。

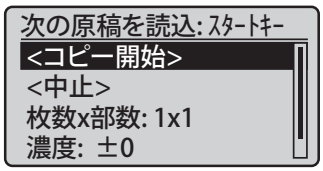
原稿台ガラスに原稿をセットした場合

(1) 次の原稿をセットして [◇] (スタート) を押します。

* すべての原稿の読み込みが完了するまで、この操作を繰り返します。



(2) [▲] [▼] で<コピー開始>を選択して、[OK] を押します。



両面の原稿から両面にコピーする

両面の原稿を用紙の両面にコピーすることができます。

重要

両面コピーするときの注意

- 両面コピー中は完全に排紙されるまで用紙に触れないでください。表面をコピーしたあと一度途中まで排紙され、裏面をコピーするために再度給紙されます。
- 両面コピーするときは必ずサブ排紙トレイを閉めてから行ってください。

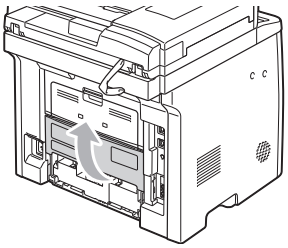
一度コピーした用紙の裏面にコピーする (手動で両面にコピーする)

本製品では、両面コピーできない用紙でも、一度コピーした用紙の裏面 * に手差しトレイを使用して、手動で両面にコピーすることが可能です。
一度コピーした用紙の裏面にコピーするときは、端を伸ばしてカールをなおしてから、1 枚ずつ手差しトレイにセットしてください。
* 本製品でコピーした用紙のみです。また、一度コピーした同一面に再度コピーすることはできません。

1 両面コピーする用紙サイズに合わせて、用紙サイズ切り替えレバーを正しくセットします。

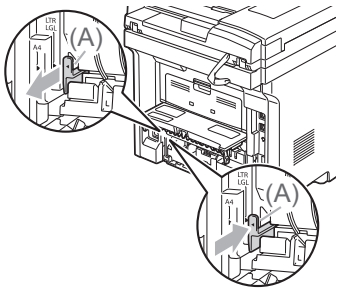
※ 正しくセットされていないと、用紙が正しく送られなかったり、紙づまりの原因になることがあります。

1. 後ろ下カバーを開けます。



2. 青色の用紙サイズ切り替えレバー (A) を正しくセットします。

- A4: 手前に引く
- レター、リーガル: 奥に押し込む



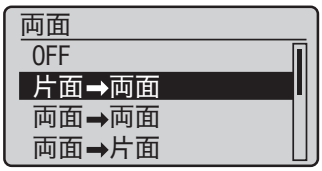
3. 後ろ下カバーを閉めます。

2 原稿をフィーダーにセットします。

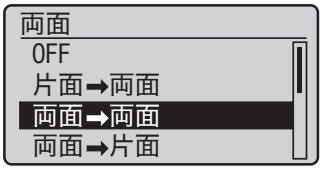
「原稿をセットする」(→ P.3-3)
「使用できる原稿について」(→ P.3-2)

3 [◯] (両面) を押します。

待受画面で<両面>を選択しても、設定画面を表示できます。

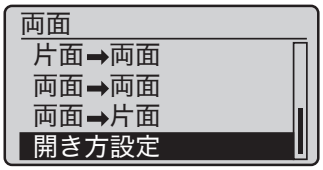


4 [▲] [▼] で<両面→両面>を選択して、[OK] を押します。

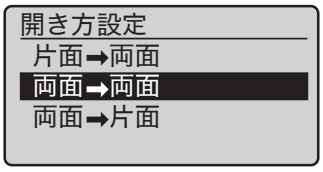


原稿やコピーの開き方を設定したい場合

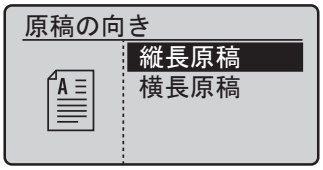
(1) [▲] [▼] で<開き方設定>を選択して、[OK] を押します。



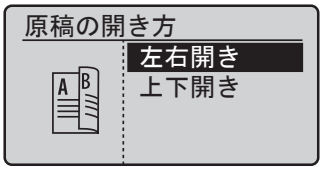
(2) [▲] [▼] で<両面→両面>を選択して、[OK] を押します。



(3) [▲] [▼] で原稿の向きを選択して、[OK] を押します。



(4) [▲] [▼] で原稿の開き方を選択して、[OK] を押します。



(5) [▲] [▼] で仕上がりの開き方を選択して、[OK] を押します。

5 [◇] (スタート) を押します。

両面の原稿から片面にコピーする

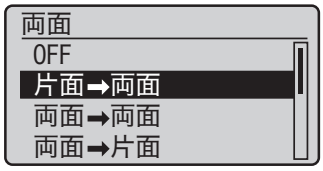
両面の原稿を用紙の片面にコピーすることができます

1 原稿をフィーダーにセットします。

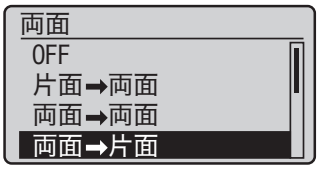
「原稿をセットする」(→ P.3-3)
「使用できる原稿について」(→ P.3-2)

2 [◯] (両面) を押します。

待受画面で<両面>を選択しても、設定画面を表示できます。

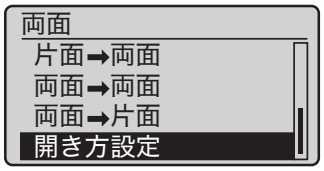


3 [▲] [▼] で<両面→片面>を選択して、[OK] を押します。

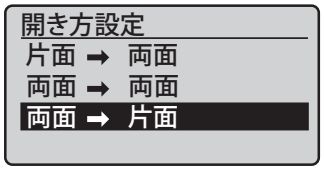


両面原稿の開き方を設定したい場合

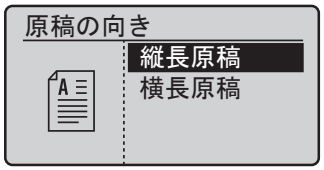
(1) [▲] [▼] で<開き方設定>を選択して、[OK] を押します。



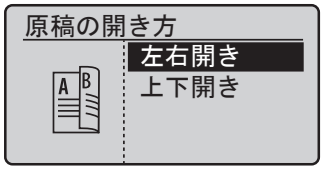
(2) [▲] [▼] で<両面→片面>を選択して、[OK] を押します。



(3) [▲] [▼] で原稿の向きを選択して、[OK] を押します。



(4) [▲] [▼] で原稿の開き方を選択して、[OK] を押します。



4 [◇] (スタート) を押します。

● 拡大／縮小コピーする

お好みのサイズに拡大、または縮小してコピーすることができます。
A5 → A4 など、定形サイズの原稿から定形サイズの用紙に拡大／縮小コピーしたり（定形変倍）、1 %きざみに倍率（25 ～ 400 %）を設定することもできます。

1 原稿をセットします。

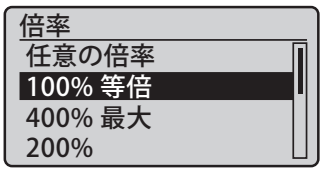
「原稿をセットする」（→ P.3-3）
「使用できる原稿について」（→ P.3-2）

2 ［▲］［▼］で＜倍率＞を選択して、［OK］を押します。

3 倍率を設定します。

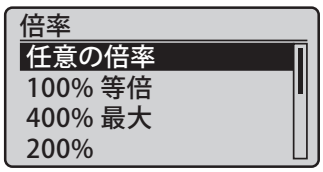
倍率を選択する場合

［▲］［▼］でコピー倍率を選択して、［OK］を押します。



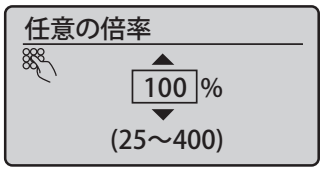
倍率を 1 %きざみで設定する場合

（1）［▲］［▼］で＜任意の倍率＞を選択して、［OK］を押します。



（2）［▲］［▼］で倍率を設定して、［OK］を押します。

テンキーを使って倍率を入力することもできます。



4 出力するサイズの用紙をセットして、用紙サイズを登録します。

「用紙をセットする」（→ P.3-8）
「用紙のサイズと種類を設定する」（→ P.3-14）

5 ［⊙］（スタート）を押します。

● 複数枚の原稿を 1 枚の用紙にコピーする（ページ集約）

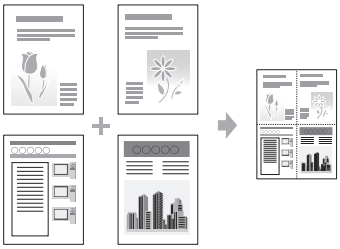
「2 in 1/4 in 1」（→ P.4-11）
「ID カードコピー」（→ P.4-12）

2 in 1/4 in 1

複数枚の原稿を縮小し、1 枚の用紙におさめてコピーできます。

＜ 2 in 1 ＞
2 枚の原稿を 1 枚の用紙におさめます。

＜ 4 in 1 ＞
4 枚の原稿を 1 枚の用紙におさめます。



※＜レイアウト設定＞を選択するとレイアウトを変更することができます。

1 原稿をセットします。

「原稿をセットする」（→ P.3-3）
「使用できる原稿について」（→ P.3-2）

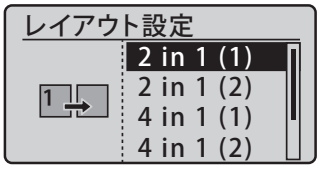
2 ［▲］［▼］で＜ページ集約＞を選択して、［OK］を押します。

3 ［▲］［▼］で＜ 2 in 1 ＞または＜ 4 in 1 ＞を選択して、［OK］を押します。

レイアウトを設定したい場合

(1) ［▲］［▼］で＜レイアウト設定＞を選択して、［OK］を押します。

(2) ［▲］［▼］でレイアウトを選択して、［OK］を押します。

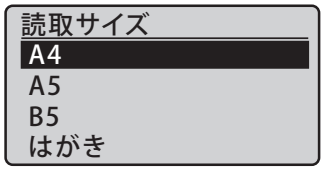


メモ

余白について

ページ集約でコピーすると、縮小された原稿の周囲に余白ができることがあります。

4 ［▲］［▼］で原稿のサイズを選択して、［OK］を押します。



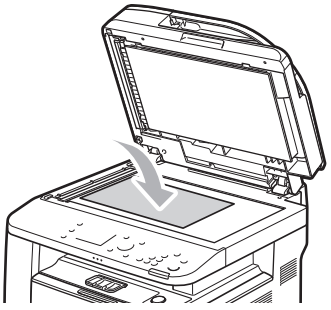
5 ［▲］［▼］で出力サイズを選択して、［OK］を押します。

6 ［◇］（スタート）を押します。

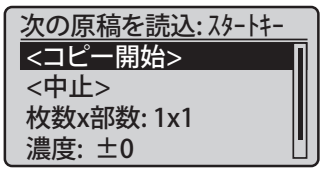
原稿台ガラスに原稿をセットした場合

(1) 次の原稿をセットして［◇］（スタート）を押します。

※ すべての原稿の読み込みが完了するまで、この操作を繰り返します。



(2) [▲] [▼] で<コピー開始>を選択して、[OK] を押します。



ID カードコピー

カードの両面を用紙の片面にコピーすることができます。

重要

組み合わせることのできない機能

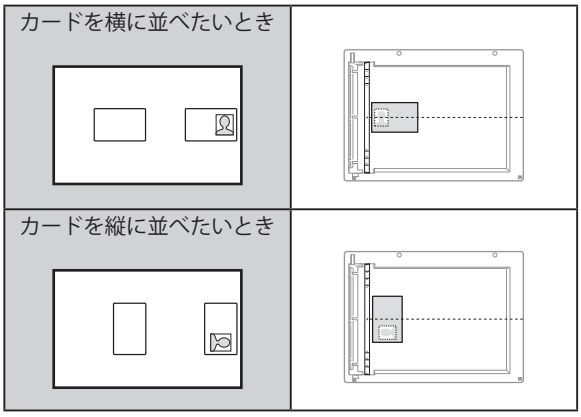
次の機能と組み合わせて使用することはできません。

- 拡大 / 縮小
- 両面
- ページ集約（2 in 1、4 in 1）
- 枠消し

1 **カードを原稿台ガラスに置いて、フィーダーを閉じます。**

カードは原稿台ガラスの左端に付けずに、5 mm 程度の隙間を空けて置いてください。

また、カードの中心と矢印を合わせてください。



2 **[▲] [▼] で<ページ集約>を選択して、[OK] を押します。**

3 **[▲] [▼] で< ID カードコピー>を選択して、[OK] を押します。**

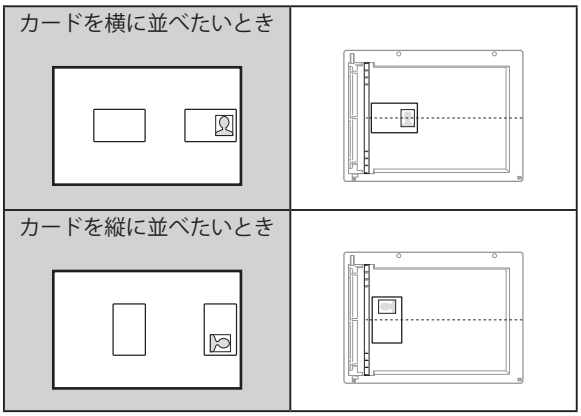
4 **[◈] (スタート) を押します。**

原稿の読み取りが完全に終わってから、次の手順に進んでください。

5 **カードを裏返して置きます。**

カードは原稿台ガラスの左端に付けずに、5 mm 程度の隙間を空けて置いてください。

また、カードの中心と矢印を合わせてください。



6 **[◈] (スタート) を押します。**

メモ

原稿（カード）のセット

原稿台ガラスの左半分に収まるようにセットしてください。

コピー倍率

自動的に< 100% >に設定されます。

使用できる用紙サイズ

A4 またはレター以上の定型サイズです。

ページ順にならべてコピーする（ソート）

コピーされた用紙を排紙するとき、ページ順に一部ずつ排出できます。
会議などの配布資料を作成するときに便利です。

＜ OFF ＞

ページごとに指定された部数をコピーします。

たとえば、3 ページの原稿を 3 部コピーすると、「1、1、1」、「2、2、2」、「3、3、3」の順でプリントされます。

＜ ON ＞

ページ順に指定された部数を繰り返してコピーします。

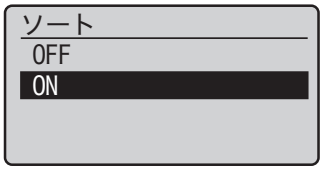
たとえば、3 ページの原稿を 3 部コピーすると、「1、2、3」、「1、2、3」、「1、2、3」の順でプリントされます。

1 原稿をセットします。

「原稿をセットする」（→ P.3-3）
「使用できる原稿について」（→ P.3-2）

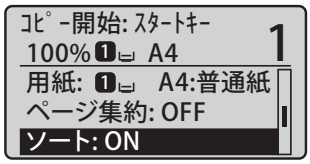
2 ［▲］［▼］で＜ソート＞を選択して、［OK］を押します。

3 ［▲］［▼］で＜ ON ＞を選択して、［OK］を押します。



4 テンキーを使って必要なコピー部数（1 ～ 99）を入力します。

※ コピー部数を修正するときは、［ⓒ］（クリア）を押します。

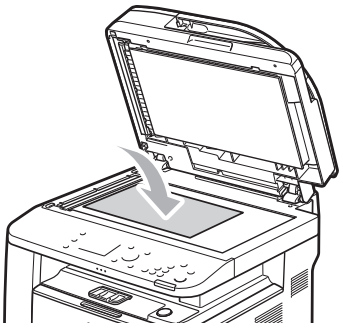


5 ［⟐］（スタート）を押します。

原稿台ガラスに原稿をセットした場合

(1) 次の原稿をセットして［⟐］（スタート）を押します。

※ すべての原稿の読み込みが完了するまで、この操作を繰り返します。



(2) ［▲］［▼］で＜コピー開始＞を選択して、［OK］を押します。

● 原稿の影や枠線を消してコピーする（枠消し）

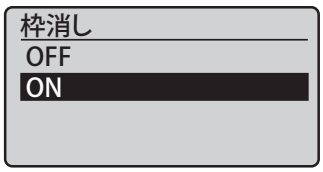
原稿がコピーする用紙サイズより小さいとき、コピーする用紙の周囲にできる影や枠線を消します。
また、コピーする用紙サイズの周囲に一定幅の余白（白地）を作ることもできます。

1 原稿をセットします。

「原稿をセットする」（→ P.3-3）
「使用できる原稿について」（→ P.3-2）

2 ［▲］［▼］で＜枠消し＞を選択して、［OK］を押します。

3 ［▲］［▼］で＜ ON ＞を選択して、［OK］を押します。



4 ［▲］［▼］で枠消し幅（1 ～ 50mm）を選択して、［OK］を押します。

※　テンキーを使って枠消し幅を入力することもできます。

5 ［▲］［▼］で原稿のサイズを選択して、［OK］を押します。

6 ［◇］（スタート）を押します。

● 画像のエッジをくっきりさせる（シャープネス）

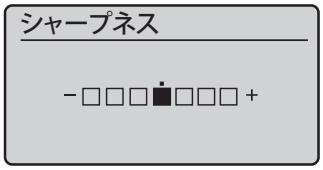
原稿の画像のエッジをくっきりさせる、またはコントラストを弱めることができます。
文字や線を鮮明にコピーしたい場合は強く、写真などの網点原稿をきれいにコピーしたいときは弱く設定します。

1 **原稿をセットします。**

「原稿をセットする」（→ P.3-3）
「使用できる原稿について」（→ P.3-2）

2 **［▲］［▼］で＜シャープネス＞を選択して、［OK］を押します。**

3 **［◀］［▶］でシャープネスを調整して、［OK］を押します。**



［◀］	モアレ現象（モアレと呼ばれるまだら模様が出ること）を弱めることができます。 印刷写真などの網点を使用した原稿に適しています。
［▶］	文字や線などのエッジをくっきりさせることができます。 青焼き原稿や薄い鉛筆書きの原稿などの読み込みに適しています。

4 **［⊛］（スタート）を押します。**

コピー設定の組合せを登録して利用する（モードメモリー）

ひんぱんに使うコピー設定の組合せを、あらかじめ「モードメモリー」に最大 4 個まで登録することができます。

重要

モードメモリーの登録内容について

- モードメモリーの登録内容は、電源を OFF にしても保存されます。
- オプション品が必要な設定が登録されているモードメモリーは、そのオプション品が取り外されると使用できなくなりますが、設定は保存されています。
- オプションカセットの使用が登録されているモードメモリーは、オプションカセットが取り外されると給紙箇所の設定がカセット 1 に変更されます。

設定の組合せについて

コピーの各種設定は組合せて利用することができます。ただし、設定の組合せには以下のような制限があります。

＜部数＞	特に制限はありません。
＜濃度＞	＜背景調整＞を＜自動＞に設定した場合、＜原稿の種類＞が＜文字＞に変更されます。
＜原稿の種類＞	＜背景調整＞を＜自動＞に設定した場合、＜原稿の種類＞が＜文字＞に変更されます。
＜両面＞	• 用紙サイズ（選択した給紙カセット）によっては両面コピーができません。 ＊ 選択した給紙元の用紙サイズ、用紙種類によっては両面コピーができません。 「使用できる用紙について」（→ P.3-5） • ＜ ID カードコピー＞とは同時に設定できません。
＜倍率＞	• ＜ 4 in 1 ＞ / ＜ 2 in 1 ＞で既定の縮小率と異なる倍率でコピーしたい場合は、＜倍率＞を後から設定してください。 • ＜ ID カードコピー＞では、＜倍率＞が 100% に固定されます。 • ＜枠消し＞で設定した枠消し幅は、＜倍率＞の設定に従って増減します。
＜用紙＞	用紙サイズ（選択した給紙元）によっては、両面コピーができません。
＜ 4 in 1 ＞ / ＜ 2 in 1 ＞	• 既定の縮小率と違う倍率でコピーしたい場合は、＜倍率＞を後から設定してください。 • ＜枠消し＞、＜ ID カードコピー＞とは同時に設定できません。
＜ ID カードコピー＞	• ＜倍率＞が 100% に固定されます。 • 両面コピーや＜ 4 in 1 ＞、＜ 2 in 1 ＞、＜枠消し＞とは同時に設定できません。
＜ソート＞	特に制限はありません。
＜枠消し＞	• ページ集約（＜ 4 in 1 ＞ / ＜ 2 in 1 ＞、＜ ID カードコピー＞）とは同時に設定できません。 • 設定した枠消し幅は、＜倍率＞の設定に従って増減します。
＜シャープネス＞	特に制限はありません。

「モードメモリーを登録 / 編集する」（→ P.4-16）
「モードメモリーを削除する」（→ P.4-17）
「モードメモリーを呼び出してコピーする」（→ P.4-17）

モードメモリーを登録 / 編集する

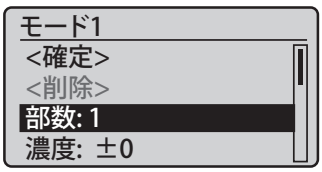
1 ［▲］［▼］で＜モードメモリー＞を選択して、［OK］を押します。

2 ［▲］［▼］で＜登録 / 削除＞を選択して、［OK］を押します。

3 ［▲］［▼］で登録または編集する場所を選択して、［OK］を押します。

※ 登録済みの場所を選択すると、設定を編集できます。

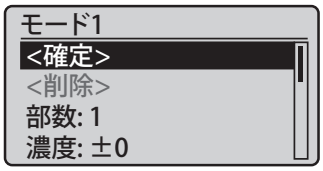
4 ［▲］［▼］で設定する項目を選択して、［OK］を押します。



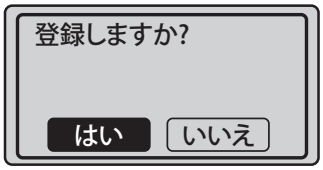
設定の詳細については、以下の項目を参照してください。

「用紙のサイズと種類を設定する」（→ P.1-7）
「濃度を調整してコピーする」（→ P.4-5）
「原稿の種類を選んでコピーする」（→ P.4-6）
「両面にコピーする」（→ P.4-7）
「拡大／縮小コピーする」（→ P.4-10）
「複数枚の原稿を 1 枚の用紙にコピーする（ページ集約）」（→ P.4-11）
「ページ順にならべてコピーする（ソート）」（→ P.4-13）
「原稿の影や枠線を消してコピーする（枠消し）」（→ P.4-14）
「画像のエッジをくっきりさせる（シャープネス）」（→ P.4-15）

5 設定後、[▲] [▼] で＜確定＞を選択して、[OK] を押します。



6 [◀] で＜はい＞を選択して、[OK] を押します。



※ 設定を上書きする場合も同様に操作します。

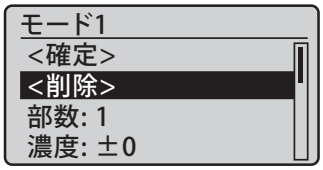
モードメモリーを削除する

1 [▲] [▼] で＜モードメモリー＞を選択して、[OK] を押します。

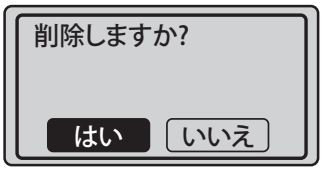
2 [▲] [▼] で＜登録 / 削除＞を選択して、[OK] を押します。

3 [▲] [▼] で削除するモードメモリーを選択して、[OK] を押します。

4 [▲] [▼] で＜削除＞を選択して、[OK] を押します。。



5 [◀] で＜はい＞を選択して、[OK] を押します。



モードメモリーを呼び出してコピーする

メモ

モードメモリーの呼び出し

- 新たにモードメモリーを呼び出すと、すべてのコピー設定がそのモードメモリーの内容に置き換わります。
- モードメモリーを呼び出した後も、設定を任意に変更してコピーできます。

1 原稿をセットします。

「原稿をセットする」(→ P.3-3)
「使用できる原稿について」(→ P.3-2)

2 [▲] [▼] で＜モードメモリー＞を選択して、[OK] を押します。

3 [▲] [▼] で呼び出すモードメモリーを選択して、[OK] を押します。

※ モード 1 ～モード 4 のうち、登録されていないモードメモリーは選択できません。

4 [Start] (スタート) を押します。

コピーのデフォルト値を変更する

コピーのデフォルト値とは、電源を入れたときや、[(リセット)]（リセット）を押したときに適用される設定です。お好みで変更することができます。
以下の設定を、デフォルト値として登録することができます。

- 部数
- 濃度
- 原稿の種類
- 両面
- 倍率
- 用紙
- ページ集約
- ソート
- 枠消し
- シャープネス

メモ

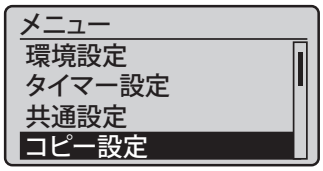
コピーの設定について

複数の設定を組合せて利用することができます。ただし、設定の組合せには制限があります。

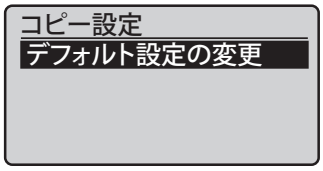
「設定の組合せについて」（→ P.4-16）

1 [(メニュー)]（メニュー）を押します。

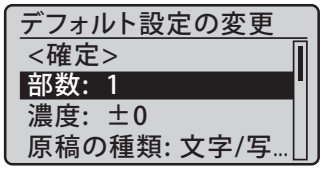
2 [▲] [▼] で＜コピー設定＞を選択して、[OK] を押します。



3 [▲] [▼] で＜デフォルト設定の変更＞を選択して、[OK] を押します。



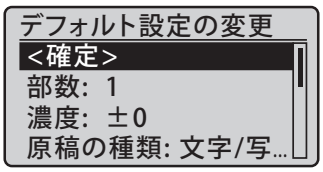
4 [▲] [▼] で設定項目を選択して、[OK] を押します。



設定の詳細については、以下の項目を参照してください。

「用紙のサイズと種類を設定する」（→ P.3-14）
「原稿の種類を選んでコピーする」（→ P.4-6）
「両面にコピーする」（→ P.4-7）
「拡大／縮小コピーする」（→ P.4-10）
「複数枚の原稿を 1 枚の用紙にコピーする（ページ集約）」（→ P.4-11）
「ページ順にならべてコピーする（ソート）」（→ P.4-13）
「原稿の影や枠線を消してコピーする（枠消し）」（→P.4-14）
「画像のエッジをくっきりさせる（シャープネス）」（→P.4-15）

5 [▲] [▼] で＜確定＞を選択して、[OK] を押します。

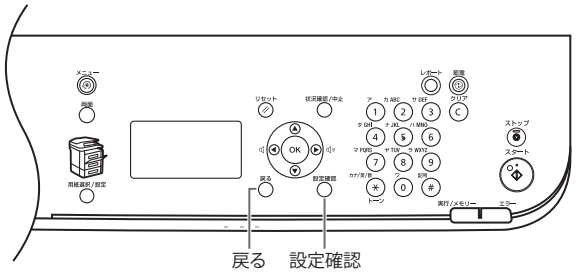


6 [(メニュー)]（メニュー）を押してメニュー画面を閉じます。

コピーの設定を確認する

工場出荷時から変更したコピー機能の設定を確認することができます。

この操作で使用するキー



1 ［◯］（設定確認）を押します。

現在の設定が表示されます。

※ 工場出荷時から設定を変更していない場合は、＜変更された設定はありません。＞と表示されます。

2 設定を確認します。

メモ

各設定を変更することができます

項目を選択して［OK］を押すと各項目の設定画面が表示され、設定を変更することができます。

3 ［◯］（戻る）を押して、待受画面に戻ります。

Chapter 5

日常のメンテナンス

ここでは、本製品のお手入れや移動、トナーカートリッジの交換のしかたなど本製品の調整について説明しています。

日常のお手入れ 5-2

本体のお手入れ 5-2
定着器のお手入れ 5-2
原稿台ガラスのお手入れ 5-3
フィーダーのお手入れ 5-3
フィーダーを自動的にクリーニングする 5-4
日常のお手入れをするときのご注意 5-4

トナーカートリッジの交換 5-5

メッセージが表示されたときは 5-5
プリント結果に白いすじ（線）が入ったり、かすれやムラが出る 5-5
トナーカートリッジを交換する前に 5-6
トナーカートリッジを交換する 5-6
トナーカートリッジを交換するときのご注意 5-7

調整する 5-9

コピー画像の補正をする 5-9
プリント濃度を調整する 5-10

本製品を移動するとき 5-11

移転や引っ越しなどで本製品を輸送するとき 5-11
本製品を移動するときのご注意 5-11

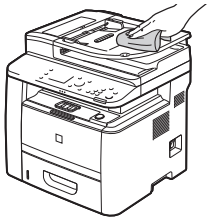
日常のお手入れ

本体のお手入れ

本体外部や通気口を清掃します。

1 電源スイッチを切り、電源コードを抜きます。

2 水または薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布をかたく絞り、本体の表面を拭きます。



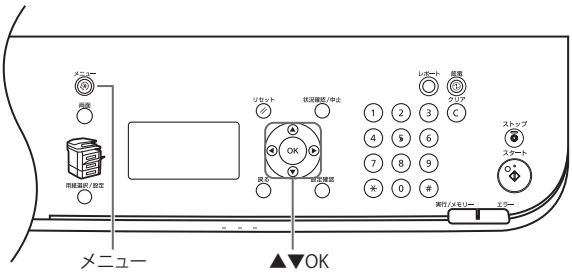
3 完全に乾いてから電源コードを接続し、電源スイッチを入れます。

定着器のお手入れ

以下の場合、定着器が汚れている可能性があります。定着器をクリーニングしてください。

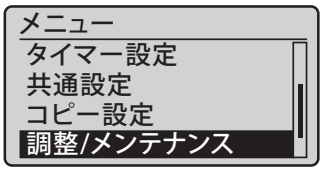
- プリントされた用紙に黒いスジが現れる場合
- トナーカートリッジを交換したとき

この操作で使用するキー

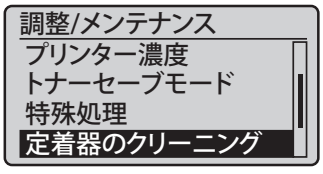


1 [(メニュー)]（メニュー）を押します。

2 [▲] [▼] で<調整／メンテナンス>を選択して、[OK] を押します。



3 [▲] [▼] で<定着器のクリーニング>を選択して、[OK] を押します。

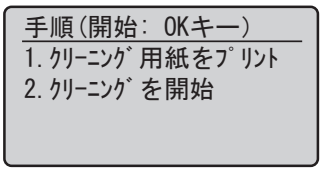


4 給紙カセットに使用可能な用紙がセットされていることを確認して、[OK] を押します。

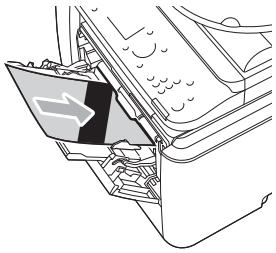
※ 定着器のクリーニングに使用する用紙は普通紙を推奨します。

5 画面の手順を確認して、[OK] を押します。

※ クリーニング用紙がプリントされます。

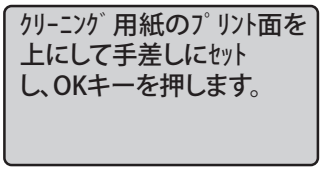


6 黒い帯を上にして、手差しトレイにクリーニング用紙をセットします。



7 画面を確認して、[OK] を押します。

クリーニングが開始されます。約 80 秒かかります。



開始されないときは

メモリーにジョブがある場合、クリーニングできません。

8 [(メニュー)]（メニュー）を押してメニュー画面を閉じます。

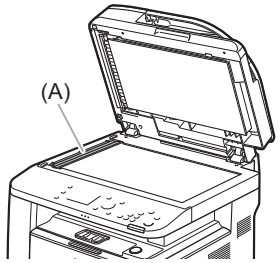
原稿台ガラスのお手入れ

以下の手順で、原稿台ガラスおよびフィーダーの下面の清掃をしてください。

重要

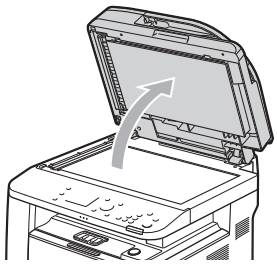
原稿台ガラスを清掃するときのご注意

原稿台ガラスの左端にある読み取り部の透明のシート (A) を折り曲げないよう注意してください。



1 電源スイッチを切り、電源コードを抜きます。

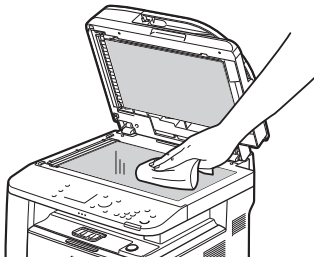
2 フィーダーを開けます。



3 原稿台ガラスとフィーダーの下面を拭きます。

(1) 水を含ませてかたく絞った布で拭きます。

(2) 乾いた柔らかい布で拭きます。



4 フィーダーを閉じます。

5 電源コードを接続し、電源スイッチを入れます。

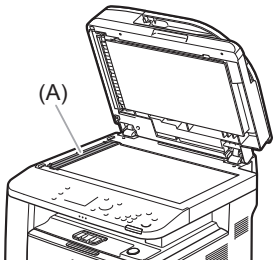
フィーダーのお手入れ

フィーダーを使用して原稿を読み取ったときに、ローラーや読み取り部についた鉛筆の粉などのために原稿が汚れ、原稿にないものがプリントされることがあります。この場合は、ローラーと読み取りエリアを清掃してください。

重要

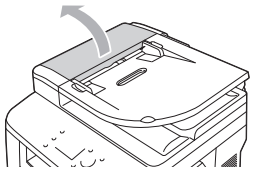
フィーダーを清掃するときのご注意

原稿台ガラスの左端にある読み取り部の透明のシート (A) を折り曲げないよう注意してください。

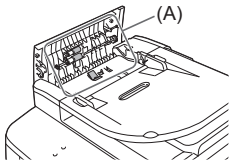


1 電源スイッチを切り、電源コードを抜きます。

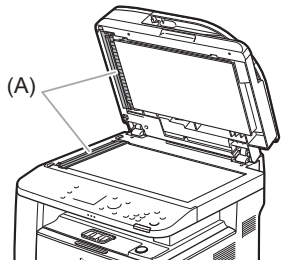
2 フィーダーカバーを開けます。



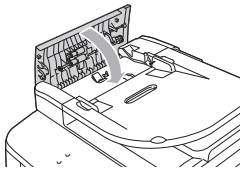
3 水を含ませた布で、フィーダー内部のローラー（A）を拭きます。次に、乾いた柔らかい布で拭きます。



4 水を含ませた布で、読み取り部（A）を拭きます。次に、乾いた柔らかい布で拭きます。



5 フィーダーカバーを閉じます。



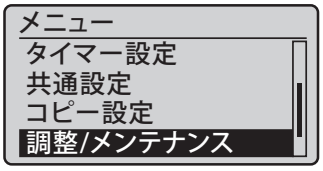
6 電源コードを接続し、電源スイッチを入れます。

フィーダーを自動的にクリーニングする

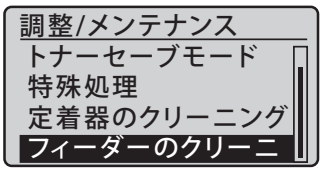
フィーダーを使用して原稿を読み取ったときに、ローラーについた鉛筆の粉などのために原稿が汚れ、原稿にないものがプリントされることがあります。この場合、白紙用紙を使用してローラーを清掃します。

1 ［⊛］（メニュー）を押します。

2 ［▲］［▼］で＜調整 / メンテナンス＞を選択して、［OK］を押します。

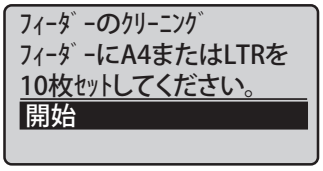


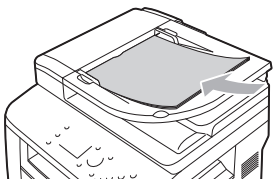
3 ［▲］［▼］で＜フィーダーのクリーニング＞を選択して、［OK］を押します。



4 フィーダーに A4 またはレターサイズの普通紙を 10 枚セットして、［OK］を押します。

クリーニングが開始されます。約 46 秒かかります。





5 ［⊛］（メニュー）を押してメニュー画面を閉じます。

日常のお手入れをするときのご注意

本製品のお手入れをする前に、以下のことをご確認ください。

- メモリーにジョブが蓄積されていないことを確認してから、電源スイッチを切り、電源コードを抜いてください。
- 本製品に傷が付かないよう、柔らかい布をお使いください。
- ティッシュペーパー、紙タオルなどは使わないでください。内部の部品に付着したり、静電気発生の原因になることがあります。

⚠ 注意

フィーダーを清掃するときの注意

水分を含ませすぎた布で拭くと、原稿が破れたり、本製品を損傷することがあります。

フィーダーを閉めるとき

指を挟まないよう注意してください。

衣服や手がトナーで汚れないように注意する

衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。
温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。

トナーカートリッジの交換

トナーカートリッジは消耗品です。トナーカートリッジが寿命に近づくと、メッセージが表示されたり、次のような症状が出たりします。メッセージや症状に応じて適切に対処してください。

◆メッセージが表示される

「メッセージが表示されたときは」（→ P.5-5）

◆白いすじ（線）が入ったり、かすれやムラが出る

「プリント結果に白いすじ（線）が入ったり、かすれやムラが出る」（→ P.5-5）

重要

トナーカートリッジについて

トナーカートリッジの印字可能枚数や取り扱い、トナーの節約方法については、以下を参照してください。

「トナーカートリッジ」（→ P.2-6）

※　本製品に同梱されているトナーカートリッジと交換用のトナーカートリッジでは、印字可能枚数が異なります。

メッセージが表示されたときは

本製品の使用中にトナーが少なくなると、ディスプレーにメッセージが表示されます。

メッセージ	トナーカートリッジを準備してください。
表示される時期	トナーカートリッジの交換時期が近づいたとき。
内容および対処	トナーカートリッジの中のトナーを均一にならしてください。 「トナーカートリッジを交換する前に」（→P.5-6） 大量にプリントするときは、トナーカートリッジを交換することをおすすめします。 「トナーカートリッジを交換する」（→ P.5-6）

重要

白いすじ（線）が入ったり、かすれやムラが出る

プリント結果に白いすじ（線）が入ったり、かすれやムラが出る場合は、メッセージが表示されなくても、トナーカートリッジの寿命がきていることが原因です。印字品質が低下したら、次の項目を参照して対処してください。

「プリント結果に白いすじ（線）が入ったり、かすれやムラが出る」（→ P.5-5）

プリント結果に白いすじ（線）が入ったり、かすれやムラが出る

トナーカートリッジが寿命に近づくと、プリント結果に白いすじ（線）が入ったり、かすれやムラが出ます。

※プリント結果に白いすじ（線）が入ったり、かすれやムラが出たときを交換の目安としてください。
※このような症状が出ているときに、＜コピー画像補正＞を行っても、症状は改善されないことがあります。

▼このような症状が出たら

トナーカートリッジを交換する前に、次に記載されている操作をしてみてください。トナーが完全になくなるまで、しばらくの間プリントできることがあります。
「トナーカートリッジを交換する前に」（→ P.5-6）

▼プリント結果が改善されないとき

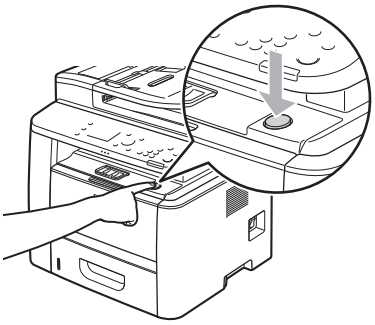
上記の操作をしてもプリント結果に白いすじ（線）が入ったり、かすれやムラが出るときは、新しいトナーカートリッジに交換してください。
「トナーカートリッジを交換する」（→ P.5-6）

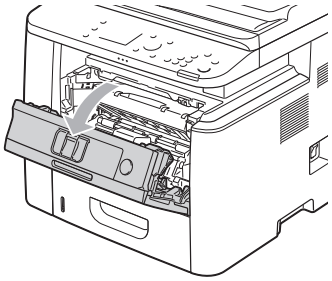
トナーカートリッジを交換する前に

トナーカートリッジを交換する前に、「トナーカートリッジを交換するときのご注意」(→P.5-7)をご覧ください。

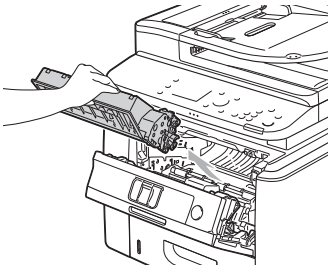
トナーカートリッジの寿命が近づいたら、交換する前に次の操作をしてみてください。トナーが完全になくなるまで、しばらくの間プリントできることがあります。

1 **オープンボタンを押しながら、前カバーを開けます。**

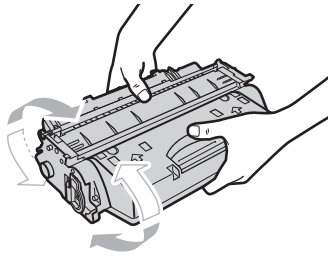




2 **トナーカートリッジを取り出します。**

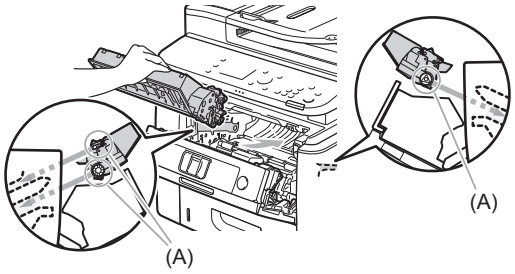


3 **トナーカートリッジを図のように 5 ～ 6 回振って、内部のトナーを均一にならします。**



4 **トナーカートリッジを取り付けます。**

左右の（A）をトナーカートリッジガイドに合わせて、奥に当たるまで確実に押し込みます。



5 **前カバーを閉めます。**

前カバーが閉まらないとき

トナーカートリッジが正しく取り付けられていることを確認してください。無理に閉めると故障の原因になります。

メモ

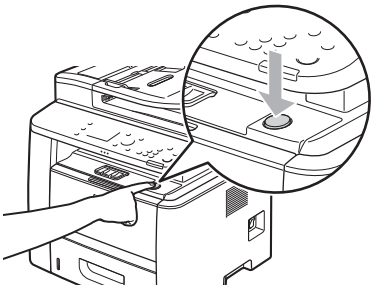
上記の操作をしても印刷結果に白いすじ（線）が入ったり、かすれやムラが出るときは、新しいトナーカートリッジに交換してください。

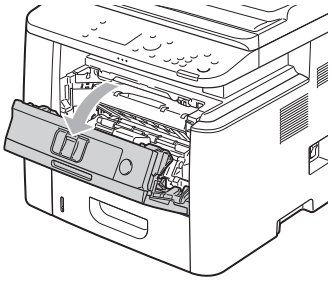
「トナーカートリッジを交換する」（→ P.5-6）

トナーカートリッジを交換する

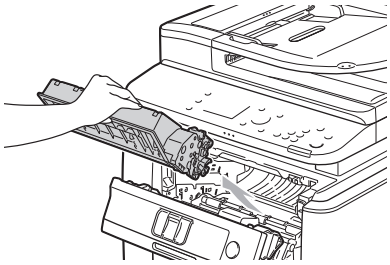
トナーカートリッジを交換する前に、「トナーカートリッジを交換するときのご注意」(→P.5-7)をご覧ください。

1 **オープンボタンを押しながら、前カバーを開けます。**





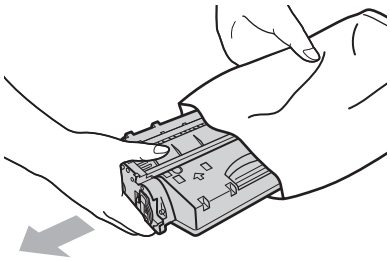
2 トナーカートリッジを取り出します。



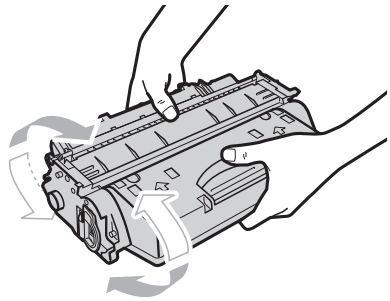
3 新しいトナーカートリッジを、保護袋から取り出します。

保護袋は、切り込みの部分から手で開けることができます。

※ 保護袋は、捨てずに保管しておいてください。プリンターのメンテナンスなど、トナーカートリッジを取り外したときに必要になります。

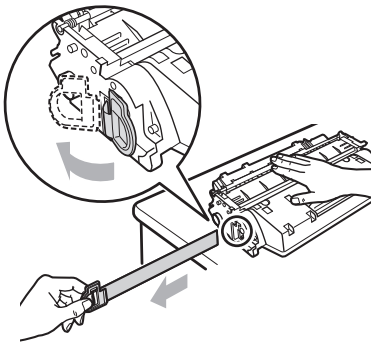


4 トナーカートリッジを図のように 5 ～ 6 回振って、内部のトナーを均一にならします。



5 トナーカートリッジを平らな場所に置きます。

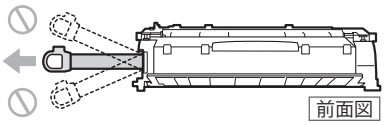
6 タブを折って、シーリングテープ（約 50 cm）を引き抜きます。



重要

シーリングテープを引き抜くときの注意事項

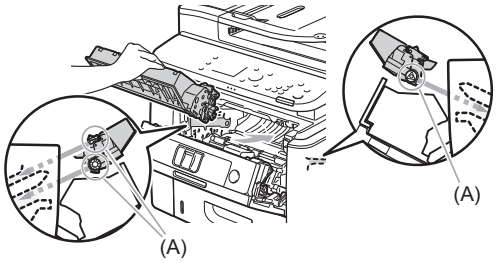
- 曲げて引いたり、上向きや下向きに引っ張らないでください。シーリングテープが途中で切れ、完全に引き抜けなくなることがあります。



- シーリングテープが途中で引っかかっても、最後まで完全に引き抜いてください。シーリングテープがトナーカートリッジ内に残っていると、印字不良の原因になります。
- 引き抜いたシーリングテープは地域の条例にしたがって処分してください。

7 トナーカートリッジを取り付けます。

左右の（A）をトナーカートリッジガイドに合わせて、奥に当たるまで確実に押し込みます。



8 前カバーを閉めます。

前カバーが閉まらないとき

トナーカートリッジが正しく取り付けられていることを確認してください。無理に閉めると故障の原因になります。

トナーカートリッジを交換するときのご注意

「 安全にお使いいただくために」の「保守／点検について」（→ P.viii）もご覧ください。

警告

使用済みのトナーカートリッジを火中に投じない

トナーカートリッジ内に残ったトナーに引火して、やけどや火災の原因になります。

トナーをこぼした場合の対処

トナーをこぼした場合は、トナー粉塵を吸いこまないよう、掃き集めるか濡れた雑巾等で拭き取ってください。掃除機を使用する場合は、粉塵爆発に対する安全対策がとられていない一般の掃除機は使用しないでください。掃除機の故障や静電気による粉塵爆発の原因になる可能性があります。

注意

衣服や手がトナーで汚れないように注意する

衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。

トナーが飛び散らないように注意する

シーリングテープを勢いよく引き抜いたり、途中で止めたりしないでください。トナーが目や口に入ったときは、直ちに水で洗い流し、医師に相談してください。

重要

トナーカートリッジの偽造品に関するご注意

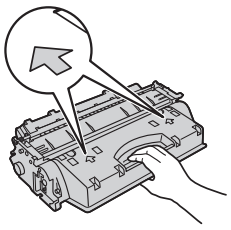
トナーカートリッジの「偽造品」が流通していることが確認されています。
「偽造品」はキヤノン株式会社の商標権を侵害するものです。また誤って「偽造品」を使用されますと、印字品位の低下など、機械本体の本来の性能が十分に発揮されない場合があります。
「偽造品」に起因する故障や事故につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
詳しくは下記ホームページをご覧ください。
http://www.canon.com/counterfeit

トナーカートリッジはセットする前に振る

トナーが均一になっていないと、プリント品質が低下します。

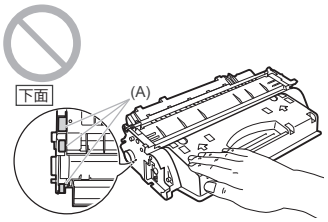
トナーカートリッジは正しく持つ

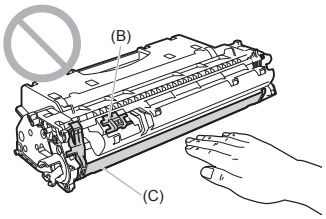
トナーカートリッジを取り扱うときは、図のように正しく持ってください。立てたり、裏返したりしないでください。



電気接点部（A）やトナーカートリッジメモリー（B）には触れない、ドラム保護シャッター（C）は開けない

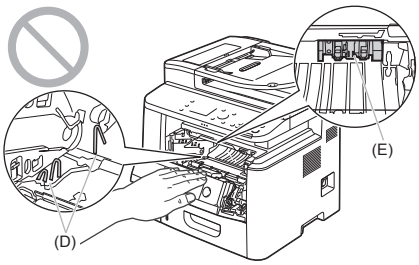
電気接点部（A）やトナーカートリッジメモリー（B）に触れると、故障の原因になることがあります。
また、内部の感光ドラムを手で触れたり、傷を付けたりすると、印刷品質が低下します。絶対に手で触れたり、ドラム保護シャッター（C）を開けないでください。





高圧接点部（D）や電気接点部（E）には触れない

故障の原因になることがあります。



その他の注意

- 絶対に直射日光や強い光に当てないでください。
- 絶対に分解や改造などをしないでください。
- トナーカートリッジを急激な温度変化にさらすと、内部や外部に水滴が付着（結露）することがあります。
- 温度変化のある場所で取り付けるときなどは、保護袋を開封せずに 2 時間以上置き、周囲の温度に慣らしてから開封してください。
- トナーカートリッジを取り付けた状態で、前カバーを開けたまま長時間放置しないでください。
- トナーカートリッジをディスプレーやコンピューター本体など、磁気が発生する装置に近づけないでください。
- トナーカートリッジは磁気製品です。フロッピーディスクやディスクドライブなど、磁気を嫌う製品には近づけないでください。データ破損などの原因になることがあります。

メモ

梱包材について

梱包材は予告なく位置・形状が変更されたり、追加や削除されることがあります。

調整する

コピー画像の補正をする

コピー画像の補正は、通常行う必要はありません。
原稿と出力紙の階調や濃度が極端に異なる場合に行います。

重要

コピー画像補正を実行できる状態

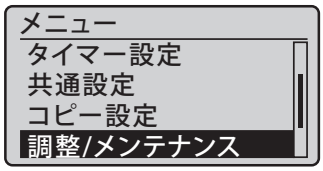
- ディスプレーに次のメッセージが表示されていないこと
  - <トナーカートリッジをセットしてください。>
- 以下の用紙が給紙カセットにセットされていること
  - 用紙サイズ：A4 または LTR
  - 用紙種類：普通紙または再生紙
  - 用紙枚数：1 枚以上

トナーの残量が少ない状態で実行すると

補正を実行しても画像が改善されないことがあります。
トナーカートリッジを交換することをおすすめします。
「トナーカートリッジの交換」（→ P.5-5）

1 [(メニュー)]（メニュー）を押します。

2 [▲][▼]で<調整 / メンテナンス>を選択して、[OK]を押します。

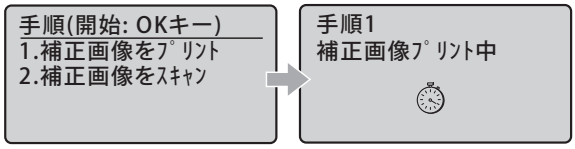


3 [▲][▼]で<コピー画像補正>を選択して、[OK]を押します。

4 用紙がセットされていることを確認して、[OK]を押します。

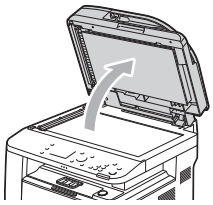
5 コピー画像補正の流れを確認して、[OK]を押します。

コピー画像補正は、画面に表示されている 2 つの手順（プリント→スキャン）で行います。



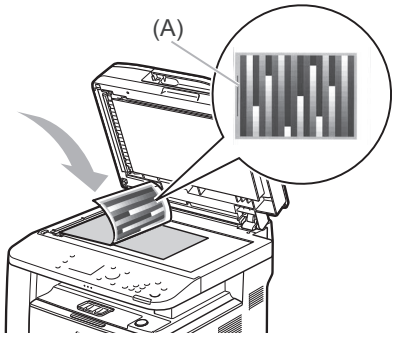
※ テストチャート（補正画像 1）がプリントされます。

6 プリント中の画面が消えたら、フィーダーを開けます。



7 プリントされた用紙をプリント面を下向きにして、原稿台にセットします。

細い黒線（A）を左側にセットします。



重要

テストチャートは正しくセットしてください

正しく読み込まれないと、補正が正常に行われません。

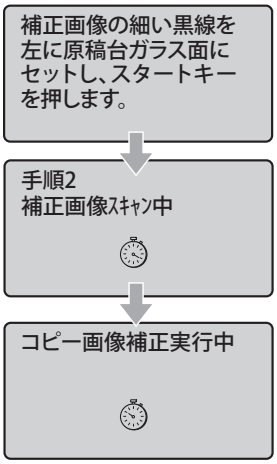
設置場所の温度を確認してください

室温が低い場合、補正が正常に行われないことがあります。

8 フィーダーをゆっくりと閉めます。

9 [ ]（スタート）を押します。

テストチャートのスキャンを開始します。



メモ

設置場所の温度を確認してください

室温が低い場合、補正が正常に行われないことがあります。

＜補正に失敗しました。＞が表示されたときは

- 用紙が正しくセットされていますか？
  → A4／レターサイズの普通紙または再生紙を給紙カセットにセットしてください。
- テストチャートは正しく原稿台にセットされていますか？
  → プリント面を下向きにして、細い黒線を左側にセットします。
- 紙づまりが発生していませんか？
  → つまった用紙を取り除いてください。

10 終了すると、手順 3 の画面に戻ります。[ ]（メニュー）を押してメニュー画面を閉じます。

11 手順 7 で原稿台にセットしたテストチャート（補正画像 1）を取り除きます。

メモ

コピー画像補正にかかる時間

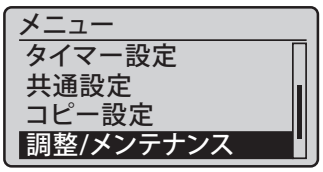
約 40 秒

プリント濃度を調整する

プリント時の濃度を調整することができます。
「濃度調整」（→ P.4-5）を行っても、お好みの濃度にならない場合は、本項目でプリンター濃度の調整を行ってください。

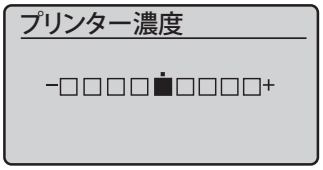
1 [ ]（メニュー）を押します。

2 [▲] [▼] で＜調整 / メンテナンス＞を選択して、[OK] を押します。



3 [▲] [▼] で＜プリンター濃度＞を選択して、[OK] を押します。

4 [◀] [▶] で濃度を調整し、[OK] を押します。



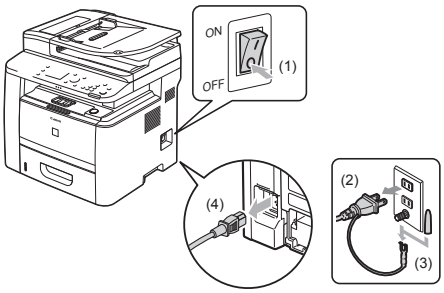
5 [ ]（メニュー）を押してメニュー画面を閉じます。

本製品を移動するとき

移動を始める前に、「本製品を移動するときのご注意」（→ P.5-11）をご覧ください。

メンテナンスや移転などで本製品を移動するときは、必ず次の手順にしたがってください。

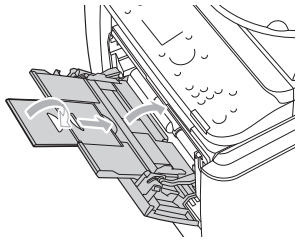
1 本製品の電源を切り、接続されている電源コードを取り外します。



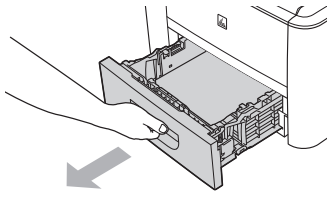
<電源コードの取り外しかた>

電源コード	(1) 電源プラグを電源コンセントから抜く
	(2) アース線を専用のアース線端子から取り外す
	(3) 本製品から抜く

2 手差しトレイを使用している場合は、手差しトレイを閉めます。

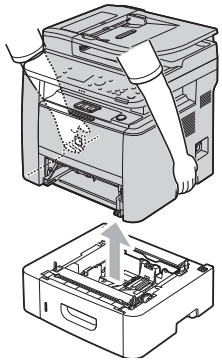


3 給紙カセットを引き出します。



4 本製品を移動場所へ運びます。

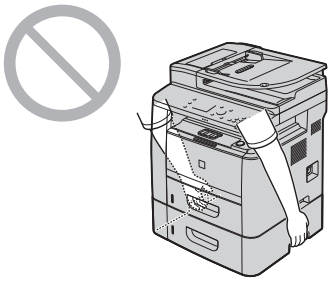
カバーやトレイが閉まっていることを確認し、本製品の前面から取っ手に手を掛けて運んでください。本製品の重さを確認してから、無理のないように持ち運んでください。



オプションのペーパーフィーダーが取り付けられているとき

ペーパーフィーダーを本製品から取り外し、移動場所に設置してから本製品を運びます。

※ ペーパーフィーダーを取り付けた状態で持ち運ばないでください。ペーパーフィーダーが落下して、けがの原因になることがあります。



5 移動場所にゆっくりとおろします。

メモ

設置手順について

「設置方法」（→ P.1-1）を参照してください。

移転や引っ越しなどで本製品を輸送するとき

輸送中の破損や故障を避けるため、次のようにしてください。

- トナーカートリッジを取り外す
- 購入時のパッケージ（箱）や梱包材を使ってしっかりと梱包する

※ 購入時のパッケージ（箱）や梱包材がないときは、適した大きさの段ボールや適当な梱包材を使ってしっかりと梱包してください。

本製品を移動するときのご注意

警告

本製品を移動させるとき

必ず本製品とコンピューターの電源をオフにし、電源プラグを抜いてください。
そのまま移動すると、電源コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

注意

ゆっくりと慎重におろす

手や指などを挟むと、けがの原因になることがあります。

重要

カバーやトレイが開いた状態で本製品を持ち運ばない

必ず操作パネル部や給紙カセットなどが閉まっていることを確認してから持ち運んでください。

Chapter 6

困ったときには

紙づまりが起きたときや、トラブルが解決しないときなどの対処方法について説明しています。

用紙や原稿がつまったら 6-2

フィーダーにつまった原稿を取り除く 6-3
排紙部につまった用紙を取り除く 6-4
手差しトレイにつまった用紙を取り除く 6-4
給紙カセット（カセット 1、2）につまった用紙を取り除く 6-5
後ろカバー、両面ユニットにつまった用紙を取り除く 6-5
前カバーにつまった用紙を取り除く 6-6
両面搬送ガイドにつまった用紙を取り除く 6-7

トラブル解決マップ 6-8

エラーメッセージ一覧 6-12

メッセージが表示されたら 6-12
エラーコード 6-13

＜用紙と設定サイズが不一致＞と表示された場合 6-14

セットされている用紙サイズに合わせて、＜用紙設定＞メニューを変更する 6-14
＜用紙設定＞メニューに設定されているサイズの用紙をセットする 6-14

プリント結果が良くない 6-15

用紙がカールする 6-15
用紙がしわになる 6-15
すじ状の汚れが付く 6-16
文字やパターンのまわりにトナーが飛び散ったような跡が付く 6-16

その他のトラブル 6-17

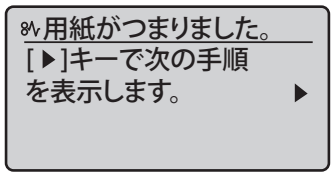
本製品の排紙部周辺から湯気が出る 6-17
操作パネルの裏面や排紙部に水滴がつく 6-17
設定が有効にならない 6-17

電力供給が止まったときは 6-17

トラブルが解決しない場合 6-18

● 用紙や原稿がつまったら

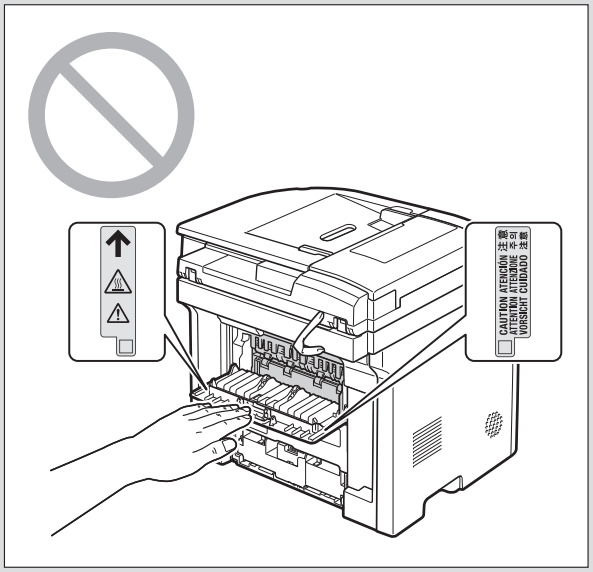
ディスプレーに<用紙がつまりました。>と表示された場合は、フィーダーか本体内部で紙づまりが起きています。画面に表示された手順にしたがって、つまった原稿や用紙を取り除いてください。次の手順を表示するには、[▶]を押してください。



- 「フィーダーにつまった原稿を取り除く」(→ P.6-3)
- 「排紙部につまった用紙を取り除く」(→ P.6-4)
- 「手差しトレイにつまった用紙を取り除く」(→ P.6-4)
- 「給紙カセット（カセット 1、2）につまった用紙を取り除く」(→ P.6-5)
- 「後ろカバー、両面ユニットにつまった用紙を取り除く」(→ P.6-5)
- 「前カバーにつまった用紙を取り除く」(→ P.6-6)
- 「両面搬送ガイドにつまった用紙を取り除く」(→ P.6-7)

⚠ 注意

- **製品内部の定着器周辺は、使用中に高温になります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、定着器周辺に触れないように点検してください。やけどの原因になることがあります。**



- **紙づまり処理など内部を点検するとき、定着器周辺に直接触れなくても、定着器周辺の熱に長時間さらされないように注意してください。低温やけどの原因になることがあります。**
- **紙づまり時には、画面に表示されているメッセージにしたがって、つまっている用紙を機械内部に紙片が残らないように取り除いてください。また、表示以外の箇所には無理に手を入れないでください。けがややけどの原因になることがあります。**
- **紙づまり処理やトナーカートリッジを交換するときは、トナーで衣服や手を汚さないように注意してください。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。**
- **紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上にのっているトナーが飛び散らないように、丁寧に取り除いてください。トナーが目や口などに入ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師に相談してください。**
- **原稿づまりや紙づまりを取り除くときは、原稿や用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。**

重要

本製品の電源を入れたまま作業を行う

電源を切ると、印刷中のデータが消去されます。

用紙が破れた場合

切れ端がつまらないように、すべて取り除いてください。

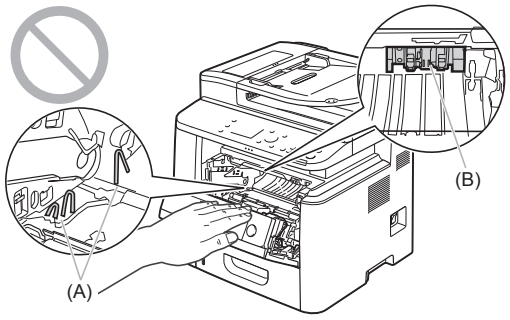
紙づまりが繰り返し起こる場合

以下を確認してください。

- 本製品に用紙をセットする前に、平らな場所でそろえてください。
- お使いの用紙が本製品に適しているか確認してください。
  「使用できる用紙について」(→ P.3-5)
- つまった用紙の切れ端が本体内部に残っていないか、確認してください。

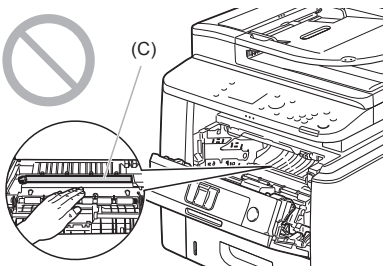
高圧接点部（A）や電気接点部（B）には触れない

故障の原因になることがあります。



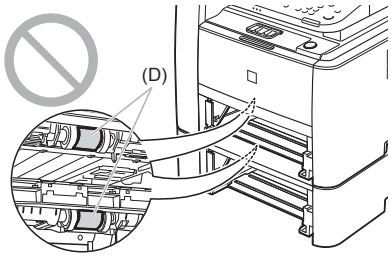
転写ローラー（C）には触れない

印刷品質が低下することがあります。



給紙ローラー（D）には触れない

故障や動作不良の原因になることがあります。



メモ

つまった原稿や用紙を本体から無理に取り除かないでください

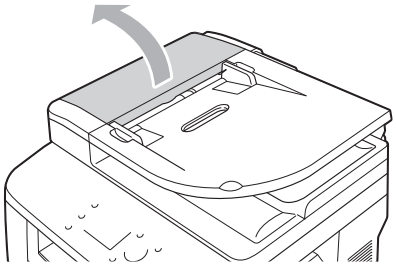
問題が解決できない場合は、お近くのキヤノン販売店または「キヤノンお客様相談センター」にご連絡ください。

フィーダーにつまった原稿を取り除く

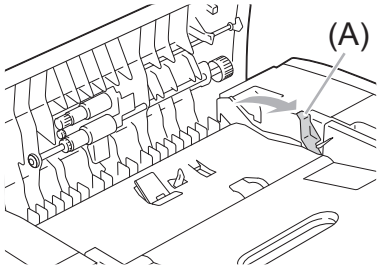
画面に表示される処理方法を参考にしながら、以下の手順にしたがって原稿を取り除いてください。

1 フィーダーにセットされている原稿を取り除きます。

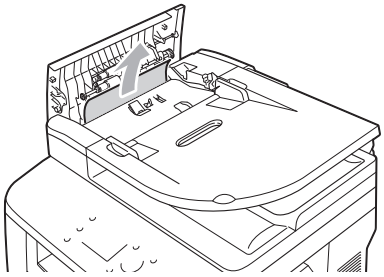
2 フィーダーカバーを開けます。



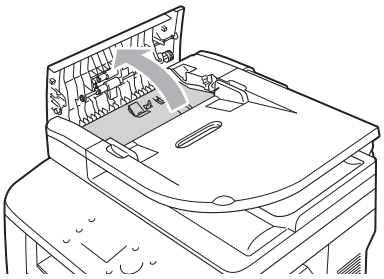
3 圧解除レバー（A）を図の位置に動かします。



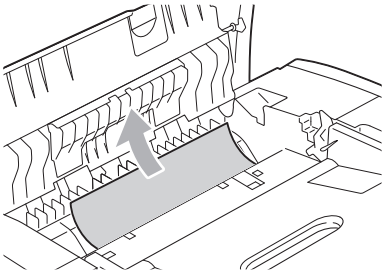
4 原稿をゆっくり引っぱって取り除きます。



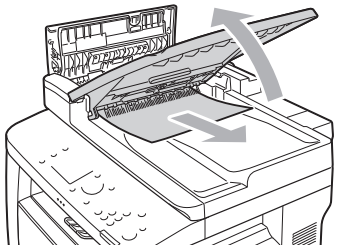
5 中カバーを開けます。



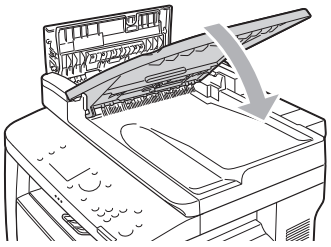
6 原稿をゆっくり引っぱって取り除きます。



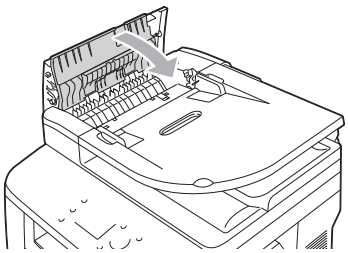
7 原稿給紙トレイを持ち上げて、原稿をゆっくり引っぱって取り除きます。



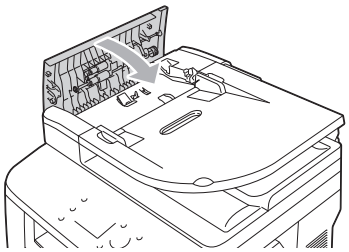
8 原稿給紙トレイを元の位置に戻します。



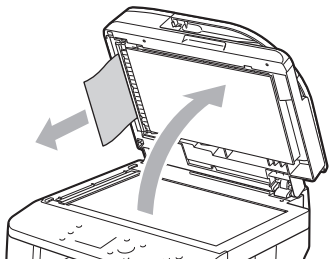
9 中カバーを閉めます。



10 フィーダーカバーを閉めます。



11 フィーダーを開けて、原稿をゆっくり引っぱって取り除きます。



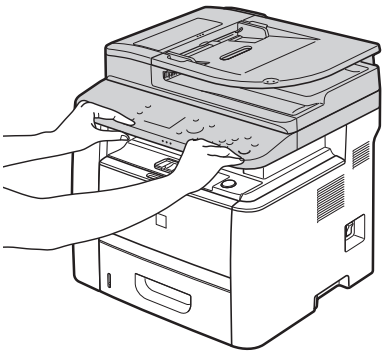
12 フィーダーを静かに閉めます。

13 原稿をフィーダーにセットします。

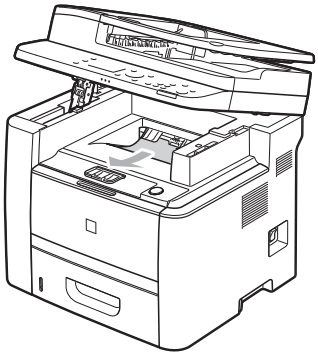
排紙部につまった用紙を取り除く

画面に表示される処理方法を参考にしながら、以下の手順にしたがって原稿を取り除いてください。

1 操作パネル部を持ち上げます。



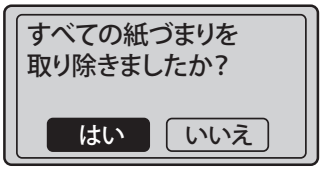
2 用紙をゆっくり引っぱって取り除きます。



3 操作パネル部をおろします。

4 次の画面が表示されたら、[◀] で<はい>を選択して、[OK] を押します。

プリント可能な状態になります。

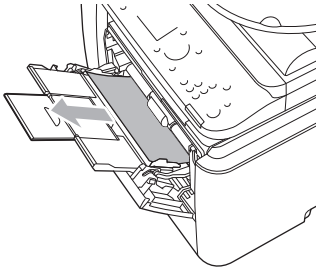


手差しトレイにつまった用紙を取り除く

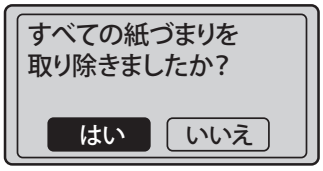
画面に表示される処理方法を参考にしながら、以下の手順にしたがって原稿を取り除いてください。

1 用紙をゆっくり引っぱって取り除きます。

簡単に取り除けないときは無理に引っぱらず、メッセージに表示されている別の位置の処理手順を行ってください。



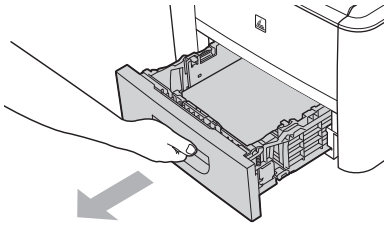
2 次の画面が表示されたら、[◀] で<はい>を選択して、[OK] を押します。
プリント可能な状態になります。



給紙カセット（カセット 1、2）につまった用紙を取り除く

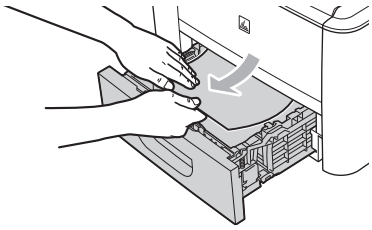
画面に表示される処理方法を参考にしながら、以下の手順にしたがって原稿を取り除いてください。

1 給紙カセットを途中まで引き出します。



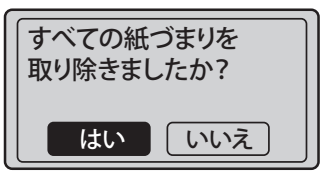
オプションの給紙カセット（カセット 2）に用紙がつまっている場合は、オプションの給紙カセットを途中まで引き出します。

2 用紙をゆっくり引っぱって取り除きます。



3 給紙カセットをセットします。
オプションの給紙カセット（カセット 2）が装着されている場合は、オプションの給紙カセットもセットします。

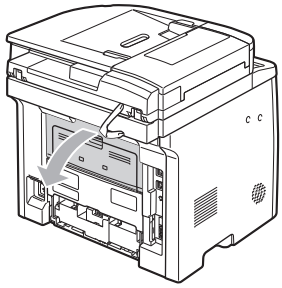
4 次の画面が表示されたら、[◀] で<はい>を選択して、[OK] を押します。
プリント可能な状態になります。



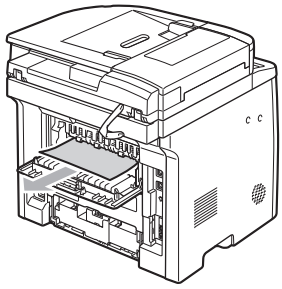
後ろカバー、両面ユニットにつまった用紙を取り除く

画面に表示される処理方法を参考にしながら、以下の手順にしたがって原稿を取り除いてください

1 後ろカバーを開けます。

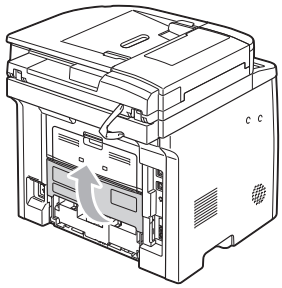


2 用紙をゆっくり引っぱって取り除きます。

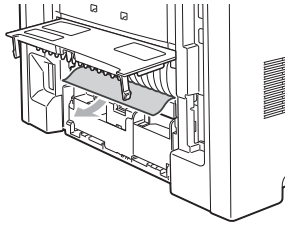


3 後ろカバーを閉めます。

4 後ろ下カバーを開けます。

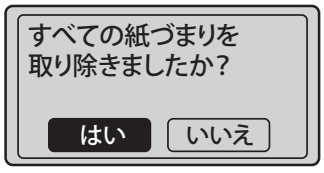


5 用紙をゆっくり引っぱって取り除きます。



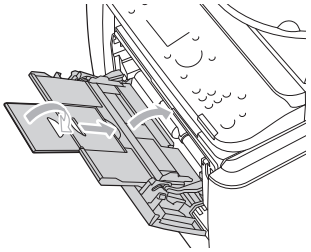
6 後ろ下カバーを閉めます。

7 次の画面が表示されたら、[◀] で<はい>を選択して、[OK] を押します。
プリント可能な状態になります。

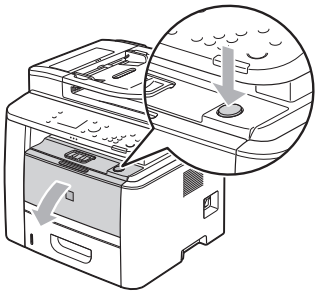


前カバーにつまった用紙を取り除く

1 手差しトレイを使用している場合は、手差しトレイを閉めます。



2 オープンボタンを押しながら、前カバーを開けます。

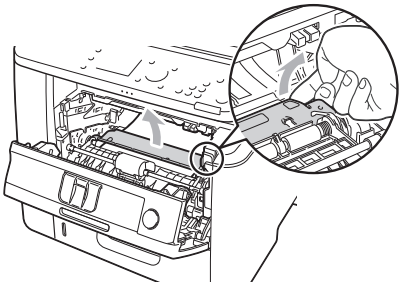


3 トナーカートリッジを取り出します。

取り出したトナーカートリッジは、すみやかに梱包時の保護袋に入れるか、厚い布で包んでください。

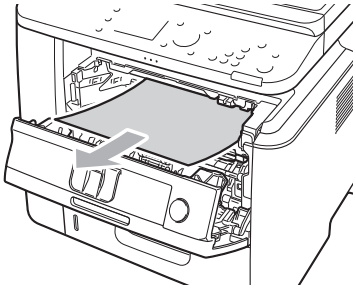
4 緑色の取っ手を持って、搬送ガイドを手前に倒します。

手順 6 で元の位置に戻すまで搬送ガイドから手を離さないでください。



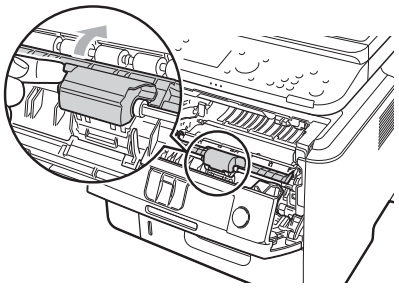
5 用紙をゆっくり引っぱって取り除きます。

定着していないトナーをこぼさないように、できるだけ水平に取り除いてください。

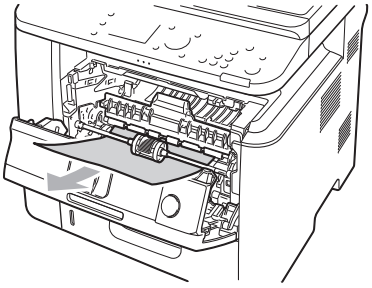


6 搬送ガイドをゆっくりと元の位置に戻します。

7 緑色のシールが貼られている部分を持って、ローラーカバーを開けます。



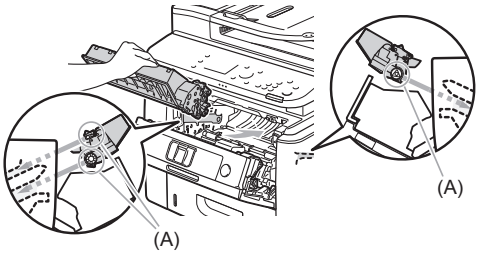
8 用紙をゆっくり引っぱって取り除きます。



9 ローラーカバーをゆっくりと元の位置に戻します。

10 トナーカートリッジを取り付けます。

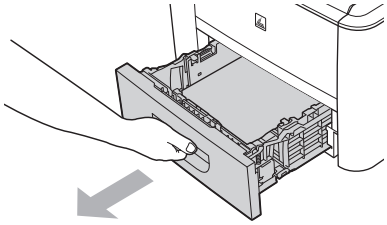
左右の（A）をトナーカートリッジガイドに合わせて、奥に当たるまで確実に押し込みます。



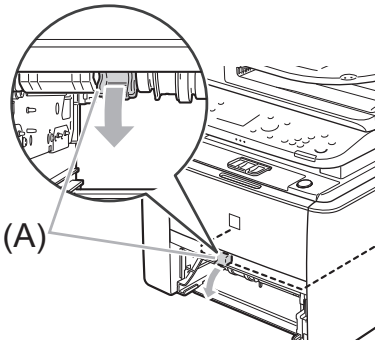
11 前カバーを閉めます。

両面搬送ガイドにつまった用紙を取り除く

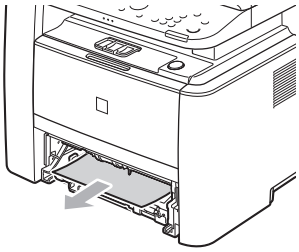
1 給紙カセットを引き出します。



2 緑色の取っ手（A）を持って、両面搬送ガイドを開けます。

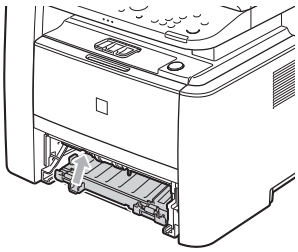


3 用紙をゆっくり引っぱって取り除きます。



4 緑色の取っ手を持って、両面搬送ガイドを確実に閉めます。

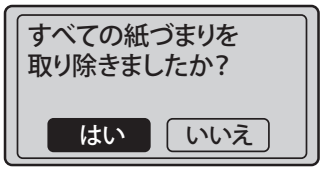
左右をしっかりと閉めてください。



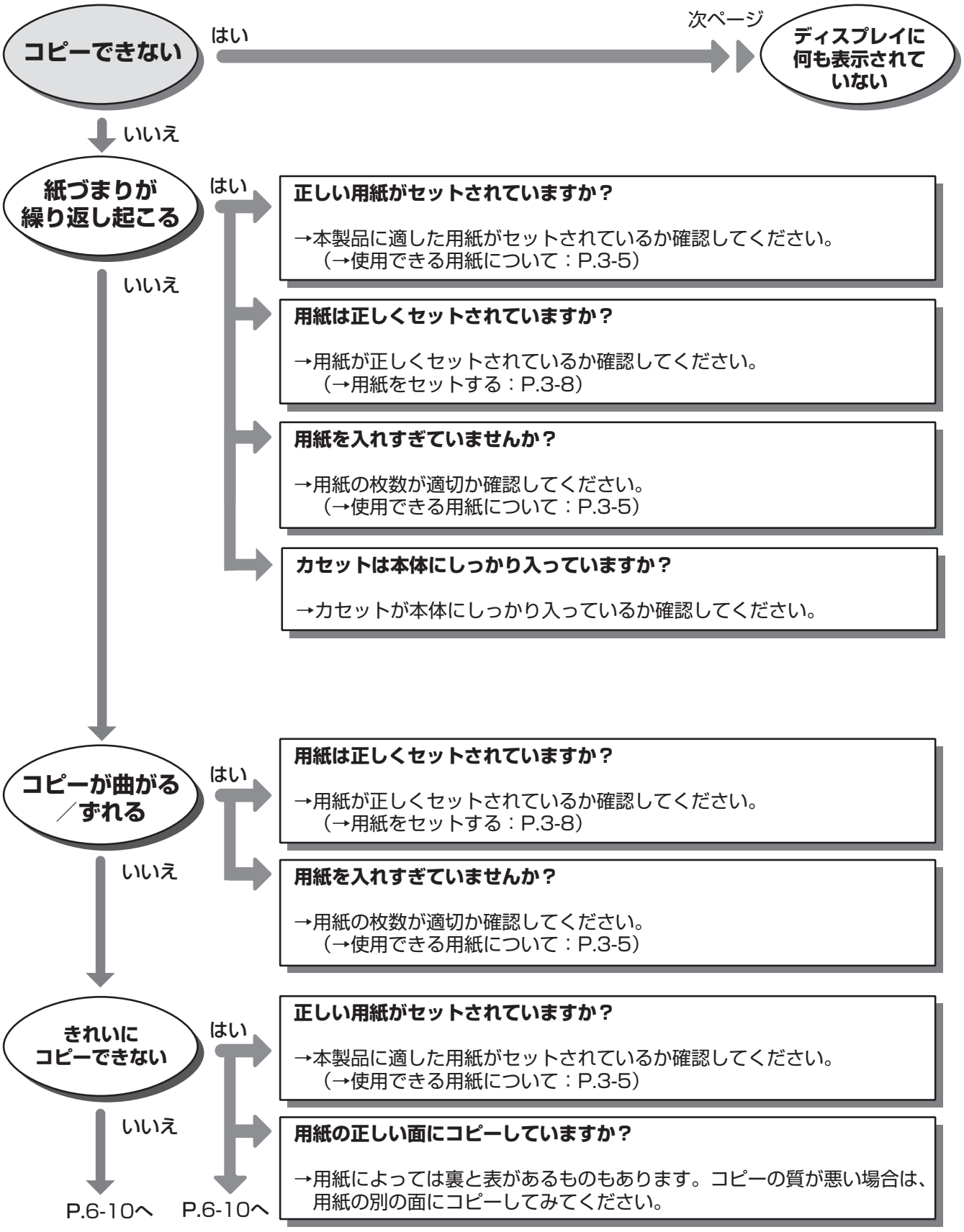
5 給紙カセットをセットします。

6 次の画面が表示されたら、［◀］で＜はい＞を選択して、［OK］を押します。

プリント可能な状態になります。



トラブル解決マップ


コピーできない
はい
次ページ
ディスプレイに何も表示されていない
いいえ
紙づまりが繰り返し起こる
はい
正しい用紙がセットされていますか？
→本製品に適した用紙がセットされているか確認してください。
（→使用できる用紙について：P.3-5）
いいえ
用紙は正しくセットされていますか？
→用紙が正しくセットされているか確認してください。
（→用紙をセットする：P.3-8）
用紙を入れすぎていませんか？
→用紙の枚数が適切か確認してください。
（→使用できる用紙について：P.3-5）
カセットは本体にしっかり入っていますか？
→カセットが本体にしっかり入っているか確認してください。
コピーが曲がる／ずれる
はい
用紙は正しくセットされていますか？
→用紙が正しくセットされているか確認してください。
（→用紙をセットする：P.3-8）
いいえ
用紙を入れすぎていませんか？
→用紙の枚数が適切か確認してください。
（→使用できる用紙について：P.3-5）
きれいにコピーできない
はい
正しい用紙がセットされていますか？
→本製品に適した用紙がセットされているか確認してください。
（→使用できる用紙について：P.3-5）
いいえ
用紙の正しい面にコピーしていますか？
→用紙によっては裏と表があるものもあります。コピーの質が悪い場合は、用紙の別の面にコピーしてみてください。
P.6-10へ
P.6-10へ

ディスプレイに何も表示されていない

はい

電源コードは確実に差し込まれていますか？

→電源コードが、本製品とコンセントに確実に差し込まれているか確認してください。本製品が電源タップに接続されている場合は、電源タップがコンセントに接続され、スイッチが入っているか確認してください。

→電源コードを抜き、5秒ほど待ってからコードを差し込んでください。ディスプレイに何も表示されない場合は、お買い求めの販売店またはキヤノンお客様相談センターにご連絡ください。

主電源スイッチは入っていますか？

→主電源スイッチ（→ P.2-2）をオンにしてください。

スリープモードになっていませんか？

→操作パネルの［⏻］（→ P.2-4）を押して、スリープモードを解除してください。（→オートスリープタイムを設定する：P.2-8）

いいえ

ディスプレイにエラーメッセージが表示されている

はい

「エラーメッセージ一覧」（→ P.6-12）を参照してください。

いいえ

エラーランプが点灯している

はい

本製品に用紙が正しくセットされていますか？カセットまたは手差しトレイに用紙がありますか？

→紙づまりが起きている場合は、つまった用紙を取り除いてください。（→用紙や原稿がつまったら：P.6-2）

→カセットまたは手差しトレイに用紙がない場合は、用紙を補給してください。（→用紙をセットする：P.3-8）

→紙づまりが起きていない場合や用紙がカセットまたは手差しトレイにセットされている場合は、本製品の主電源のスイッチをオフにし、10秒以上待ってからスイッチをオンにしてください。問題が解決するとエラーランプが消え、ディスプレイは待受画面に戻ります。エラーランプが点滅したままで、エラーメッセージが表示されていない場合は、電源コードを抜き、お買い求めの販売店またはキヤノンお客様相談センターにご連絡ください。

いいえ

P.6-11 へ

P.6-8 より

P.6-8 より

トナーが少なくなっていたり、片寄ったりしていませんか？

→カートリッジを取り外して5、6回ゆっくりと振り、トナーを均一にならします。問題が解決しない場合は、トナーカートリッジを交換してください。（→トナーカートリッジを交換する：P.5-6）

トナーセーブモードになっていませんか？

→<共通仕様設定>の<トナーセーブモード>を<しない>に設定してください。（→トナーを節約する：P.2-7）

定着器や読み取りエリアが汚れていませんか？

→本体各部の清掃を行ってください。（→日常のお手入れ：P.5-2）

結露が起きていませんか？

→本体を2時間以上放置し、室温になじませてください。
（→設置条件と取り扱いについて：P.ix）

本体が傾いていませんか？

→水平な場所に設置してください。(→設置条件と取り扱いについて：P.ix)

コピーが濃すぎたり、薄すぎたりしますか？

→読み取り濃度や画質を原稿に合わせて設定しなおしてください。
（→濃度を調整してコピーする：P.4-5）

コピーの間に白紙が混ざる

はい

用紙は正しくセットされていますか？

→用紙が正しくセットされているか確認してください。
（→用紙をセットする：P.3-8）

用紙を入れすぎていませんか？

→用紙の枚数が適切か確認してください。
（→使用できる用紙について：P.3-5）

セットされた用紙は1種類だけですか？

→1種類の用紙のみをセットしてください。

→本製品に適した用紙がセットされているか確認してください。
（→使用できる用紙について：P.3-5）

いいえ

その他のトラブルがある場合

→「その他のトラブル」（→ P.6-17）を参照してください。

P.6-9 より

トナーカートリッジのシーリングテープは外しましたか？

→トナーカートリッジのシーリングテープが外されていることを確認してください。（→トナーカートリッジの交換：P.5-5）

トナーカートリッジは正しくセットされていますか？

→トナーカートリッジが正しくセットされていることを確認してください。（→トナーカートリッジの交換：P.5-5）

カートリッジにトナーは残っていますか？

→トナーカートリッジを交換してください。
（→トナーカートリッジの交換：P.5-5）

原稿は正しくセットされていますか？

→原稿が正しくセットされているか確認してください。
（→原稿をセットする：P.3-3）

本製品に適した原稿ですか？

→本製品に適した原稿がセットされているか確認してください。
（→使用できる原稿について：P.3-2）

正しい用紙がセットされていますか？

→本製品に適した用紙がセットされているか確認してください。
（→使用できる用紙について：P.3-5）

コピー濃度は正しく調節されていますか？

→濃度を調節してください。（→濃度を調整してコピーする：P.4-5）

エラーメッセージ一覧

メッセージが表示されたら

ディスプレイに表示されるエラーメッセージについては、以下の一覧を参照してください。以下の処置を行ってもエラーメッセージが消えない場合は、お買い求めの販売店またはキヤノンお客様相談センターにご連絡ください。

A4/LTR サイズ以上の出力用紙を選択して下さい。

原因	ID カードのコピー時に、A4/LTR サイズより小さいサイズの用紙に設定されている。
処置	A4 または LTR サイズの用紙を設定してください。 「用紙のサイズと種類を設定する」(→ P.3-14)

クリーニングに失敗しました。

原因 1	定着器のクリーニング中に、本体内で紙づまりが起きた。
処置 1	つまった用紙を取り除いて、セットしなおしてください。 「用紙や原稿がつまったら」(→ P.6-2) 「用紙をセットする」(→ P.3-8)
原因 1	定着器のクリーニング中に、トナーが少なくなった。
処置 2	以下を参照して、対処方法を確認してください。 「トナーカートリッジの交換」(→ P.5-5)

主電源を入れ直してください。復帰しない場合は販売店または担当サービスにご連絡ください。

原因	本体に何らかのエラーが発生している。
処置	電源スイッチを切り、10 秒以上待ち、再度電源スイッチを入れます。これで問題が解消しない場合は、電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いて、キヤノンお客様相談センターにご連絡ください。

トナーカートリッジを準備してください。

原因	トナーカートリッジの交換時期が近づいた。
処置	トナーを均一にならしてください。 「トナーカートリッジを交換する前に」(→ P.5-6) 大量にプリントするときは、トナーカートリッジを交換することをおすすめします。 「トナーカートリッジを交換する」(→ P.5-6)

トナーカートリッジをセットしてください。

原因	トナーカートリッジがセットされていない。
処置	トナーカートリッジをセットしてください。 「トナーカートリッジを交換する」(→ P.5-6)

排紙トレイの紙を取り除いてください。

原因	排紙トレイに出力紙がたまっている。
処置	排紙トレイから出力紙を取り除いてください。

補正に失敗しました。

原因 1	コピー画像補正中に、本体内で紙づまりが起きた。
処置	つまった用紙を取り除いて、セットしなおしてください。 「用紙や原稿がつまったら」(→ P.6-2) 「用紙をセットする」(→ P.3-8)
原因 1	コピー画像補正中に、トナーがなくなった。
処置	新しいトナーカートリッジに交換してください。 「トナーカートリッジを交換する」(→ P.5-6)

前カバーを閉めてください

原因	前カバーが完全に閉じていない。
処置	前カバーが完全に閉じているか確認してください。

用紙がつまりました。

原因	本体内で紙づまりが起きた
処置	つまった用紙や原稿を取り除いて、セットしなおしてください。 「用紙や原稿がつまったら」（→ P.6-2） 「用紙をセットする」（→ P.3-8） 「原稿をセットする」（→ P.3-3）

用紙と設定サイズが不一致

原因	適切な用紙サイズが設定されていない。
処置	以下を参照して、対処方法を確認してください。 「＜用紙と設定サイズが不一致＞と表示された場合」（→ P.6-14）

用紙なし

原因 1	給紙カセットまたは手差しトレイに用紙がセットされていない。
処置	用紙をセットしてください。 「用紙をセットする」（→ P.3-8）
原因 1	レポートやリストのプリント時に適切な用紙サイズが設定されていない。
処置	レポートやリストのプリント時の場合は、用紙サイズを＜ A4 ＞または＜ LTR ＞に設定し、設定したサイズの用紙をセットしてください。 「用紙をセットする」（→ P.3-8） 「用紙のサイズと種類を設定する」（→ P.3-14）

エラーコード

エラーコードは、エラーが起きた場合にエラーの履歴として記録される 3 桁のコードです。
システム状況画面のジョブ履歴で確認することができます。

エラーコードが表示されたときの対処方法については、以下を参照してください。

#001 #099

#001

原因	原稿がつまっている可能性がある。
処置	つまっている原稿を取り除いてください。

#099

原因	実行中のジョブをユーザー操作で中止した。
処置	必要に応じてジョブをやりなおしてください。

● ＜用紙と設定サイズが不一致＞と表示された場合

＜用紙設定＞メニューの＜カセット 1 ＞、＜カセット 2 ＞または＜手差し＞に設定されている用紙サイズと、給紙カセットまたは手差しトレイにセットされている用紙サイズが異なる場合に表示されます。このメッセージが表示された場合、次の操作を行います。

セットされている用紙サイズに合わせて、＜用紙設定＞メニューを変更する

ジョブを中止してから、「用紙のサイズと種類を設定する」（→ P.3-14）を参照して、＜用紙設定＞を変更してください。

＜用紙設定＞メニューに設定されているサイズの用紙をセットする

「用紙をセットする」（→ P.3-8）を参照して、＜用紙設定＞メニューで設定した用紙をセットしなおします。

プリント結果が良くない

用紙がカールする

原因に応じて次の対処を行ってください。

＜原因 1 ＞ 吸湿した用紙を使用している

対処 1 未開封の新しい用紙に交換してください。
「使用できる用紙について」（→ P.3-5）

対処 2 操作パネルで＜特殊モード V ＞の設定を変更してください。
「特殊モード一覧」（→ P.7-5）

＜原因 2 ＞ 適切な用紙を使用していない

対処 本製品で使用できる用紙に交換してください。
「使用できる用紙について」（→ P.3-5）

メモ

排紙先を変更する

カールが発生するときは、排紙先をサブ排紙トレイ（→ P.2-3）に切り替えてみてください。用紙がまっすぐに排紙されるので、カールが改善されることがあります。

用紙がしわになる

原因に応じて次の対処を行ってください。

＜原因 1 ＞ 用紙が正しくセットされていない

対処 用紙を正しくセットしてください。
「用紙をセットする」（→ P.3-8）

＜原因 2 ＞ 吸湿した用紙を使用している

対処 未開封の新しい用紙に交換してください。
「使用できる用紙について」（→ P.3-5）

＜原因 3 ＞ 適切な用紙を使用していない

対処 本製品で使用できる用紙に交換してください。
「使用できる用紙について」（→ P.3-5）

＜原因 4 ＞ 本機の内部に異物がある

対処 本機の内部にある異物を取り除いてください。

＜原因 5 ＞ 用紙の種類や使用環境によっては、用紙がしわになることがある

対処 操作パネルで＜特殊モード V ＞の設定を変更してください。
「特殊モード一覧」（→ P.7-5）

すじ状の汚れが付く

原因に応じて次の対処を行ってください。

＜原因 1 ＞ 用紙の種類や使用環境によっては、すじ状の汚れが付くことがある

対処 1	未開封の新しい用紙に交換してください。 「使用できる用紙について」（→ P.3-5）
対処 2	**●コピー時** 操作パネルで＜特殊モード Z ＞の設定を変更してください。 「特殊モード一覧」（→ P.7-5） **●レポートプリント時** 操作パネルで＜特殊モード C ＞の設定を＜ ON ＞にしてください。 「特殊モード一覧」（→ P.7-5）

＜原因 2 ＞ トナーカートリッジを交換した、またはプリントを長期間行わなかった

対処	操作パネルで＜特殊モード B ＞の設定を＜ ON ＞にしてください。 「特殊モード一覧」（→ P.7-5）

文字やパターンのまわりにトナーが飛び散ったような跡が付く

原因に応じて次の対処を行ってください。

＜原因 1 ＞ 適切な用紙を使用していない

対処	本製品で使用できる用紙に交換してください。 「使用できる用紙について」（→ P.3-5）

＜原因 2 ＞ 用紙の種類（特に厚紙）や使用環境（特に低湿度環境）によっては、トナーが飛び散ったような跡が付くことがある

対処	操作パネルで＜特殊モード U ＞の設定を＜ ON ＞にしてください。 「特殊モード一覧」（→ P.7-5）

その他のトラブル

本製品の排紙部周辺から湯気が出る

吸湿している用紙を使用しないでください。トナーを定着するときの熱によって用紙に含まれる水分が蒸発し、本製品の排紙部周辺から湯気が出る場合があります（特に、室温が低い場合に発生しやすくなります）。異常ではありませんが、未開封の新しい用紙と交換することで、湯気の発生を防ぐことができます。
ただし、焦げ臭いにおいがした場合は、直ちに本製品の電源をオフにし、電源プラグを抜いて、お買い求めの販売店または「キヤノンお客様相談センター」にご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

操作パネルの裏面や排紙部に水滴がつく

吸湿している用紙を使用しないでください。トナーを定着するときの熱によって用紙に含まれる水分が蒸発し、本機の内部に蒸気がこもると、結露する場合があります（特に、室温が低い場合に発生しやすくなります）。異常ではありませんが、未開封の新しい用紙と交換することで、結露の発生を防ぐことができます。
ただし、焦げ臭いにおいがした場合は、直ちに本製品の電源をオフにし、電源プラグを抜いて、お買い求めの販売店または「キヤノンお客様相談センター」にご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

設定が有効にならない

操作パネルで設定を変更した直後に本製品の電源を切ると、設定が反映されない場合があります。
設定を変更したあとは、5 秒ほど待ってから電源を切ってください。

電力供給が止まったときは

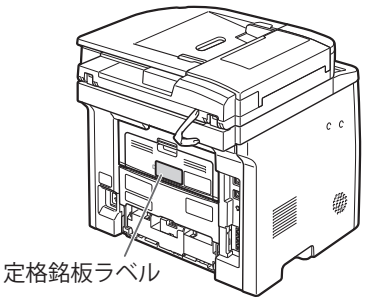
電力供給が止まっている間は、本製品を使用することはできません。

ただし、突然停電が起きたり、電源コードが抜けた場合でも、ユーザーデータ設定内容は記憶されています。

トラブルが解決しない場合

トラブルシューティングを参照してもトラブルが解決しない場合は、お近くのキヤノン販売店または「キヤノンお客様相談センター」にご連絡ください。
ご連絡の際には、以下をお手元にご用意ください。

- 製品名（DPC995）
- シリアル番号（本体背面の定格銘板ラベルまたは、本体前カバー内側のラベルに記載されている、アルファベット 3 文字と数字 5 桁の文字列になります）



- 購入先
- トラブルの内容
- トラブルにどのような対処をされたか、およびその結果

警告

本製品から変な音がしたり、煙が出たり変なにおいがする場合

すぐに電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いて、お近くのキヤノン販売店またはキヤノンお客様相談センターにご連絡ください。ご自分で分解したり、修理したりしないでください。

重要

ご自分で分解修理した場合

保証の対象外になることがあります。

Chapter 7

各種機能の登録／設定

使いかたにあわせて設定メニューから本製品の機能を設定／変更することができます。

各種機能を登録 / 設定する 7-2

- ユーザーデータリストをプリントする 7-2
- 設定メニュー一覧 7-3
- 環境設定 7-3
  - 音量調整 7-3
  - 表示設定 7-3
- タイマー設定 7-3
  - 日付 / 時刻の設定 7-3
  - オートスリープタイム 7-4
  - オートクリアタイム 7-4
- 共通設定 7-4
  - カセットオート選択の ON ／ OFF 7-4
  - 給紙方法切替 7-4
- コピー設定 7-4
  - デフォルト設定の変更 7-4
- 調整 / メンテナンス 7-4
  - コピー画像補正 7-4
  - プリンター濃度 7-4
  - トナーセーブモード 7-4
  - 特殊処理 7-5
  - 定着器のクリーニング 7-6
  - フィーダーのクリーニング 7-6
- システム管理設定 7-6
  - ジョブ履歴表示の ON/OFF 7-6
  - ファームウェア更新 7-6
  - システム管理設定の初期化 7-6
- メニューの初期化 7-6

メニュールートマップ 7-7

各種機能を登録 / 設定する

ここでは、設定メニューの使用方法や設定項目の概要について説明しています。
使いかたにあわせて本製品の機能を設定／変更することができます。

設定内容をプリントして確認したい	「ユーザーデータリストをプリントする」をご覧ください。
設定メニューの操作方法を知りたい	「メニューの操作方法」(→P.2-5)をご覧ください。
設定メニューの設定値や概要を知りたい	以下の項目をご覧ください。 「環境設定」(→ P.7-3) 「タイマー設定」(→ P.7-3) 「共通設定」(→ P.7-4) 「コピー設定」(→ P.7-4) 「調整 / メンテナンス」(→ P.7-4) 「システム管理設定」(→ P.7-6) 「メニューの初期化」(→ P.7-6)

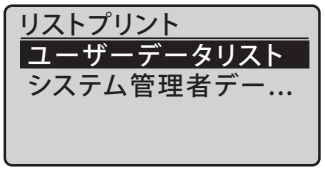
ユーザーデータリストをプリントする

設定内容をプリントして確認するには、ユーザーデータリストをプリントします。

1 [◯]（レポート）を押します。

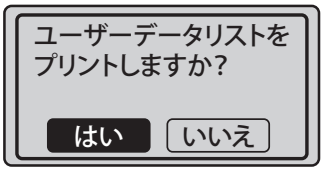
2 [▲] [▼] で<リストプリント>を選択して、[OK] を押します。

3 [▲] [▼] で<ユーザーデータリスト>を選択して、[OK] を押します。



4 用紙がセットされていることを確認して、[OK] を押します。
画面に表示されている用紙をセットしてください。

5 [◀] で<はい>を選択して、[OK] を押します。
プリントが開始されます。



6 [◯]（レポート）を押して、<リストプリント>画面を閉じます。

設定メニュー一覧

以下の項目を設定することができます。

- 「環境設定」（→ P.7-3）
- 「タイマー設定」（→ P.7-3）
- 「共通設定」（→ P.7-4）
- 「コピー設定」（→ P.7-4）
- 「調整 / メンテナンス」（→ P.7-4）
- 「システム管理設定」（→ P.7-6）
- 「メニューの初期化」（→ P.7-6）

環境設定

メモ

使用している記号や文字について

・太字は工場出荷時の設定を示しています。

音量調整

設定項目	説明
入力音	操作パネルのキーを押したときに、音を鳴らすかどうかを設定します。 • OFF • **ON**
入力無効音	無効なキー操作を行ったときに、音を鳴らすかどうかを設定します。 • **OFF** • ON
補給予告音	トナーカートリッジが寿命に近づいたときに、音を鳴らすかどうかを設定します。 • **OFF** • ON
警告音	機械にトラブル（紙づまり、誤操作など）が発生したときに、音を鳴らすかどうかを設定します。 • OFF • **ON**
ジョブ終了音	ジョブが終了したときに、音を鳴らすかどうかを設定します。 • OFF • **ON**
節電移行音	節電移行音節電移行したときに、音を鳴らすかどうかを設定します。 • **OFF** • ON

表示設定

設定項目	説明
表示言語の切替	ディスプレーやレポートに表示される言語を設定します。 English: 英語表示にします。 Japanese: 日本語表示にします。 English、**Japanese**
輝度調整	ディスプレーの明るさを調整します。+ 側に調整するとディスプレーが明るくなり、– 側に調整すると暗くなります。 -4 ～ **0**
画面コントラスト	ディスプレーのコントラストを調整します。+ 側に調整するとコントラストが強くなり、– 側に調整すると弱くなります。 -3 ～ **0** ～ +3
画面色反転	＜ ON ＞に設定すると、ディスプレーの階調を反転して表示します。 画面の明るさを調整しても表示が見づらい場合などに設定してください。 **OFF**、ON
mm/ インチ入力の切替	数値入力時の単位を設定します。 mm で数値をミリメートルで表示し、インチで数値をインチで表示します。 **mm**、インチ
メッセージ表示時間	画面を切り替えて複数のメッセージを表示する場合、一定間隔の時間で画面が切り替わります。その切り替え時間を設定します。 1 ～ **2** ～ 5(秒)
スクロール文字速度	メニュー画面の項目がディスプレーに収まらない場合、ディスプレーをスクロールさせて表示します。そのスクロールの速度を調整することができます。 遅い、**普通**、速い

タイマー設定

メモ

使用している記号や文字について

・太字は工場出荷時の設定を示しています。

日付 / 時刻の設定

設定項目	説明
日付表示タイプ切替	日付の表示形式を設定します。 **年 月 / 日**、月 / 日 / 年、日 / 月 年 「日付と時刻を設定する」（→ P.2-10）
12/24 時間表示切替	時刻の表示形式を設定します。 **12 時間表示 (AM/PM)**、24 時間表示 「日付と時刻を設定する」（→ P.2-10）
現在日時の設定	現在の日付と時刻を設定します。 「日付と時刻を設定する」（→ P.2-10）
タイムゾーンの設定	タイムゾーンを設定します。 GMT-12:00 ～ **GMT+9:00** ～ GMT+12:00 「日付と時刻を設定する」（→ P.2-10）

オートスリープタイム

一定時間何も操作をしない場合に、自動的に節電状態に移行するまでの時間を設定します。

※　本項目は、工場出荷時の設定でお使いになることをおすすめします。

3～**5**～240（分）

「オートスリープタイムを設定する」（→ P.2-8）

オートクリアタイム

コピー操作の終了後や、一定の時間何も操作をしなかった場合に、設定を解除するまでの時間を設定します。

0= オートクリアしない 1～**2**～9（分）

「オートクリアタイムを設定する」（→ P.2-9）

共通設定

メモ

使用している記号や文字について

- 太字は工場出荷時の設定を示しています。
- 「*」印の設定項目や設定値は、オプション品の有無によって表示されないときがあります。

カセットオート選択の ON ／ OFF

給紙元を自動給紙の対象にするかどうかを設定します。機能ごとに設定できます。

ジョブの処理中に用紙が無くなった場合、同じサイズの用紙がセットされている別の給紙元から給紙するかどうかを設定します。

＜ ON ＞に設定すると、その給紙元が自動給紙の対象になります。

コピー

手差し：**OFF**、ON
カセット 1：OFF、**ON**
カセット 2*：OFF、**ON**

その他

手差し：**OFF**、ON
カセット 1：OFF、**ON**
カセット 2*：OFF、**ON**

給紙方法切替

ロゴなどがあらかじめプリントされている用紙にプリントする場合、給紙元の用紙を入れ替えることなく片面、両面いずれの場合にも表面にロゴが配置されるようにプリントする機能です。給紙部ごとに設定できます。

手差し：**スピード優先**、プリント面優先
カセット 1：**スピード優先**、プリント面優先
カセット 2*：**スピード優先**、プリント面優先

「用紙のサイズと種類を設定する」（→ P.3-14）

コピー設定

デフォルト設定の変更

コピー設定を登録することができます。

「コピーのデフォルト値を変更する」（→ P.4-18）

調整 / メンテナンス

メモ

使用している記号や文字について

- 太字は工場出荷時の設定を示しています。

コピー画像補正

コピー画像を調整します。

「コピー画像の補正をする」（→ P.5-9）

プリンター濃度

コピー／レポートプリント出力時の濃度を調整することができます。

-4～**0**～4

「プリント濃度を調整する」（→ P.5-10）

トナーセーブモード

トナーの消費量を節約するかどうかを設定します。

OFF、ON

「トナーを節約する」（→ P.2-7）

特殊処理

特殊モード一覧

本製品には、特殊モードとしてプリント品質のトラブルを解決するための設定が用意されています。
それぞれの説明をよく読んでから設定してください。

重要

特殊モードは、通常、工場出荷時の設定のままご使用ください

以下に記載されている症状が発生した場合のみ特殊モードの設定を変更してください。

特殊モード	設定値	設定内容
特殊モード U	**OFF**、ON	用紙の種類 (特に厚紙) や使用環境 (特に低湿度環境) によっては、文字やパターンの周囲にトナーが飛び散ったような跡が見受けられることがあります。この場合、本項目の設定を< ON >にしてください。 ※　本項目を< ON >に設定すると、用紙の種類 (特に薄紙) や使用環境 (特に高湿度環境) によっては、プリント品質が低下することがあります。
特殊モード V	**OFF**、 モード 1、 モード 2	吸湿した用紙を印刷した場合、排紙された用紙がカールする (印刷した面が反る) ことがあります。この場合、本項目の設定を変更してください。 改善効果は次の順序で強くなります。 < OFF >→<モード 1 >→<モード 2 > （効果：弱）　（効果：強） ※　用紙の種類や使用環境を変えることで設定を変更しなくても、カールやしわが改善することがあります。 ※　改善効果を強くすると、プリント速度が遅くなります。
特殊モード Z （コピー時のみ）	**OFF**、 モード 1、 モード 2、 モード 3	用紙の種類や使用環境によっては、プリントした用紙にすじ状の汚れが付着することがあります。この場合、本項目の設定を変更してください。 改善効果は次の順序で強くなります。 < OFF >→<モード 1 >→<モード 2 >→<モード 3 > （効果：弱）　（効果：強） ※　用紙の種類や使用環境を変えることで設定を変更しなくても、プリントした用紙にすじ状の汚れが付着しなくなることがあります。 ※　改善効果を強くすると、プリント濃度が薄くなります。また、輪郭がはっきりしなくなったり、粗さが多少目立つことがあります。 ※　本項目を設定しても問題を改善できない場合は、<特殊モード D >を< ON >に設定してください。
特殊モード B	**OFF**、 モード 1、 モード 2、 モード 3	トナーカートリッジを交換した場合や、プリントを長期間行わなかった場合に、プリントした用紙にすじ状の汚れが付着することがあります。この場合、本項目の設定を変更してください。 改善効果は次の順序で強くなります。 < OFF >→<モード 1 >→<モード 2 >→<モード 3 > （効果：弱）　（効果：強） ※　用紙の種類や使用環境を変えることで設定を変更しなくても、プリントした用紙にすじ状の汚れが付着しなくなることがあります。 ※　本項目を< ON >に設定すると、プリント速度が遅くなります。
特殊モード C （レポートプリント時のみ）	**OFF**、ON	用紙の種類や使用環境によっては、プリントした用紙にすじ状の汚れが付着することがあります。この場合、本項目の設定を< ON >にしてください。 また、< ON >に設定するとプリント時の稼働音を抑えることができます。 ※　用紙の種類や使用環境を変えることで設定を変更しなくても、プリントした用紙にすじ状の汚れが付着しなくなることがあります。
特殊モード D	**OFF**、ON	※　本項目を< ON >に設定すると、プリント速度が遅くなります。

定着器のクリーニング

プリントされた用紙に黒いスジが現れる場合や、トナーカートリッジを交換したときにクリーニングします。

「定着器のお手入れ」（→ P.5-2）

フィーダーのクリーニング

フィーダーのローラーについた鉛筆の粉などのために原稿が汚れるようなときにクリーニングします。

「フィーダーを自動的にクリーニングする」（→ P.5-4）

システム管理設定

メモ

使用している記号や文字について

・太字は工場出荷時の設定を示しています。

ジョブ履歴表示の ON/OFF

ジョブ履歴情報を表示するかどうかの設定をします。

ON に設定すると、コピー / プリントジョブ画面でのコピージョブ履歴が表示されるようになります。

設定後、次回再起動時からジョブ履歴が表示できるようになります。

OFF、**ON**

ファームウェア更新

ファームウェアを更新します。

重要

本項目はサービス用のメニューです。お客様による操作はできません。

システム管理設定の初期化

システム管理設定を初期化して、工場出荷時の状態に戻します。

※ 「ジョブ履歴表示の ON/OFF」の設定が工場出荷時の値に初期化されます。

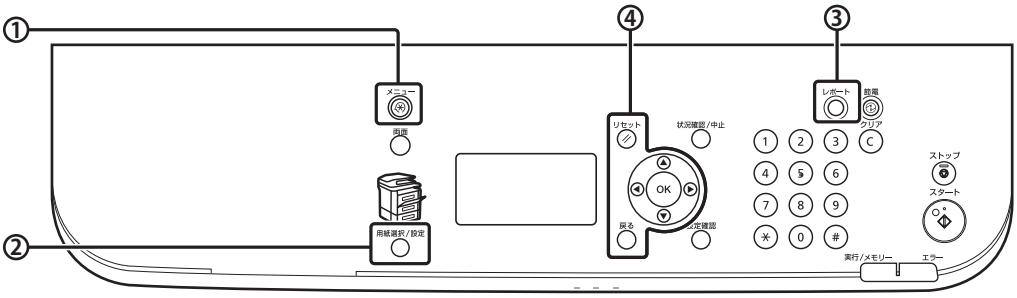
メニューの初期化

メニューの設定を初期化して、工場出荷時の状態に戻します。

- 環境設定
- タイマー設定
- 共通設定
- コピー設定
- 上記すべて

「環境設定」・「タイマー設定」・「共通設定」・「コピー設定」の各項目を選択すると、各々の設定を工場出荷時の状態に戻します。「上記全て」を選択すると、すべての設定を工場出荷時の状態に戻します。

メニュールートマップ



①[メニュー]キー
本機の仕様を設定します。
調整やクリーニングも行えます。

②[用紙選択/設定]キー
使用する用紙のサイズと種類を登録します。
ユーザー設定サイズの登録もできます。

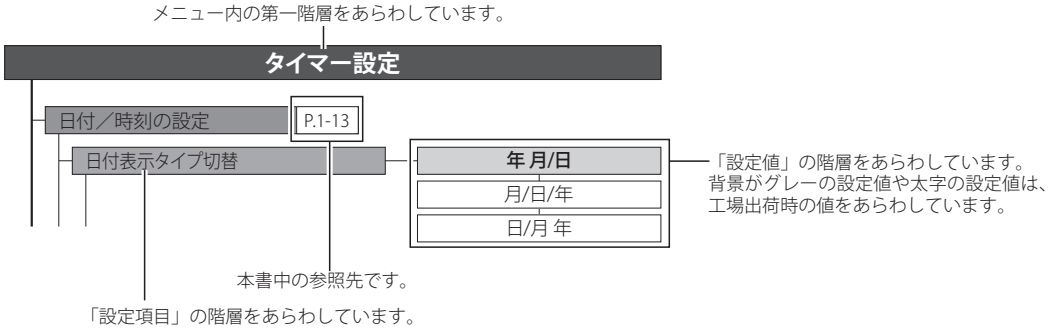
③[レポート]キー
各種レポートの出力を行います。

④ メニューの操作方法

◀	前の階層に戻ります。
▶	次の階層に進みます。
▲	上の項目／設定値を選択します。
▼	下の項目／設定値を選択します。
OK	次の階層に進みます。または設定値の決定、操作の実行をします。 ※画面に<確定>が表示されている場合は、設定後に<確定>を選択して［OK］を押す必要があります。
戻る	前の階層に戻ります。
リセット	設定をリセットします。

※[ ]（メニュー）を押すと基本画面に戻ります。

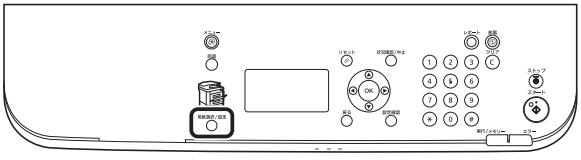
●ルートマップの見かた



用紙設定

<表示方法>

[用紙選択/設定]を押す

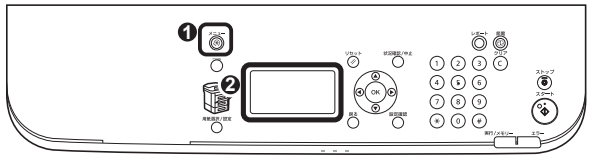


「用紙のサイズと種類を設定する」（→ P.3-14）

メニュー

<表示方法>

❶ [メニュー]を押す　❷ 設定メニューが表示される



環境設定

- 音量調整
  - 入力音: OFF / **ON**
  - 入力無効音: **OFF** / ON
  - 補給予告音: **OFF** / ON
  - 警告音: OFF / **ON**
  - ジョブ終了音: OFF / **ON**
  - 節電移行音: **OFF** / ON
- 表示設定 P.7-3
  - 表示言語の切替: English / **Japanese**
  - 輝度調整: -4 ～ **0**
  - 画面コントラスト: -3 ～ **0** ～ +3
  - 画面色反転: **OFF** / ON
  - mm/インチ入力の切替: **mm** / インチ
  - メッセージ表示時間: 1 ～ **2** ～ 5(秒)
  - スクロール文字速度: 遅い / **普通** / 速い

タイマー設定

- 日付/時刻の設定 P.2-10
  - 日付表示タイプ切替: **年 月/日** / 月/日/年 / 日/月 年
  - 12/24時間表示切替: **12時間表示(AM/PM)** / 24時間表示
  - 現在日時の設定
  - タイムゾーンの設定: GMT-12:00～ **GMT-9:00** ～GMT+12:00
- オートスリープタイム P.2-8: 3 ～**5** ～ 240(分)
- オートクリアタイム P.2-9: 0=なし / 1 ～ **2** ～ 9(分)

共通設定

「*」印の設定項目や設定値は、オプション品の有無によって表示されないときがあります。

- カセットオート選択のON／OFF P.7-4
- コピー
  - 手差し: **OFF** / ON
  - カセット1: OFF / **ON**
  - カセット2*: OFF / **ON**
- その他
  - 手差し: **OFF** / ON
  - カセット1: OFF / **ON**
  - カセット2*: OFF / **ON**

右上に続く

左下より

- 給紙方法切替 P.7-4
  - 手差し: **スピード優先** / プリント面優先
  - カセット1: **スピード優先** / プリント面優先
  - カセット2*: **スピード優先** / プリント面優先

コピー設定

- デフォルト設定の変更 P.7-4

調整/メンテナンス

- コピー画像補正 P.7-4
- プリンター濃度 P.7-4: -4～**0**～+4
- トナーセーブモード P.7-4: **OFF** / ON
- 特殊処理
  - 特殊モードU: **OFF** / ON
  - 特殊モードV: **OFF** / モード1 / モード2
  - 特殊モードZ*: OFF / **モード1** / モード2 / モード3
    - *コピー時のみ
  - 特殊モードB: **OFF** / モード1 / モード2 / モード3
  - 特殊モードC*: **OFF** / ON
    - *レポートプリント時のみ
  - 特殊モードD: **OFF** / ON
- 定着器のクリーニング P.7-6
- フィーダーのクリーニング P.7-6

システム管理設定

- ジョブ履歴表示のON/OFF P.7-6: OFF / **ON**
- ファームウェア更新 P.7-6
- システム管理設定の初期化 P.7-6: ジョブ履歴表示のON/OFF

メニューの初期化

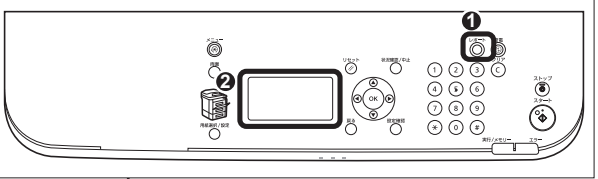
- 環境設定 P.7-3
- タイマー設定 P.7-3
- 共通設定 P.7-4
- コピー設定 P.7-4
- 上記すべて P.7-6

レポート

<表示方法>

❶ [レポート]を押す

❷ レポート出力メニューが表示される



- リストプリント P.7-2
  - ユーザーデータリスト
  - システム管理者データリスト

Chapter 8

付録

本製品のおもな仕様などについて記載しています。

おもな仕様 8-2
本体仕様 8-2
索引 8-3

製品が改良され変更になったり、今後発売される製品によって内容が変更になることがありますので、ご了承ください。
本製品に関する情報はこちらでもご確認いただけます。
キヤノン Satera ホームページ
■ http://canon.jp/satera/

おもな仕様

本体仕様

本体仕様	
形式	パーソナルデスクトップ
読み取り解像度	• 文字 / 写真：300 dpi × 600 dpi • 文字 / 写真（高画質）、写真、文字：600 dpi × 600 dpi
出力解像度	600 dpi × 600 dpi
コピー倍率	• 等倍 1:1 ± 1.0 % • 拡大 1:4.00、1:2.00、1:1.41、1:1.22、1:1.15 • 縮小 1:0.86、1:0.81、1:0.70、1:0.50、1:0.25 • ズーム 25 % ～ 400 %（1 %刻み）
コピー速度（A4 普通紙等倍）*1	33 枚／分 *1 A4、普通紙、片面に、同一データを連続コピーした場合の速度です。はがきや小サイズ紙など、用紙の種類・サイズ・送り方向の設定により、コピー速度が低下します。また連続コピー時に、本体の温度調整や画質調整のため動作が休止または遅くなる場合があります。
連続コピー枚数最大	99 部
ファーストコピータイム（A4）	8 秒以下
電源	100 V 50/60 Hz
消費電力	最大：1,000 W 以下
	待機時：約 9 W
	スリープモード時：約 2.3 W
エネルギー消費効率	25 kWh/ 年（区分名：3）
ウォームアップタイム	11 秒以下 *2 （温度：20° C、湿度：65%。本製品の電源スイッチを入れてから待受画面が表示されるまで） *2 ウォームアップ時間は、本製品の使用状況や環境によって異なることがあります。
質量	本体（トナーカートリッジを含む）：約 21.2 kg
大きさ（幅×奥行×高さ）	• 標準時 450 mm × 472 mm × 465 mm • 1 段カセットユニット・U1（オプション）装着時 450 mm × 472 mm × 603 mm
設置スペース（幅×奥行×高さ）	• 標準時 650 mm × 1,341 mm × 824 mm • 1 段カセットユニット・U1（オプション）装着時 650 mm × 1,341 mm × 962 mm
使用環境	温度：10° C ～ 30° C 湿度：20% ～ 80%（相対湿度・結露しないこと）
使用可能な原稿	「使用できる原稿について」（→ P.3-2）
使用可能な用紙	「使用できる用紙について」（→ P.3-5）
プリント範囲	「プリント範囲」（→ P.3-7）
読み取り範囲	「読み取り範囲」（→ P.3-2）

索引

番号

2 in 1/4 in 1 4-11
4 面はがき 3-13

欧字

O

OHP フィルム..... 3-2、3-6
［OK］キー 2-4

かな

あ

アース線..... vi、vii、x
安全にお使いいただくために vi

え

エラーメッセージ..... 2-8、2-9、3-14
エラーランプ ..... 2-8、2-9

お

往復はがき..... 3-5、3-6、3-11、3-13
オートクリアタイム ..... 2-1、2-9、7-4

か

各種機能の登録／設定 7-1
拡大／縮小コピーする 4-10
各部の名称..... 2-1、2-2
画質 4-6
画質を選んでコピーする..... 4-6
紙づまりが繰り返し起こる場合..... 6-2
紙づまりの処理..... 6-2

き

きれいにコピーしたい 4-15

く

［クリア］キー 2-4

け

結露 ..... ix、x、5-8、6-17、8-2
原稿ガイド..... 2-2、3-3、3-4
原稿給紙トレイ ..... 2-2、3-2、6-3
原稿台ガラス ..... vii、3-1、3-2、3-3、4-8、4-11、4-12、4-13、5-3
稿台ガラス..... 2-3
原稿と用紙の取り扱い 3-1
原稿排紙トレイ ..... 2-2、3-4
原稿をセットする..... 3-3

こ

コピーする..... 4-1
コピー部数..... 4-2、4-13
コピーを途中で中止 4-3
困ったときには..... 6-1

し

［実行 / メモリー］ランプ..... 2-4
仕様 8-2
使用済みのトナーカートリッジ..... viii
消耗品 ..... ix、2-1、2-6、2-7、5-5

す

［スタート］キー..... 2-4
［ストップ］キー..... 2-4
スリープモード..... 1-6、2-8、8-2

せ

設置について vi
設定確認..... 2-4、4-19
［設定確認］キー..... 2-4

そ

操作パネル..... 2-4
ソート 4-13

た

タイマー設定 2-8

ち

調整 / メンテナンス..... 7-4

て

ディスプレイ 2-4
手差しトレイ 2-2
テンキー..... 2-4
電源スイッチ 2-2
電源ソケット 2-3
電源について vi
電力供給が止まったときは..... 6-17

と

同梱品 1-2
　保証書..... 1-2
トナーカートリッジについて 1-2
トナーカートリッジなどの回収..... xi
トナーカートリッジの交換..... 5-5
　印字可能枚数..... 5-5
　シーリングテープ 5-7
トラブル解決マップ 6-8
トラブルが解決しない場合..... 6-18
ドラム保護シャッター 5-8

に

日常のお手入れ..... 5-2
　原稿台ガラス..... 5-3
　定着器..... 5-2
　フィーダー 5-3
　本体..... 5-2

の

濃度を調整してコピーする..... 4-5

は

排紙ストッパー 2-2
排紙トレイ..... 2-2
はがき ..... v、2-2、3-1、3-5、3-6、3-11、3-13

ひ

日付と時刻を設定する 2-10

ふ

封筒 ..... 2-2、2-3、3-1、3-5、3-6、3-7、3-10、3-11、3-13
プリント範囲 3-7

ほ

補助トレイ（手差しトレイ）..... 2-2
本製品の移動 5-11

ま

待ち受け画面 ..... 2-4、2-9

め

メニュー..... 2-5
設定..... 2-5
表示..... 2-5
メニュールートマップ..... 7-7

ゆ

ユーザーデータリストをプリント... 7-2

よ

用紙
サイズマーク..... 3-3
使用できる..... 3-5
セットする..... 3-8
つまったら..... 6-2
用紙について..... 3-5
用紙ガイド（手差しトレイ）..... 2-2
用紙がつまりました..... 6-2、6-13
用紙のセット..... 3-1、3-8、3-11、3-12、3-17
用紙や原稿がつまったら..... 6-2

り

［両面］キー..... 2-4
両面にコピー..... 4-7

わ

枠消し... 4-2、4-12、4-14、4-16、4-18

消耗品のご注文先

販 売 先

電話番号

担当部門

担 当 者

サービス担当者 連絡先

販 売 店

電話番号

担当部門

担 当 者

Canon

キヤノン株式会社・キヤノンマーケティングジャパン株式会社

パーソナル向けコピー（ファミリーコピア・ミニコピア）に関するご質問・ご相談は、下記の窓口にお願いいたします。

お客様相談センター（全国共通番号） **050-555-90023**

［受付時間］ 〈平日〉9:00～20:00
〈土日祝日〉10:00～17:00
（1/1～1/3は休ませていただきます）

※上記番号をご利用いただけない方は（043-211-9333）をご利用ください。
※IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。
※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

キヤノンマーケティングジャパン株式会社 〒108-8011 東京都港区港南2-16-6

FT5-3940 (020) XXXXXXXXXX © CANON INC. 2013 PRINTED IN CHINA